

(様式－１)

工 事 名		令和5年度 豊科勤労者総合スポーツ施設大規模改修工事										設計書	
施 工 箇 所		安曇野市 豊科勤労者総合スポーツ施設										金抜き設計書	
設 計 大 要						施 工 方 法			請 負				
<div>■豊科勤労者総合スポーツ施設の大規模改修工事</div> <div><div>【外部】</div><div>・屋根 ポーチ屋根 シート防水改修 大屋根 塗装改修、雨漏り改修</div><div>・外壁 塗装改修、劣化部改修</div><div>・建具 不具合建具改修</div><div>・テニスコート 照明器具交換</div><div>【内部】</div><div>・アリーナ バスケットコートライン引き、塗装改修</div><div>・トイレ、洗面所 内装改修</div><div>・器具庫 床改修</div><div>・ホール、廊下 天井改修</div><div>・ガラス 飛散防止フィルム設置</div><div>・バスケットゴール、時計、放送設備の落下防止対策</div><div>・照明 LED照明に交換（一部 落下防止対策）</div></div>						施 工 期 間			日間				
						契 約 年 月 日			令和 年 月 日				
						竣 工 予 定 年 月 日			令和 6 年 3 月 18 日				
						契 約 保 証 方 法			金 銭 的 保 証				
						<div>・別途指定する建設機械については排出ガス対策型の使用を原則とする。</div> <div>・この設計書で施工機械・仮設材の規格、調査条件等の記載及び「人、h、ℓ、%、日、時、工数、空m3、掛m2、日・回、日回、供用日、月」の単位により見積りのための参考数量を示したものは任意扱いです。したがって、内訳書の作成や契約を拘束するものではありません。ただし、指定した場合を除きます。</div>							

# 位置図

令和5年度 豊科勤労者総合スポーツ施設  
大規模改修工事



工事場所



1:2,500

0 45 90 180 m

# 現 場 説 明 書

安曇野市 総務部 財産管理課 施設経営担当

## 1. 件名（工事名称）

令和5年度 豊科勤労者総合スポーツ施設 大規模改修工事

## 2. 工事場所： 安曇野市 豊科勤労者総合スポーツ施設

## 3. 工事概要： 豊科勤労者総合スポーツ施設の大規模改修工事

- 【外部】 ・屋根 ポーチ屋根 シート防水改修  
大屋根 塗装改修、雨漏り改修
- ・外壁 塗装改修、劣化部改修
- ・建具 不具合建具改修
- ・テニスコート 照明器具交換
- 【内部】 ・アリーナ バasketコートライン引き、塗装改修
- ・トイレ、洗面所 内装改修
- ・器具庫 床改修
- ・ホール、廊下 天井改修
- ・ガラス 飛散防止フィルム設置
- ・バasketゴール、時計、放送設備の落下防止対策
- ・照明 LED照明に交換（一部 落下防止対策）

## 4. 工 期： 契約日から 令和6年3月18日まで

## 5. 一般事項について

### (1) 現場説明会

本件の内容は、現場、入札心得、入札公告、特記仕様書、設計図書、安曇野市建築工事の手引等関連する仕様書類、長野県建設工事標準請負契約約款に基づき市が定める契約書（案）及び現場説明書（以下「設計図書等」という。）によるものとし、現場説明会は実施しない。

### (2) 設計図書等に対する質問及び回答について

設計図書等に関する問い合わせは、「入札公告」記載のとおりとし、入札執行が完了するまでの間、本件に関しての面談又は電話（ただし、指定の問い合わせ先は除く。）等は一切認めない。

### (3) 工事費内訳書の提出

入札時の工事費内訳書提出については「入札公告」による。

### (4) 工事費内訳書記載数量は参考数量とする。

## 6. 本工事における特記事項

### (1) 工事用地等

本工事に必要な用地は、以下のとおり。

使用目的	使用場所・面積
資材置場	敷地内
駐車場	同上敷地
現場事務所	同上敷地

(3) 日・祝日は基本休工とする。休日、夜間に作業を行う場合は事前に協議をすること。

(4) 周辺住民の安全に十分配慮すること。

(5) 工事着手前に事前のお知らせをおこなうこと。また看板等を設置して、工事内容の周知を行うこと。

(6) 各官公庁手続きについて、

事前に監督員・監理者が申請書類等の内容確認をしてから提出すること。

### (7) 残土関係

~~・本工の施工において生じる発生土の処分については、下記の処分先を想定して処分費、運搬費を計上している。~~

~~なお、受注者の都合による処分先の変更については、原則として設計変更しない。~~

#### ~~・建設発生土~~

受入れ場所・仮置き場所	処分方法	運搬距離	特記事項

距離指定の場合、残土運搬距離は設計変更の対象とする。

## 7. 本工事に関連する別途発注工事の予定

発注機関	工事名	工期	工事内容	備考

#### ~~・本工事に近接・競合する工事の予定~~

発注機関	工事名	工期	工事内容	備考

~~・改修工事における工事個所の順番は図のとおり。~~

~~・この工事は執務並行型の工事である。~~

## 8. 安全対策関係

### ① 交通誘導警備員

受注者が交通誘導業務を他人に委託する場合は、受託者は警備業法第4条の規定により公安委員会から警備業の認定を受けた者であること。

### ② 安全施設

発注者が想定している仮設（ゲート、仮囲い等）については、仮設計画図に示し

たとおり。受注者は明示された条件に基づき、自主的に工法を選定し、構造設計等必要な検討を行い施工するものとする。（任意仮設）

なお、明示した条件と現場が一致しない場合や明示されていない条件について予期することができない特別な状態が生じた場合において、必要と認められるときには設計変更の対象とする。

#### 9. 工事用道路関係

現場への工事関係車両の入退場の路線は事前に監督員と協議をすること。

#### 10. その他

火災保険等への加入について

火災保険等加入期間については、請負契約後から契約工期末日後 14 日までとする。

## 特記仕様書（共通事項）

総務部 財産管理課

### 1. 保険等

建物（施設）引渡しまで工事受注者は、現場説明書に定める保険に加入しなければならない。加入期間は原則として工事着手日とし、その終期は工事しゅん工後14日以降とする。

### 2. 各種調査等に対する協力について

本工事について、発注者が自ら又は、発注者が指定する第三者が行う下記調査等に対して、協力しなければならない。

(1) 公共事業労務費調査等

(2) 資材調査、建設副産物実態調査等

### 3. 工事検査

施工途中において総務部契約検査課職員または、発注機関の長の指定する職員による抜打ち検査を実施することがあるので、検査に協力すること。

### 4. 被害届等

暴力団関係者から工事妨害による被害を受けた場合は、被害届を速やかに警察に提出すること。

### 5. 工事实績情報サービス（CORINS）の登録について

(1) 請負金額が500万円以上（税込）の工事については、工事实績情報サービス（CORINS）の登録をすること。

(2) 登録する場合は、「登録のために確認のお願い」を作成し、監督員の確認を受け、次に示す期間内に（一財）日本建設情報総合センター（JACIC）に登録の手続きを行うこと。また、登録機関発行の「登録内容確認書」が届いた場合は、速やかに監督員に提示すること。なお、変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。

① 工事受注時契約締結後10日以内

② 登録内容の変更時変更契約締結後10日以内

③ 工事完成時工事完成後10日以内

### 6. 施工体制台帳に係る書類について

(1) 工事受注者は、請負契約した全ての下請業者について、建設業法に定める「施工体制台帳」とそれに係る書類及び「施工体系図」を作成し、工事期間中工事現場に備え付けるとともに、その写しを監督員に提出すること。

(2) 「施工体系図」は工事関係者及び公衆の見やすい場所に掲示を行うこと。

(3) 次の業種についても請負契約に該当するため、(1)と同様とする。

- ・ 1日で完了する請負契約、少額な作業・雑工の請負契約
- ・ クレーン作業、コンクリートポンプ打設等の日々の単価契約で行っている場合
- ・ クレーン等の業種オペレーターを機械と一緒にリース会社から借上げる場合

## 7. 主任技術者及び監理技術者の専任について

主任技術者又は監理技術者（以下「監理技術者等」という。）が専任を求められる工事である場合、監理技術者等を専任で設置すべき期間は契約工期が基本となるが、次の期間については、専任を要しない。なお、具体的な期間については、監督員との打合せにおいて定めることとする。

- ① 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入、または仮設工事等が開始されるまでの期間）
- ② 自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により、工事を全面的に一時中止している期間
- ③ エレベーター等の工場製作を含む工事であって、工場製作のみが行われている期間
- ④ 工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。）、事務手続、後片付け等のみが残っている期間

## 8. 産業廃棄物等の取扱い

- (1) 廃棄物の処理に当たっては、受注者が自ら処理（分別、保管、収集、運搬及び処分の一連の行為）をするときは、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という。）に基づき、適正に行うこと。
- (2) 廃棄物の処理の全部又は一部を委託する場合は、廃棄物処理法に基づく処理を業として許可を取得している者に委託すること。また、施工前に産業廃棄物処理委託契約書の写し、産業廃棄物処理業の許可証の写し、許可運搬車両一覧並びに処分地の案内図等をまとめた「廃棄物処理計画書」を監督員に提出すること。
- (3) しゅん工した時は、廃棄物ごとに処理数量を集計し、積み込み状況の写真、処分状況の写真を添付した「廃棄物等処理報告書」を監督員に提出するとともに、マニフェストA票、B2票、D票並びにE票の原本（廃棄物の種類ごとに1セット）を提示すること。

## 9. 再生資源利用促進計画書等

「資源の有効な利用の促進に関する法律」（ラージリサイクル法）に基づき、受注者は、工事の着手前に「再生資源利用促進計画書」及び「再生資源利用計画書」を作成すること。

また、しゅん工後に「再生資源利用促進実施書」及び「再生資源利用実施書」を作成し、監督員に提出すること。

対象工事：ラージリサイクル法に規定する一定規模以上の工事

作成方法：COBRIS（建設副産物情報交換システム※）を利用すること。

※（一財）日本建設情報総合センター（JACIC）が提供する建設副産物の情報交換サービス

## 10. 安全対策関係

- (1) 工事現場においては、労働災害、公衆災害防止に努めるとともに、全作業員を対象に定期的に安全教育、研修及び訓練を行うこと。
- (2) 安全教育、研修及び訓練については、工事期間中に月一回以上実施し、この結果は工事日誌へ記録するほか工事写真等も整理のうえ提出すること。なお、これにより難しい場合は、監督員と協議するものとする。
- (3) 足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」について」（厚生労働省基

発第0424001号平成21年4月24日)の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。

#### 11. 環境対策関係

- (1)現場で使用する機械は、低騒音型、低振動型、排出ガス対策型建設機械とすること。
- (2)夜間、早朝等の稼動を避けること。ただし、監督員の承諾を受けた場合はこの限りでない。なお、運搬ルートを選定に当たっては影響の少ないルートを選定すること。
- (3)汚水、汚濁、土砂の流失防止に努めること。また、表土復元等環境の回復に努めること。
- (4)熱帯材合板型枠は、極力使用しないこと。

#### 12. 過積載の禁止

- (1)工事の施工計画にあたって、施工計画書に次の事項を具体的に記載するとともに、施工時においても遵守すること。

- ①積載重量制限を超過しての建設発生土の処理及び資機材（以下「資機材等」という。）の積載重量の厳重チェックを行うこと。
- ②過積載を行っている資材等納入業者からの資機材等購入は行わないこと。
- ③過積載を防止するため、資機材等の購入にあたっては、納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。
- ④資機材等の運搬には、さし枠装着車、物品積載装置等の不正改造した車輛及び不表示車等を使用しないこと。また、同車輛からの資機材等の引き渡しを受けないこと。
- ⑤下請業者や資機材等納入業者を選定するにあたっては、交通安全に関する配慮に欠けた者または車輛を使用した業務等において悪質かつ重大な事故を発生させた者を排除すること。
- ⑥飛散の恐れがあるものについては、飛散しないような処置を行い運搬すること。
- ⑦土砂等の運搬に関する事業者の選定に当たっては、「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」の目的に鑑み、同法第12条の規定に基づき届け出た団体構成員の雇用に努めること。

- (2)以上の点について、下請業者についてもこれに準じ徹底すること。

#### 13. ~~セメント及びセメント系固化材を使用した改良土について~~

- ~~(1)セメント及びセメント系固化材を使用した地盤改良及び改良土を再利用する場合は、六価クロム溶出試験を行い、その結果について監督員に報告する。~~
- ~~(2)セメント及びセメント系固化材とは、セメントを含有成分とする固化材で、普通ポルトランドセメント、高炉セメント、セメント系固化材、石灰系固化材をいい、これに添加物を加えたものを含める。~~
- ~~(3)六価クロム溶出試験は「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領（案）」（以下「実施要領（案）」という。）により実施し、土壤環境基準を超えないことを確認する。~~



#### 14. アスベスト建材使用箇所等の事前調査

- (1) 石綿等による健康障害を防止するため、とりこわし、改修工事の解体及び撤去等作業前、図面・施工範囲目視、その他適切な方法によるアスベスト含有材料の有無について調査を行い、報告書を監督員に提出する。アスベスト含有材料が無かった場合においても書面にて報告を行う。

報告書の記載内容

- ① アスベスト材料の種別
- ② アスベスト形状、飛散可能性の有無
- ③ 製造所・製品名称、製造所の公表するアスベスト含有率

なお、上記調査において、アスベスト分析調査が必要な場合は別途監督職員と協議を行う。

- (2) 監督員の指示による「石綿（アスベスト）の事前調査結果」、「建築物等の解体・改修等作業に関するお知らせ」について、公衆の見やすい場所に掲示を行う。

#### 15. 建設業退職金制度について

- (1) 工事受注者は、自ら雇用する建退共制度の対象労働者に係る共済証紙を購入し、当該労働者の共済手帳に共済証紙を貼付すること。
- (2) 工事受注者が下請契約を締結する際は、下請業者に対して、建退共制度の趣旨を説明し下請業者が雇用する建退共制度の対象労働者に係る共済証紙をあわせて購入し現物により交付すること、または建退共制度の掛金相当額を下請代金中に算入することにより、下請業者の建退共制度への加入並びに共済証紙の購入及び貼付を促進すべきこと。
- (3) 請負代金の額が800万円以上の建設工事の請負契約を締結した時は、工事受注者は建退共制度の発注者用掛金収納書（以下「収納書」という。）を工事締結後1ヶ月以内に発注者に提出すること。なお、工事契約締結当初は工場製作の段階であるため建退共制度の対象労働者を雇用しないこと等の理由により、期限内に当該工事に係る収納書を提出できない事情がある場合又は、建退共対象労働者を使用しない場合においては、あらかじめその理由を書面により申し出ること。

#### 16. 資材の市内産優先使用及び市内企業の優先採用

- (1) 工事受注者は、本工事に使用する材料については、規格・品質等の条件を満足するものについては、市内産資材を優先使用するよう努めること。
- (2) 工事受注者は、工事用資材の調達に当たっては、極力市内の取扱い業者から購入すること。
- (3) 下請契約を締結する際には、市内企業の採用に努めること。

#### 17. 再資源化及び再生資源等使用状況

工事受注者は、しゅん工時にコンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、木くずの再資源化の状況、再生資源（再生クラッシャーラン、再生アスファルト・コンクリート、再生土砂）及び信州リサイクル製品の使用状況について、監督員へ報告すること。

#### 18. レディーミクストコンクリート製造工場の選定について

受注者は、Ⅰ類コンクリートの製造工場を、JISマーク表示認証工場（改正工業標準化法（平成16年6月9日公布）に基づき国に登録された民間の第三者機関（登録認証機関）により認証を受けた工場）で、かつ、コンクリート製造に係る指導及び品質管理を行う施工管理技術者（コンクリート主任技士等）が置かれ、良好な品質管理が行われている工場（全国品質管理監査会議の策定した統一監査基準に基づく監査に合格した工場等）から選定する。

ただし、これにより難しい場合は、監督員と協議する。

#### 19. 工事進捗状況報告書

監督員の指示により、毎月の工事の進捗状況を報告書にまとめて提出する。

添付書類

- ・ 工事記録（工事の経過に伴う主な工事内容等の事項を記載した月報）
- ・ 工事打合わせ記録簿（当月分）
- ・ 工事写真（工事の進捗状況がわかるものを数枚）

#### 20. 施工図等の取扱い

施工図等の著作権に関わる当該建物に限る使用权は、発注者に移譲する。

#### 21. 設計図CADデータについて

本工事の設計図CADデータを貸与する。貸与したCADデータは、本工事の履行に必要な施工図の作成及び完成図の作成においてのみ使用することとし、それ以外の目的で使用してはならない。

#### 22. 完成写真の著作権の権利等について

工事受注者は、完成写真の撮影者との契約にあたって、以下の事項を条件とすること。

- ① 完成写真は、市が行う事務並びに市及び市が認めた公的機関の広報に、無償で使用する  
ことができる。この場合において、著作者名を表示しないことができる。
- ② 以下に掲げる行為をしてはならない。ただし、あらかじめ発注者の承諾を得た場合は、  
この限りではない。
  - イ. 完成写真を公表すること。
  - ロ. 完成写真を他人に閲覧させ、複写させ、又は譲渡すること。

#### 23. 高度技術・創意工夫・社会性に関する実施状況の提出について

受注者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、又は、地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、施工に先立ち所定の様式により提出することができる。

高度技術・創意工夫・社会性等の具体的内容がある場合は、「別添様式」及び、「説明資料」を提出すること。なお、用紙サイズはA4版とする。

	名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	令和5年度 豊科勤労者総合スポーツ施設大規模改修工事						
I	直接工事費						
A	建築工事		1.0	式			
B	電気設備工事		1.0	式			
C	機械設備工事		1.0	式			
	計						
II	共通費						
	共通仮設費		1.0	式			
	現場管理費		1.0	式			
	一般管理費等		1.0	式			
	計						
	工事価格	I + II					
	消費税相当額		1.0	式			
	工事費合計						

	名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	共通仮設費						
	( 率仮設分 )						
	工事用用水電力		┐				
	機械器具損料		┆				
	安全管理費	水替管理費含	┆				
	各種試験費		┆	一式			
	写 真 費		┆				
	整 理 清 掃	全般的な物	┆				
	仮 設 道 路		┐				
	率仮設分 - 小計						

	名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	( 積上げ仮設分 )						
	仮囲い	ガードフェンス H1800 上部メッシュタイプ 単管・杭にて緊結 存置9ヶ月程度 掛払、賃料、基本料、運搬費共	9.0	m			
	キャスターゲート	W8100xH3000 存置9ヶ月程度 掛払、賃料、基本料、運搬費共	1.0	ヶ所			
	交通誘導員B	週5日×34週	170.0	人			
	VOC化学物質濃度測定	ハップ法(拡散法) 6物質 (ホルムアルデヒド、トルエン、エチルベンゼン、 キシレン、パラジクロロベンゼン、スチレン)	16.0	ヶ所			
	仮設事務所	職員用 存置9ヶ月程度 2300x4550程度	1.0	棟			
	仮設トイレ	存置9ヶ月程度 汲み取り式	1.0	棟			
	鉄板敷き	存置6ヶ月程度 t=22	200.0	m <sup>2</sup>			
	積上げ仮設分 - 小計						
	共通仮設費 計						

	名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
A	建築工事						
1	直接仮設工事		1.0	式			
2	防水改修		1.0	式			
3	外壁改修		1.0	式			
4	建具改修		1.0	式			
5	内装改修		1.0	式			
6	塗装改修		1.0	式			
7	環境配慮改修(アスベスト)		1.0	式			
8	発生材処理		1.0	式			
9	体育館床改修工事		1.0	式			
	A - 計						

	名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
1	直接仮設工事						
	外部枠組本足場(手摺先行方式)	H12m未満 W600枠 存置5ヶ月程度 登栈橋・掛払、賃料、基本料、運搬費共	324.0	m2			
	外部枠組本足場(手摺先行方式)	登栈橋・掛払、賃料、基本料、運搬費共	1,643.0	m2			
	外部脚立足場	階高4.0m未満 並列 H=1.8m 存置1ヶ月程度 掛払、賃料、基本料、運搬費共	5.0	m2			
	安全手摺	枠組本足場用 存置5ヶ月程度 掛払、賃料、基本料、運搬費共	241.0	m			
	通路部落下防止養生	コンパネ+養生シート 存置5ヶ月程度 掛払、賃料、基本料、運搬費共	6.0	m			
	ガードフェンス	H=1.8m 存置9ヶ月程度 掛払、賃料、基本料、運搬費共	10.8	m			
	防音シート	存置5ヶ月程度 掛払、賃料、基本料、運搬費共	1,967.0	m2			
	内部枠組本足場(手摺先行方式)	H12m未満 W900枠 存置0.5ヶ月程度 登栈橋・掛払、賃料、基本料、運搬費共	476.0	m2			
	安全手摺	枠組本足場用 存置0.5ヶ月程度 掛払、賃料、基本料、運搬費共	68.4	m			
	内部脚立足場	階高4.0m未満 並列 H=1.8m 存置2ヶ月程度 掛払、賃料、基本料、運搬費共	147.0	m2			
	内部脚立足場	階高4.0m未満 並列 H=1.8m 存置0.5ヶ月程度 掛払、賃料、基本料、運搬費共	129.0	m2			
	ローリングタワー	H=8.0～14.5m未満 存置2ヶ月程度 掛払、賃料、基本料、運搬費共	5.0	台			
	ローリングタワー	H=5.0m未満 存置2ヶ月程度 掛払、賃料、基本料、運搬費共	1.0	台			

	名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	養生	防水改修	19.3	m2			
	養生	外壁改修	322.0	m2			
	養生	屋根塗装	1,897.0	m2			
	養生	下屋	66.0	m2			
	養生	内装複合改修 ビニールシート	1,454.0	m2			
	養生	ローリングタワー可動範囲 コンパネt12	156.0	m2			
	資材搬入路養生	ビニールシート	12.8	m2			
	整理清掃	防水改修	19.3	m2			
	整理清掃	外壁改修	322.0	m2			
	整理清掃	屋根塗装	1,897.0	m2			
	整理清掃	下屋	66.0	m2			
	整理清掃	内装複合改修	1,454.0	m2			
	整理清掃	ローリングタワー可動範囲	156.0	m2			
	整理清掃	資材搬入路	12.8	m2			



[illegible]

	名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
2	防水改修						
	<改修>						
	(外部)						
	高圧洗浄	既存ステンレス防水面	22.4	m2			
	ポーチ屋根 シート防水新設(既存防水上)	補強複合型、HPシート(30年耐久仕様) 平面	19.3	m2			
		断熱バックアップ材t30(ポリスチレンボード)共					
	ポーチ屋根 シート防水新設(既存防水上)	補強複合型、HPシート(30年耐久仕様) 立上面 H150程度	20.6	m			
		断熱バックアップ材t30(ポリスチレンボード)共 入隅・立上端部:塩ビFL鋼板押え					
	ルーフドレイン	改修用ドレイン 塩ビ成型ドレン φ80 既存ドレンの上(ストレーナーは撤去)	2.0	ヶ所			
	防水取合コーキング	MS-2(変性シリコン系 2成分形) 10×15	20.6	m			
	サッシ廻りコーキング	MS-2(変性シリコン系 2成分形) 10×15	477.0	m			
	外壁コーキング	MS-2(変性シリコン系 2成分形) 10×15	1,158.0	m			
	サイディング取合水切コーキング	MS-2(変性シリコン系 2成分形) 10×15	74.4	m			
	既製底コーキング	MS-2(変性シリコン系 2成分形) 10×15	10.3	m			



	名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
3	外壁改修						
	<解体>						
	屋根 棟換気取外し・再取付	塗装別途計上 カーステンレス製システム換気棟	25.7	m			
	屋根 棟換気エンドキャップ取外・再取付	塗装別途計上	2.0	ヶ所			
	屋根 雪止アングル取外し・再取付	塗装別途計上	281.0	m			
	屋根 雪止金物(羽根型)撤去		76.0	ヶ所			
	屋根 軒樋撤去	鋼板製 角樋 200×150 受金物取外し・再取付	72.8	m			
	屋根 縦樋取外し・再取付	WGP100A 受金物残置再利用	143.0	m			
	メンテナンス用ハシゴ取外し・再取付	ステンレス梯子 L5050×W400	1.0	式			
	<改修>						
	屋根 棟包み新設(換気棟下)	カラーガルバリウム鋼板t0.4加工 Aカバー-L1000@2200+Bカバー-L1900@2200 クッション材・取付用金物等含	25.7	m			

	名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	屋根 軒樋新設	耐酸被覆鋼板t0.5加工 200×150 受金物既存利用・役物等共	72.8	m			
	屋根 支持金物勾配調整		72.8	m			
	屋根 落し口	SUS自在ドレン	16.0	ヶ所			
	屋根 雪止金物新設	既製品 羽根型 溶融亜鉛メッキ塗装品 千鳥配置	76.0	ヶ所			
	屋根 雪止金物新設	既製品 羽根型 溶融亜鉛メッキ塗装品 千鳥配置 1列追加	38.0	ヶ所			
	防水取合水切	カラーガルバリウム鋼板t0.4加工 二重水切	8.1	m			
	着工前事前調査	外壁	940.0	m2			
	着工前事前調査	外巾木	112.0	m2			
	外壁 金属サイディング張	淀川製鋼所:エト`不燃パ`ネル パ`リアロックHyper t17.5 新規防水紙張・役物等共	279.0	m2			
	外壁 透湿防水シート		279.0	m2			
	外壁 プ`ラスターボ`ード下張り	t12.5	10.0	m2			
	屋根取合水切	カラーGL鋼板t0.4加工 残置水切上部	82.6	m			
	スターター	カラーGL鋼板 既製品	82.6	m			
	上部見切(見切縁)	カラーGL鋼板 既製品	83.4	m			
	開口取合い廻縁	カラーGL鋼板 既製品	14.9	m			

	名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	ジョイント目地セット	ハットジョイナー+シーリング 目地ジョイナー カラーGL鋼板 既製品	97.0	m			
	出隅、入隅取合い廻縁	カラーGL鋼板 既製品	33.6	m			
	外壁 押出成形セメント板	劣化部張替え t15	1.4	m2			
	外壁クラック補修	エポキシ樹脂注入	3.4	m			
	高圧洗浄	外巾木	112.0	m2			
	外巾木 モルタル金鋺薄塗補修		112.0	m2			
	ポーチ軒天 アルミスパンドレル	撤去、復旧 t0.8 W100 W100xL3500x3枚 見切縁共	1.0	ヶ所			
	ポーチ軒天 既存下地調整	天井下地(LGS)	1.0	m2			
	庇新設	アルフィン:ADシリーズ` AD1同等品 L2000×D800 既製品	1.0	ヶ所			
	取付補強鉄骨	M10ボルト※ドリル下穴@399.4×2φ12 下地補強鋼材125×65	1.0	ヶ所			
	(運搬・荷揚げ費)						
	運搬費	大型車 4t車	1.0	式			
	荷揚げ費	25t ラフタークレーン、13t ラフタークレーン	1.0	式			
	法定福利費		1.0	式			



	名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
4	建具改修						
	<解体>						
	アルミ製建具撤去		1.7	m2			
	スチール製建具撤去		3.9	m2			
	木製建具撤去		6.6	m2			
	トイレブース撤去		28.2	m2			
	建具枠斫り		6.3	m			
	同上カッター入	モルタル面	6.3	m			
	ガラス撤去		2.7	m2			
	<改修>						
	(アルミ製建具)	※上部・縦部カバー工法					
	AD-1 額入片開きフラッシュ戸	839 × 2000	1.0	ヶ所			
	養生・運搬費		1.0	式			
	取付調整費		1.0	式			



	名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	(スチール製建具)						
	SD-1 吊下引分けフラッシュ戸	1800×2178 乙種防火戸	1.0	ヶ所			
	養生・運搬費		1.0	式			
	取付調整費		1.0	式			
	(木製建具)						
	WD-1 額入片開き戸(ガリ付)	842×2000	1.0	ヶ所			
	WD-1' 額入片開き戸(ガリ付)	740×2000	1.0	ヶ所			
	WD-2 吊下額入片開き戸(ガリ付)	1000×2200	1.0	ヶ所			
	金物工事		1.0	式			
	運搬取付費		1.0	式			

	名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	(トイレブース)						
	TB-1 トイレブース	(2080+1440+1350×2)×H1850+50	1.0	ヶ所			
	TB-2 トイレブース	(3670+1360×3)×H1850+50	1.0	ヶ所			
	養生・運搬費		1.0	式			
	取付調整費		1.0	式			
	(ガラス)						
	型板ガラス	t4.0 2.18m2以下	1.7	m2			
	フロート板ガラス	t5.0 2.18m2以下	1.0	m2			
	金建用 ガラス廻りシーリング	SR-1 5x5 両面数量	32.3	m			
	ガラスクリーニング		2.7	m2			
	(その他)						
	フッ素樹脂塗替え(FP)	金建面 糸幅300mm以下 既存下地調整・素地ごしらえ共	34.0	m			
	合成樹脂調合ペイント塗替え(SOP)	金建面 既存下地調整・素地ごしらえ共	52.8	m2			
	合成樹脂調合ペイント塗(SOP)	金建面 素地ごしらえ共	9.8	m2			

	名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	合成樹脂調合ペイント塗(SOP)	木面 素地ごしらえ共	1.9	m2			
	合成樹脂調合ペイント塗(SOP)	木面 糸幅300mm以下 素地ごしらえ共	111.0	m			
	金建廻り 充填モルタル	防水剤入	0.8	m			
	金建廻り モルタル補修	W～215	6.3	m			
	(フィルム)						
	AW-1、AW2 飛散防止フィルム 既存サッシ面	203.29㎡/280枚	1.0	式			
	ガラス面 クリーニング	1回 203.29㎡	1.0	式			
	施工費		1.0	式			
	4 - 計						

	名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
5	内装改修						
	<解体>						
	コンクリート躯体解体	鉄筋斫出し残し	0.3	m3			
	コンクリートカッター入	有筋	9.6	m			
	EXPゴム撤去	アリーナ外周	158.0	m			
	断熱材撤去	ポリスチレンフォーム	1.2	m2			
	壁紙撤去	ビニルクロス	55.4	m2			
	壁材撤去	シーリングボード 二重	1.8	m2			
	軽量鉄骨壁下地撤去	二重張部	10.2	m2			
	木製巾木撤去	H200	6.6	m			
	天井材撤去	化粧PB 一重 t9.5	2.0	m2			
	ライニング天板撤去	ポストフォーム	1.0	m			
	棚板撤去	W150	0.9	m			
	男子便所 手洗カウンター撤去	2070×600	1.0	ヶ所			
	女子便所 手洗カウンター撤去	下部収納 2000×600×H720	1.0	ヶ所			

	名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	男子・女子便所 化粧鏡撤去	350 × 450	4.0	ヶ所			
	身障者便所 化粧鏡撤去	450 × 650	1.0	ヶ所			
	小便器撤去		4.0	ヶ所			
	和便器撤去		3.0	ヶ所			
	洋便器撤去		3.0	ヶ所			
	SK流し撤去		1.0	ヶ所			
	ベビーシート撤去		1.0	ヶ所			
	L型手摺撤去		1.0	ヶ所			
	跳上げ式手摺撤去		2.0	ヶ所			
	I型手摺撤去	L1000	1.0	ヶ所			

	名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	<改修>						
	(床)						
	和便器撤去部穴埋め	現場打ちコンクリート 600×1000×t130 上部シンダーコンクリートt70打設	3.0	ヶ所			
		D10,D13@200W配筋 既存鉄筋にアーク溶接					
	溶接金網敷	φ6-150×150程度	22.6	m2			
	汚垂石	黒御影石 t25 3600×600 据付モルタル含	1.0	ヶ所			
	モザイクタイル	AD-1下枠 50×50	0.3	m2			
	モルタル金鰈	t47.5 張物下地	22.6	m2			
	タイル下地モルタル		0.3	m2			
	既存下地補修		61.6	m2			
	防塵塗装	ウレタン系	56.8	m2			
	長尺塩ビシート	t2.5	25.3	m2			
	クラック補修	エポキシ樹脂注入	7.0	m			

	名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	(幅木・壁)						
	塩ビ製巾木	H60	29.6	m			
	ステンレス製巾木	H100	3.6	m			
	床材立上巾木	長尺塩ビシート H100 見切材等共	28.4	m			
	建具外周見切材	金属製	12.6	m			
	壁出隅見切材	ステンレス製	5.4	m			
	腰見切材	ステンレス製 化粧ケイカル板見切	8.6	m			
	軽鉄鉄骨壁下地組	65型 下地張あり @455	10.3	m2			
	ビニルクロス		45.2	m2			
	化粧珪酸カルシウム板	t6.0 目地シール共	99.4	m2			
	耐水石膏ボード	t9.5 既存タイル面	29.1	m2			
	耐水石膏ボード	t12.5 LGS面	19.5	m2			
	耐水石膏ボード	t12.5 既存タイル面	29.2	m2			
	耐水石膏ボード	t12.5+12.5 LGS面	12.1	m2			

	名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	(天井)						
	天井見切り	塩ビ製	36.4	m			
	化粧石膏ボード	t9.5	2.0	m2			
	下地組調整	LGS	2.0	m2			
	(その他)						
	L型手摺壁補強	構造用合板t12 900×900	2.0	ヶ所			
	I型手摺部壁補強	構造用合板t12 900×450	1.0	ヶ所			
	可動手摺部	構造用合板t12 1200×450	1.0	ヶ所			
	可動手摺部	構造用合板t12 300×900	1.0	ヶ所			
	SK流し壁補強	構造用合板t12 900×900	1.0	ヶ所			
	凡例:F-1(男子便所) 洗面カウンター	2070×600 棚受金物200×350共	1.0	ヶ所			
	凡例:F-2(女子便所) 洗面カウンター	2000×600 棚受金物200×350共	1.0	ヶ所			
	凡例:F-3(男子便所) 可動棚	ステンス棚受レール・棚受アングル 525×300×1800×3段(側壁共)	1.0	ヶ所			
	ライニングトッポ	ホストフォーム t20 W150程度	1.0	m			
	男子・女子便所 帽子掛け		5.0	ヶ所			
	男子・女子便所 荷物フック		5.0	ヶ所			



	名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	(体育器具等補強)						
	吊下げ式バスケットゴール補強		2.0	基			
	同上モーターボックスカバー取替	処分費共	2.0	台			
	落下防止対策:時計	クランプ、φ37ワイヤー、バンド	1.0	台			
	落下防止対策:スピーカー	クランプ、φ37ワイヤー、バンド	3.0	台			
	EXPゴム交換	アリーナ 20×18	158.0	m			
	5 - 計						

	名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
6	塗装改修						
	<改修>						
	(外部)						
	屋根 高圧洗浄		1,897.0	m2			
	屋根 錆止塗装		1,897.0	m2			
	屋根 フッ素樹脂塗料塗替え(FP)	鉄面 2回塗 既存下地調整・素地ごしらえ共	1,897.0	m2			
	換気棟 高圧洗浄		17.9	m2			
	換気棟 錆止塗装		17.9	m2			
	換気棟 フッ素樹脂塗料塗替え(FP)	ステンレス面 2回塗 糸尺≒600 既存下地調整・素地ごしらえ共	15.4	m2			
	換気棟エントキャップ フッ素樹脂塗料塗替え(FP)	ステンレス面 2回塗 既存下地調整・素地ごしらえ共	2.4	m2			
	鼻隠し(一段目) 錆止塗装		45.1	m2			
	下り棟・破風 錆止塗装		289.0	m			
	下り棟(大屋根) フッ素樹脂塗料塗替え(FP)	鉄面 2回塗 糸幅300mm以下 既存下地調整・素地ごしらえ RB種 共	34.1	m			
	棟・下り棟(下屋) フッ素樹脂塗料塗替え(FP)	鉄面 2回塗 糸幅300mm以下 既存下地調整・素地ごしらえ RB種 共	25.7	m			
	破風 フッ素樹脂塗料塗替え(FP)	鉄面 2回塗 糸幅300mm以下 既存下地調整・素地ごしらえ RB種 共	141.0	m			

	名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	鼻隠し(一段目) フッ素樹脂塗料塗替え(FP)	セメント板面 2回塗 既存下地調整・素地ごしらえ RB種 共	45.1	m2			
	鼻隠し(二段目) フッ素樹脂塗料塗替え(FP)	鉄面 2回塗 糸幅300mm以下 既存下地調整・素地ごしらえ RB種 共	87.4	m			
	雪止アングル 錆止塗装		281.0	m			
	雪止アングル フッ素樹脂塗料塗替え(FP)	鉄面 2回塗 糸幅300mm以下 既存下地調整・素地ごしらえ RB種 共	281.0	m			
	軒樋受金物 錆止塗装		196.0	m			
	軒樋受金物 フッ素樹脂塗料塗替え(FP)	鉄面 2回塗 糸幅300mm以下 既存下地調整・素地ごしらえ RB種 共	196.0	m			
	縦樋 錆止塗装		143.0	m			
	縦樋 フッ素樹脂塗料塗替え(FP)	鉄面 2回塗 糸幅300mm以下 既存下地調整・素地ごしらえ RB種 共	143.0	m			
	高圧洗浄	東西面中央・南北面袖壁	120.0	m2			
	高圧洗浄	ポーチ幕板・柱	37.7	m2			
	高圧洗浄	外壁	708.0	m2			
	高圧洗浄	水飲み・靴洗い場、門標	5.9	m2			
	外壁(張替部) フッ素樹脂塗料	セメント板面 2回塗 素地ごしらえ B種 共	1.4	m2			
	外壁(東西面中央) フッ素樹脂塗料塗替え(FP)	セメント板面 2回塗 既存下地調整・素地ごしらえ RB種 共	19.7	m2			
	外壁(東西面中央) 複層仕上塗材E塗替え	セメント板面 既存下地調整・素地ごしらえ RB種 共	63.1	m2			
	外壁(南北面両袖壁) フッ素樹脂塗料塗替え(FP)	セメント板面 2回塗 既存下地調整・素地ごしらえ RB種 共	37.0	m2			

	名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	外壁(一般部) フッ素樹脂塗料塗替え(FP)	セメント板面 2回塗 既存下地調整・素地ごしらえ RB種 共	708.0	m2			
	ポーチ幕板・壁・柱 フッ素樹脂塗料塗替え(FP)	鉄面 2回塗 既存下地調整・素地ごしらえ RB種 共	37.7	m2			
	水飲み・靴洗い場 複層仕上塗材E塗	コンクリート面 既存下地調整・素地ごしらえ RB種 共	2.5	m2			
	高圧洗浄	軒天	130.0	m2			
	軒天 複層仕上塗材E塗替え	ケイカル面 既存下地調整・素地ごしらえ RB種 共	130.0	m2			
	(内部)						
	天井 アクリル樹脂エマルジョンペイント塗(AEP)	ボート面 素地ごしらえ B種 共	2.0	m2			
	天井 アクリル樹脂エマルジョンペイント塗替え(AEP)	ボート面 既存下地調整・素地ごしらえ RB種 共	150.0	m2			
	巾木 合成樹脂調合ペイント塗替え(SOP)	鉄面 糸幅300mm以下 既存下地調整・素地ごしらえ RB種 共	1.2	m			
	建具枠 合成樹脂調合ペイント塗替え(SOP)	鉄面 糸幅300mm以下 既存下地調整・素地ごしらえ RB種 共	12.6	m			
	窓枠 合成樹脂調合ペイント塗替え(SOP)	鉄面 糸幅300mm以下 既存下地調整・素地ごしらえ RB種 共	10.2	m			
	6 - 計						

	名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
7	環境配慮改修(アスベスト)						
	(外部)						
	床タイル撤去	磁器質モザイクタイル、モルタル下地 50角 カッター入(2.5m)等含	0.3	m2			
	外壁コーキング撤去	10×15程度	1,158.0	m			
	サッシ廻りコーキング撤去	10×15程度	477.0	m			
	外壁 押出成形セメント板撤去	t15	1.4	m2			
	事前清掃	真空掃除機	1.0	式			
	飛散等防止措置等養生	0.1mmポリエチレンシート養生	1.0	式			
	廃棄物梱包	ラッピング・袋詰め レベル3	1.0	式			
	養生使用材撤去費	ラッピング・袋詰め・集積含 レベル3	1.0	式			
	安全対策費	表示看板・作業区画バリケード等 レベル3	1.0	式			
	消耗器具等損料	防塵マスクフィルター・保護衣等 レベル3	1.0	式			
	機械器具損料	HEPA真空掃除機による清掃	1.0	式			
	石綿作業主任管理費		1.0	式			

	名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	(内部)						
	床材撤去	磁器質モザイクタイル、モルタル下地 50角 カッター入(9.6m)等含	1.8	m2			
	床材撤去	長尺塩ビシート t2.5	4.8	m2			
	床材撤去	防塵塗装(ウレタン系)	56.8	m2			
	壁材撤去	磁器質タイル、モルタル下地 100角	10.2	m2			
	塩ビ巾木撤去		21.0	m			
	事前清掃	真空掃除機	1.0	式			
	飛散等防止措置等養生	0.1mmポリエチレンシート養生	1.0	式			
	廃棄物梱包	ラッピング・袋詰め レベル3	1.0	式			
	養生使用材撤去費	ラッピング・袋詰め・集積含 レベル3	1.0	式			
	安全対策費	表示看板・作業区画バリケード等 レベル3	1.0	式			
	消耗器具等損料	防塵マスクフィルター・保護衣等 レベル3	1.0	式			
	機械器具損料	HEPA真空掃除機による清掃	1.0	式			
	石綿作業主任管理費		1.0	式			

	名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	(発生材処理)						
	発生材積込	アスベスト含有建材類※レベル3	0.6	m3			
	発生材運搬	アスベスト含有建材類※レベル3 10t車 片道10km程度	0.6	m3			
	発生材処分	アスベスト含有建材類※レベル3	0.6	m3			
	7 - 計						

	名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
8	発生材処理						
	(積込)						
	発生材積込	コンクリート屑類(有筋)	0.4	m3			
	発生材積込	混合廃棄物類	1.9	m3			
	発生材積込	廃プラスチック類	0.2	m3			
	発生材積込	石膏ボード類	0.1	m3			
	発生材積込	ガラス・陶磁器屑類	1.7	m3			
	発生材積込	木屑類	0.03	m3			
	(運搬)						
	発生材運搬	コンクリート屑類(有筋) 10t車 片道10km程度	0.4	m3			
	発生材運搬	混合廃棄物類 10t車 片道10km程度	1.9	m3			
	発生材運搬	廃プラスチック類 10t車 片道10km程度	0.2	m3			
	発生材運搬	石膏ボード類 10t車 片道10km程度	0.1	m3			
	発生材運搬	ガラス・陶磁器屑類 10t車 片道10km程度	1.7	m3			



	名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	発生材運搬	木屑類 10t車 片道10km程度	0.03	m3			
	(処分)						
	発生材処分	コンクリート屑類(有筋)	0.4	m3			
	発生材処分	混合廃棄物類	1.9	m3			
	発生材処分	廃プラスチック類	0.2	m3			
	発生材処分	石膏ボード類	0.1	m3			
	発生材処分	ガラス・陶磁器屑類	1.7	m3			
	発生材処分	木屑類	0.03	m3			
	有価物処理	金属屑類	▲ 0.4	t			
	8 - 計						

	名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
9	体育館床改修工事						
	アリーナ床目荒し	複合フローリング面 ポリッシャー掛け	1,166.0	m <sup>2</sup>			
	コートライン引き	バスケットボール25m×18m 既存上書き塗装	86.0	m			
	床ウレタン塗装	水性2液1回塗り	1,166.0	m <sup>2</sup>			
	9 - 計						

	名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
B	電気設備工事						
1	電灯設備	電灯分岐	1	式			
		コンセント分岐	1	式			
2	トイレ呼出設備		1	式			
3	仮設工事		1	式			
4	撤去工事	発生材積込、運搬、処分含む	1	式			
	B - 計						

	名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
1	電灯設備						
1)	電灯分岐						
	LED照明器具	LSS9-4-23 LN	2	個			
	LED照明器具	LSS9-4-37 LN	9	個			
	LED照明器具	LSS9-4-48 LN	23	個			
	LED照明器具	LBF3MP/RP-2-06 LN	7	個			
	LED照明器具	LRS15-4-41 LN	6	個			
	LED照明器具	LRS20-4-65 LN	6	個			
	LED照明器具	SP-1	2	個			
	LED照明器具	SP-2	8	個			
	LED照明器具	SP-3	1	個			
	LED照明器具	SP-4	2	個			
	LED照明器具	SP-5	5	個			
	LED照明器具	SP-6	2	個			
	LED照明器具	SP-7	4	個			
	LED照明器具	SP-8	1	個			

	名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	LED照明器具	SP-9	5	個			
	LED照明器具	SP-10	2	個			
	LED照明器具	SP-11	28	個			
	LED照明器具	SP-12-1	6	個			
	LED照明器具	SP-12-2	2	個			
	LED照明器具	SP-12-4	1	個			
	LED非常照明	イ1 K1-LRS11-2	1	個			
	LED非常照明	ロ1	3	個			
	SP-11 専用リモコン		1	個			
	非常灯専用リモコン		1	個			
	熱線センサー付き自動スイッチ	2回路 換気扇連動	3	個			
	熱線センサー付き自動スイッチ	1回路	2	個			
	熱線センサー付き自動スイッチ	操作ユニット 2回路用	3	個			
	熱線センサー付き自動スイッチ	操作ユニット 1回路用	2	個			
	熱線センサー付き自動スイッチ	2回路 換気扇連動 壁付	1	個			
	ケーブル		1	式			電気別紙明細-1



[illegible]

	名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
2	トイレ呼出設備						
	トイレ呼出押しボタン	引きひも付き	2	個			
	復旧ボタン		1	個			
	廊下灯		1	個			
	トイレ呼出表示器 1回路(壁付)		1	個			
	6連ブランクプレート	金属プレート	2	個			
	2 - 計						



	名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
3	仮設工事						
	分電盤 仮設		1	個			
	EM-EEF2.0-3C	管内 仮設	11	m			
	EM-CET14°	管内 仮設	64	m			
	EM-IE2.0	管内 仮設	64	m			
	配管FEP40	露出ころがし 仮設	68	m			
	3 - 計						

	名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
4	撤去工事						
	蛍光灯 撤去	FL20Wx1 直付	1	個			
	蛍光灯 撤去	FL20Wx1 埋込	5	個			
	蛍光灯 撤去	FL40Wx1 埋込	10	個			
	蛍光灯 撤去	FL20Wx2 埋込	1	個			
	蛍光灯 撤去	FL40Wx2 埋込	6	個			
	蛍光灯 撤去	FL40Wx1 直付	6	個			
	蛍光灯 撤去	FL40Wx2 直付	28	個			
	蛍光灯 撤去	ブラケットライト	14	個			
	蛍光灯 撤去	FL36Wx3 埋込	6	個			
	白熱灯 撤去	ダウンライト 埋込	11	個			
	HID照明 撤去	1000W以下 安定器共	28	個			
	灯具昇降装置 撤去	滑車	28	個			
	灯具昇降装置 撤去	ワイヤ	336	m			
	非常照明 撤去	ダウンライト 埋込	1	個			
	埋込コンセント 撤去	2P15Ax2 ET付	9	個			

	名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	埋込スイッチ 撤去	1P15Ax2	2	個			
	埋込スイッチ 撤去	1P15Ax2 表示灯付	3	個			
	埋込スイッチ 撤去	1P15Ax1 表示灯付	1	個			
	IV1.6 撤去	天井内	5	m			
	IV1.6 撤去	PF管内	50	m			
	PF16 撤去	隠蔽	15	m			
	スピーカー 撤去	天井埋込スピーカー	1	個			
	トイレ呼出押しボタン 撤去		2	個			
	復旧ボタン 撤去		1	個			
	廊下灯 撤去		1	個			
	トイレ呼出表示器 1回路(壁付) 撤去		1	個			
	スピーカー 取外し・再取付	天井埋込スピーカー	4	個			
	感知器 取外し・再取付	差動式スポット型感知器	5	個			
	発生材積込費	普通 山積1.2m <sup>3</sup>	1.1	m <sup>3</sup>			
	発生材運搬費	2tダンプ車	1.1	m <sup>3</sup>			
	発生材処分費	その他混合廃棄物	1.1	m <sup>3</sup>			

	名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	4 - 計						

	名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	<b>電気別紙明細-1 ケーブル</b>						
	EM-EEF	1.6-3C 天井内	19.0	m			
	EM-EEF	1.6-3C 管内	14.0	m			
	計						
	<b>電気別紙明細-2 線ぴ</b>						
	1種金属線ぴ	A型	8.0	m			
	1種金属線ぴ A型	露出スイッチボックス1個用	6.0	個			
	計						
	<b>電気別紙明細-3 塗装</b>						
	下地調整	亜鉛メッキ鉄鋼面RB	70.0	m2			
	錆止め塗装	亜鉛メッキ鉄鋼面A種	70.0	m2			
	仕上げ塗装	亜鉛メッキ鉄鋼面DP1級	70.0	m2			
	計						

	名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	<b>電気別紙明細-4 配線器具</b>						
	埋込コンセント	2P15Ax1 E極・ET付金属プレート	7.0	個			
	埋込コンセント	2P15Ax2 E極・ET付金属プレート	6.0	個			
	ブランプレート	角型 金属製	1.0	個			
	計						
	<b>電気別紙明細-5 ケーブル</b>						
	EM-EEF	2.0-3C 天井内	16.0	m			
	EM-EEF	2.0-3C 管内	35.0	m			
	計						
	<b>電気別紙明細-6 線ぴ</b>						
	1種金属線ぴ	A型	35.0	m			
	1種金属線ぴ A型	露出スイッチボックス1個用	13.0	個			
	計						

	名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
C	機械設備工事						
1	暖房設備		1.0	式			
2	換気設備		1.0	式			
3	衛生器具設備		1.0	式			
4	給水設備		1.0	式			
5	排水設備		1.0	式			
6	撤去工事	発生材積込、運搬、処分含む	1.0	式			
	C - 計						

[illegible]



	名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
2	換気設備						
	[機器]						
	換気扇	FV-1 天井埋込型 低騒音型 300m <sup>3</sup> /h×50Pa	2.0	台			
	換気扇	FV-3 天井埋込型 低騒音型 130m <sup>3</sup> /h×50Pa	1.0	台			
	機器据付費		1.0	式			別紙明細C-2-1
	[ダクト]						
	スパイラルダクト	100φ	1.0	m			
	スパイラルダクト	150φ	1.0	m			
	機器フェイス部再取付	既設天井扇 清掃費含む	3.0	箇所			
	ダクト切断・再接続		1.0	式			別紙明細C-2-2
	あと施工アンカー		1.0	式			別紙明細C-2-3
	2 - 計						

	名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
3	衛生器具設備						
	洋風大便器	床置床排水大便器 防露ロータンク(床給水) 洗浄暖房便座 2連紙巻器	5.0	組			
	洋風大便器	床置床排水大便器 防露ロータンク(床給水) 横ずれ防止仕様洗浄暖房便座 背もたれ 2連紙巻器	1.0	組			
	小便器	センサー一体形壁掛ストール小便器(自己発電型) 低リップ型	4.0	組			
	洗面器	はめ込楕円形洗面器 自動単水栓(自己発電型) 給排水金具(床給排水)	4.0	組			
	洗面器	車いす対応洗面器 自動混合水栓(自己発電型) 電気温水器3L 給排水金具(壁給排水) 止水栓	1.0	組			
	掃除流し	ハイバック付 床排水金具 横水栓 アンクル型止水栓	1.0	組			
	擬音装置	埋込型 100V	3.0	個			
	化粧鏡	450×600	4.0	枚			
	化粧鏡	600×900	1.0	枚			
	手すり	L型 樹脂被覆型 L=700,D=90	1.0	組			
	手すり	L型 樹脂被覆型 L=700,D=120	1.0	組			
	手すり	I型 樹脂被覆型 L=1000	1.0	組			
	手すり	跳ね上げ型 樹脂被覆型	2.0	組			
	手すり	小便器用 樹脂被覆型	1.0	組			
	ペーパーシート	縦型	1.0	組			

	名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	3 - 計						

	名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
4	給水設備						
	水道用硬質塩ビライニング鋼管	VA 20A 機械室・便所	45.0	m			
	水道用硬質塩ビライニング鋼管	VA 25A 機械室・便所	10.0	m			
	水道用硬質塩ビライニング鋼管	VA 32A 機械室・便所	7.0	m			
	給水管保温	PF 20A 天井内	5.0	m			
	給水管保温	PF 25A 天井内	1.0	m			
	給水管保温	PF 20A ピット内・暗渠	40.0	m			
	給水管保温	PF 25A ピット内・暗渠	9.0	m			
	給水管保温	PF 32A ピット内・暗渠	7.0	m			
	中間階水抜栓	20A×600L	1.0	個			
	中間階水抜栓	25A×600L	1.0	個			
	床用開閉器	U-D型 20A用	1.0	個			
	床用開閉器	U-D型 25A用	1.0	個			
	吸気弁	13A	5.0	個			
	吸気弁	20A	2.0	個			
	形鋼振れ止め支持		1.0	式			



	名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
5	排水設備						
	〔污水管〕						
	硬質ポリ塩化ビニル管	VP 50A 機械室・便所	7.0	m			
	硬質ポリ塩化ビニル管	VP 75A 機械室・便所	18.0	m			
	硬質ポリ塩化ビニル管	VP 100A 機械室・便所	15.0	m			
	污水管保温	GW 50A 天井内	1.0	m			
	污水管保温	GW 50A ピット内・暗渠	6.0	m			
	污水管保温	GW 75A ピット内・暗渠	18.0	m			
	污水管保温	GW 100A ピット内・暗渠	15.0	m			
	〔雑排水管〕						
	硬質ポリ塩化ビニル管	VP 25A 機械室・便所	7.0	m			
	硬質ポリ塩化ビニル管	VP 30A 機械室・便所	1.0	m			
	硬質ポリ塩化ビニル管	VP 40A 機械室・便所	12.0	m			
	硬質ポリ塩化ビニル管	VP 50A 機械室・便所	5.0	m			
	硬質ポリ塩化ビニル管	VP 65A 機械室・便所	3.0	m			
	硬質ポリ塩化ビニル管	VP 75A 機械室・便所	3.0	m			

	名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	硬質ポリ塩化ビニル管	VP 100A 機械室・便所	11.0	m			
	雑排水管保温	GW 40A 天井内	1.0	m			
	雑排水管保温	GW 25A ヒット内・暗渠	7.0	m			
	雑排水管保温	GW 30A ヒット内・暗渠	1.0	m			
	雑排水管保温	GW 40A ヒット内・暗渠	11.0	m			
	雑排水管保温	GW 50A ヒット内・暗渠	5.0	m			
	雑排水管保温	GW 65A ヒット内・暗渠	3.0	m			
	雑排水管保温	GW 75A ヒット内・暗渠	3.0	m			
	雑排水管保温	GW 100A ヒット内・暗渠	11.0	m			
	〔通気管〕						
	硬質ポリ塩化ビニル管	VP 50A 機械室・便所	7.0	m			
	掃兼ドレン	50A	2.0	個			
	床上掃除口	COA80	1.0	個			
	形鋼振れ止め支持		1.0	式			
	配管切断・再接続		1.0	式			別紙明細C-5-1
	機械はつり補修		1.0	式			別紙明細C-5-2





	名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
6	撤去工事						
	機器類 撤去		1.0	式			別紙明細C-6-1
	衛生器具類 撤去		1.0	式			別紙明細C-6-2
	ダクト類 撤去	機器フェイス部取外し含む	1.0	式			別紙明細C-6-3
	配管類 撤去		1.0	式			別紙明細C-6-4
	発生材積込運搬費	2t・3tダンプ 片道おおよそ25km	1.0	回			
	発生材処分	コンクリート類	0.1	t			
	発生材処分	金属類	0.6	m3			
	発生材処分	混合廃棄物	1.6	m3			
	6 - 計						

	名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	別紙明細 C-1-1						
	機器据付費	設備機械工	2.39	人			
	計						
	別紙明細 C-2-1						
	機器据付費	設備機械工	2.21	人			
	計	C-2-1 計					
	別紙明細 C-2-2						
	ダクト切断・再接続	保温有 100φ	1.0	箇所			
	ダクト切断・再接続	保温有 150φ	2.0	箇所			
	計						
	別紙明細 C-2-3						
	あと施工アンカー	M10 上向き	1.0	箇所			
	計						

	名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	別紙明細 C-4-1						
	配管切断・再接続	鋼管 保温有 20A	1.0	箇所			
	配管切断・再接続	鋼管 保温有 25A	2.0	箇所			
	配管切断・再接続	鋼管 保温有 32A	1.0	箇所			
	計						
	別紙明細 C-4-2						
	機械はつり補修	鉄筋探査共 75φ×150L	9.0	箇所			
	計						
	別紙明細 C-4-3						
	あと施工アンカー	M10 上向き	21.0	箇所			
	計						

	名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	別紙明細 C-5-1						
	配管切断・再接続	鋼管 保温有 32A	1.0	箇所			
	配管切断・再接続	鋼管 保温有 75A	1.0	箇所			
	配管切断・再接続	鋼管 保温有 100A	3.0	箇所			
	配管切断・再接続	鋼管 保温無 50A	1.0	箇所			
	計						
	別紙明細 C-5-2						
	機械はつり補修	鉄筋探査共 100φ × 150L	10.0	箇所			
	機械はつり補修	鉄筋探査共 125φ × 150L	8.0	箇所			
	計						
	別紙明細 C-5-3						
	あと施工アンカー	M10 上向き	61.0	箇所			
	計						

	名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	別紙明細 C-6-1						
	〔暖房機器〕						
	パネルヒーター 撤去	EH-1 2.0kW 壁掛型 サーモスタット内蔵	2.0	台			
	パネルヒーター 撤去	EH-2 1.0kW 壁掛型 サーモスタット内蔵	1.0	台			
	〔換気機器〕						
	換気扇 撤去	FV-1 天井埋込型 300m3/h×60Pa	2.0	台			
	換気扇 撤去	FV-3 天井埋込型 130m3/h×40Pa	1.0	台			
	計						

	名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	別紙明細 C-6-2						
	和風大便器 撤去	タンク式	3.0	組			
	洋風便器 撤去	タンク式	2.0	組			
	身障者用便器 撤去	FV式	1.0	組			
	ストール小便器 撤去	FV式	4.0	組			
	掃除流し 撤去		1.0	組			
	はめ込洗面器 撤去		4.0	組			
	身障者用洗面器 撤去		1.0	組			
	ベビーシート 撤去	縦型	1.0	組			
	化粧鏡 撤去	600×800×5t	1.0	枚			
	化粧鏡 撤去	360×450×5t	4.0	枚			
	計						



	名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	別紙明細 C-6-4						
	〔給水管〕						
	給水管 撤去	鋼管 20A 機械室・便所	39.0	m			
	給水管 撤去	鋼管 25A 機械室・便所	15.0	m			
	給水管 撤去	鋼管 32A 機械室・便所	7.0	m			
	給水管保温 撤去	PF 20A 天井内	5.0	m			
	給水管保温 撤去	PF 25A 天井内	2.0	m			
	給水管保温 撤去	PF 20A ピット内・暗渠	34.0	m			
	給水管保温 撤去	PF 25A ピット内・暗渠	13.0	m			
	給水管保温 撤去	PF 32A ピット内・暗渠	7.0	m			
	〔排水管〕						
	排水管 撤去	鋼管 25A 機械室・便所	6.0	m			
	排水管 撤去	鋼管 32A 機械室・便所	1.0	m			
	排水管 撤去	鋼管 40A 機械室・便所	2.0	m			
	排水管 撤去	鋼管 50A 機械室・便所	8.0	m			
	排水管 撤去	鋼管 65A 機械室・便所	1.0	m			



	名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	排水管 撤去	鋼管 75A 機械室・便所	3.0	m			
	排水管 撤去	鋼管 100A 機械室・便所	11.0	m			
	排水管 撤去	鉛管 40A 機械室・便所	8.0	m			
	排水管 撤去	鉛管 50A 機械室・便所	6.0	m			
	排水管 撤去	鉛管 65A 機械室・便所	1.0	m			
	排水管 撤去	鉛管 75A 機械室・便所	9.0	m			
	排水管 撤去	鋳鉄管 75A 機械室・便所	8.0	m			
	排水管 撤去	鋳鉄管 100A 機械室・便所	15.0	m			
	排水管保温 撤去	GW 40A 天井内	1.0	m			
	排水管保温 撤去	GW 25A ピット内・暗渠	6.0	m			
	排水管保温 撤去	GW 32A ピット内・暗渠	1.0	m			
	排水管保温 撤去	GW 40A ピット内・暗渠	9.0	m			
	排水管保温 撤去	GW 50A ピット内・暗渠	14.0	m			
	排水管保温 撤去	GW 65A ピット内・暗渠	2.0	m			
	排水管保温 撤去	GW 75A ピット内・暗渠	20.0	m			
	排水管保温 撤去	GW 100A ピット内・暗渠	26.0	m			

	名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	〔通気管〕						
	通気管 撤去	鋼管 50A 機械室・便所	6.0	m			
	〔撤去共通〕						
	排水金物 撤去	T5B50	2.0	個			
	床上掃除口 撤去	COB80	1.0	個			
	計						

令和5年度 豊科勤労者総合スポーツ施設大規模改修工事

令和4年度 豊科勤労者総合スポーツ施設体育館改修工事

図 面 目 録

「表紙」「図面目録」共全 45 枚

建 築 工 事			電 気 設 備 工 事			機 械 設 備 工 事		
図面番号	図 面 名 称	縮 尺	図面番号	図 面 名 称	縮 尺	図面番号	図 面 名 称	縮 尺
—	表紙	——	E-01	電気設備 特記仕様書	——	M-01	機械設備 特記仕様書	——
—	図面目録	——	E-02	配置図・案内図・テニスコート照明改修図	A1:1/400	M-02	配置図・案内図	A1:1/400
A-01	改修特記仕様書（その1）	——	E-03	照明器具参考姿図	——	M-03	暖房・換気設備 機器表（新設・撤去）	——
A-02	改修特記仕様書（その2）	——	E-04	電灯設備 1,2階配線図	A1:1/100	M-04	暖房・換気設備 便所廻り詳細図（新設・撤去）	A1:1/100
A-03	改修特記仕様書（その3）	——	E-05	コンセント・通信設備 1階配線図	A1:1/100	M-05	給排水衛生設備 1階平面図	A1:1/100
A-04	改修特記仕様書（その4）	——				M-06	給排水衛生設備 便所廻り詳細図（改修前）	A1:1/50
A-05	改修特記仕様書（その5）	——				M-07	給排水衛生設備 便所廻り詳細図（改修後）	A1:1/50
A-06	改修特記仕様書（その6）	——						
A-07	改修特記仕様書（その7）	——						
A-08	解体工事特記仕様書	——						
A-09	案内図・配置図	A1:1/400						
A-10	改修仕上表	——						
A-11	1階平面図	A1:1/100						
A-12	吹抜部平面図	A1:1/100						
A-13	屋根伏図	A1:1/100						
A-14	立面図1	A1:1/100						
A-15	立面図2	A1:1/100						
A-16	断面図（既存）	A1:1/100						
A-17	矩計図（既存）	A1:1/100						
A-18	男子便所・男子洗面 平面詳細・展開図（改修前・改修後）	A1:1/50						
A-19	女子便所・女子洗面 平面詳細・展開図（改修前・改修後）	A1:1/50						
A-20	多目的便所 平面詳細・展開図（改修前・改修後）	A1:1/50						
A-21	天井伏図	A1:1/100						
A-22	建具キープラン・建具表	A1:1/100,1/150						
A-23	部分詳細図1	A1:1/10,1/20						
A-24	部分詳細図2	A1:1/10						
A-25	ポーチ屋根防水・アリーナ屋根軒先改修 詳細図	A1:1/5						
A-26	排煙棟部改修詳細図	A1:1/5						
A-27	時計、スピーカー落下防止・吊下げバスケットゴール 詳細図（参考図）	A1:1/6,1/100						
K-01	仮設図1（参考図）	A1:1/200						
K-02	仮設図2（参考図）	A1:1/100						
K-03	仮設図3（参考図）	A1:1/100						
K-04	仮設図4（参考図）	A1:1/100						

[illegible]

			JOB No.	工事名称	図面名称	縮尺	No.
			検印	製図	令和 5 年度 豊科勤労者総合スポーツ施設大規模改修工事	改修特記仕様書 ( 1 )	A3 : -- A1 : -- A-01



4

外壁改修工事（共通事項）

○ 施工数量調査

[1. 5. 2. 3]

調査範囲 ・ 外壁改修範囲 ○ 図示の範囲  
調査内容  
ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。  
  
モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。  
  
コンクリート表面のはがれ及びひびは落部を壁面に表示する。  
塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面のはがれ及びひびは落部を壁面に表示する。また、既存塗膜と新規上塗材との適合性を確認する。  
  
既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ・ 図示 ・ 調査報告書の部数 ・ 2部

[4. 2. 2]

広がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮)	引張接着性 (材齢28日)	曲げ性能 (材齢28日)	吸水性 (72時間)	耐久性 (劣化曲げ強さ)
3 以下	3% 以下	0. 5 N/mm <sup>2</sup> 以上	5. 0 N/mm <sup>2</sup> 以上	15% 以下	5. 0 N/mm <sup>2</sup> 以上

  
保水係数 0. 35～0. 55  
粘調係数 0. 50～1. 00

[4. 2. 2]

モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。

4-1

外壁改修工事 コンクリート打放し仕上げ外壁

○ ひび割れ部改修工法

[4. 2. 2] [4. 3. 4～5] [4. 3. 4]

・ 樹脂注入工法  

工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量 (ml/m)
※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0. 2以上～1. 0 以下	・ ※ 200～300	・ 130
・ 手動式エポキシ樹脂注入工法	0. 2以上～0. 3 未満	・ 50～100	・ 40
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法	0. 3以上～0. 5 未満	・ 100～200	・ 70
	0. 5以上～1. 0 以下	・ 150～250	・ 130

  
エポキシ樹脂 ・ 低粘度形 ・ 中粘度形  
注入状況の確認方法 ※ コアの採取りを行う  
  
採取り個数 ※ 長さ500mmごと及びその端数につき1個 ・  
採取り部の補修方法 ※ 図示 ・  
  
・ Uカットシール材充填工法  
・ シーリング材  
充填材料の種類 ※ 1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ・  
シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填 ・ 行う ・ 行わない  
・ 可とう性エポキシ樹脂  
  
・ シール工法  
・ パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂  
  
・ 欠損部改修工法

[4. 1. 4] [4. 2. 2]

4-2

外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ外壁

・ 既存モルタル塗りの撤去  
  
・ ひび割れ部改修工法

[4. 1. 4] [4. 4. 2] [4. 4. 5. 6]

・ 行う（※ 全面 ・ 図示の範囲）  
  
・ 樹脂注入工法  

工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量 (ml/m)
※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0. 2以上～1. 0 以下	※ 200～300	・ 130
・ 手動式エポキシ樹脂注入工法	0. 2以上～0. 3 未満	・ 50～100	・ 40
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法	0. 3以上～0. 5 未満	・ 100～200	・ 70
	0. 5以上～1. 0 以下	・ 150～250	・ 130

  
エポキシ樹脂 ・ 低粘度形 ・ 中粘度形  
注入状況の確認方法 ※ コアの採取り検査を行う  
採取り個数 ※ 長さ500mmごと及びその端数につき1個 ・  
採取り部の補修方法 ※ 図示 ・  
  
・ Uカットシール材充填工法  
・ シーリング材  
充填材料の種類 ・ ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ・  
シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填 ・ 行う ・ 行わない  
・ 可とう性エポキシ樹脂

[4. 1. 4] [4. 2. 2] [4. 5. 8]

4-3

外壁改修工事 タイル張り仕上げ外壁

・ 既存タイル張りの撤去  
撤去範囲 ※ 下地モルタルまで ・ 張付けモルタルまで ・ タイルのみ  
  
・ ひび割れ部改修工法

[4. 1. 4] [4. 2. 2] [4. 6. 5. 6]

改修箇所 ※ 既存タイル張り面  
・ 既存タイル撤去面（ ・ コンクリート面 ・ モルタル面）  
  
・ 樹脂注入工法  

工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量 (ml/m)
※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0. 2以上～1. 0 以下	※ 200～300	・ 130
・ 手動式エポキシ樹脂注入工法	0. 2以上～0. 3 未満	・ 50～100	・ 40
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法	0. 3以上～0. 5 未満	・ 100～200	・ 70
	0. 5以上～1. 0 以下	・ 150～250	・ 130

  
  
エポキシ樹脂 ・ 低粘度形 ・ 中粘度形  
注入状況の確認方法 ※ コア採取り検査を行う ・  
採取り個数 ※ 長さ500mmごと及びその端数につき1個 ・  
採取り部の補修方法 ・ 図示 ・  
  
・ Uカットシール材充填工法（既存タイル張り撤去面）  
・ シーリング材  
充填材料の種類 ※ 1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ・  
シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填 ・ 行う ・ 行わない  
・ 可とう性エポキシ樹脂  
  
・ タイル部分張替え工法  
接着剤の種類  
・ ポリマーセメントモルタル  
・ JIS A 5557に基づく一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系  
  
・ タイル張替え工法  
張替え用材料  
・ 接着剤JIS A 5557に基づく一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系  
・ 張付けモルタル （ ・ 現場調査材料 ・ 既調合モルタル）  
  
伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置  
・ 図示  
※改修標準仕様書表4. 5. 1)による ・  
外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整剤塗りの接着剤試験  
・ 行う ・ 行わない  
・ セメントモルタルによるタイル（セラミックタイル）張り  
下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理  
・ 目荒らし工法（改修標準仕様書4. 4. 9(3)による）  
・  
タイル張りの工法  
・ 外装タイル （ ・ 密着張り ・ 改良圧着張り ・ 改良積上げ張り）  
・ ユニットタイル （ ・ マスク張り ・ モザイクタイル張り）  
シーリング 改修特記仕様書3章 防水改修工事による  
  
・ 有機系接着剤によるタイル（セラミックタイル）張り  
モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理  
・ 目荒らし工法（改修標準仕様書4. 4. 9(3)による）  
・  
シーリング材の種類  
打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 ・ ※ポリウレタン系  
伸縮調整目地その他の目地 ※変成シリコーン系  
シーリングのその他事項は、改修特記仕様書第3章 防水改修工事による

[4. 1. 4] [4. 5. 16]

4-4

外壁改修工事 塗り仕上げ外壁

伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置  
・ 図示  
※改修標準仕様書表4. 5. 1)による ・  
外装タイル張り下地等モルタル及び下地調整剤塗りの接着剤試験  
・ 行う ・ 行わない  
・ セメントモルタルによるタイル（セラミックタイル）張り  
下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理  
・ 目荒らし工法（改修標準仕様書4. 4. 9(3)による）  
・  
タイル張りの工法  
・ 外装タイル （ ・ 密着張り ・ 改良圧着張り ・ 改良積上げ張り）  
・ ユニットタイル （ ・ マスク張り ・ モザイクタイル張り）  
シーリング 改修特記仕様書3章 防水改修工事による  
  
・ 有機系接着剤によるタイル（セラミックタイル）張り  
モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理  
・ 目荒らし工法（改修標準仕様書4. 4. 9(3)による）  
  
シーリング材の種類  
打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 ・ ※ポリウレタン系  
伸縮調整目地その他の目地 ※変成シリコーン系  
シーリングのその他事項は、改修特記仕様書3章 防水改修工事による

[4. 1. 4] [4. 2. 2] [4. 5. 9～15]

工法の種類 (タイルを撤去しない場合)	7/8カービンの本数 (本/m)		注入口の箇所数 (箇所/m)		注入量 (ml/箇所)
	一般部	指定部	一般部	指定部	
・ アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※ 16	※ 25	—	—	※ 25
・ アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※ 13	※ 20	※ 12	※ 20	※ 25
・ アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	※ 13	※ 20	※ 12	※ 20	※ 50
・ 注入口付アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※ 9	※ 16	—	—	※ 25
・ 注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※ 9	※ 16	※ 9	※ 16	※ 25
・ 注入口付アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	※ 9	※ 16	※ 9	※ 16	※ 50
・ 充填工法	—	—	—	—	—
・ モルタル塗替え工法	—	—	—	—	—

  
アンカーピンの材質  
※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの  
  
注入口付アンカーピンの材質  
※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径外径6mm程度 ・  
  
充填工法  
・ エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル  
  
モルタル塗替え工法  
・ 現場調査材料  
（セメントは改修特記仕様書8－2 コンクリート工事による）  
既調合材料（ ）  
既製目地材 ・ 使用する（形状・図示 ）  
仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置 ※ 図示 ・  
  
※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの  
  
注入口付アンカーピンの材質  
※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径外径6mm程度 ・  
  
・ タイル部分張替え工法  
接着剤の種類  
・ ポリマーセメントモルタル  
・ JIS A 5557に基づく一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系  
  
・ タイル張替え工法  
張替え用材料  
・ 接着剤JIS A 5557に基づく一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系  
・ 張付けモルタル （ ・ 現場調査材料 ・ 既調合モルタル）  
  
伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置  
・ 図示  
※改修標準仕様書表4. 5. 1)による ・  
外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整剤塗りの接着剤試験  
・ 行う ・ 行わない  
・ セメントモルタルによるタイル（セラミックタイル）張り  
下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理  
・ 目荒らし工法（改修標準仕様書4. 4. 9(3)による）  
・  
タイル張りの工法  
・ 外装タイル （ ・ 密着張り ・ 改良圧着張り ・ 改良積上げ張り）  
・ ユニットタイル （ ・ マスク張り ・ モザイクタイル張り）  
シーリング 改修特記仕様書3章 防水改修工事による  
  
・ 有機系接着剤によるタイル（セラミックタイル）張り  
モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理  
・ 目荒らし工法（改修標準仕様書4. 4. 9(3)による）  
・  
シーリング材の種類  
打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 ・ ※ポリウレタン系  
伸縮調整目地その他の目地 ※変成シリコーン系  
シーリングのその他事項は、改修特記仕様書第3章 防水改修工事による

[4. 1. 4] [4. 5. 16]

4-5

外壁改修工事 目地改修工事

・ 目地の形状、寸法等

[4. 2. 2]

施工箇所	形状寸法 (mm)	防水率による区分	うわぐすり	役物	色	再生材の耐凍害性	備考	
		I類II類III類	有	無	標準特注	適用	有	無
		・	・	・	・	・	・	・
		・	・	・	・	・	・	・
		・	・	・	・	・	・	・
		・	・	・	・	・	・	・

  
標準的な曲がりの役物は一体成形とする  
試験張り ・ 行う ・ 行わない  
見本焼き ・ 行う ・ 行わない

4-6

外壁改修工事 既存塗膜等の除去  
下地処理及び下地調整

○ 下地調整塗材  
  
○ 仕上塗材仕上げ

[4. 1. 5] [4. 2. 2] [4. 6. 5] [表4. 2. 4]

工 法	処理範囲	下地面の補修
・ サンダー工法	・ 図示 ※既存仕上げ面全体	○ ひび割れ 改修工法 ・ 浮き部 改修工法 ○ 欠損部 改修工法
○ 高圧水洗工法 加圧力 ※30～50MPa程度	○ 図示 ※既存仕上げ面全体	
・ 塗膜はく離剤工法	・ 図示 ※既存仕上げ面全体	
○ 水洗い工法	○ 図示 ※サンダー工法、高圧水洗工法、塗膜はく離剤工法の処理範囲以外の既存仕上面全面	

  
※ 下地調整塗材  
・ ポリマーセメントモルタル  
  
建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量  
※規制対象外  
新規仕上塗材の種類  
・ 運付け仕上塗材  

種類（呼び名）	仕上げる形状・工法	吸放湿材	防火材料
・ 外装薄塗材 S i	・ 砂壁状	・ 適用する	・
・ 可とう形外装薄塗材 S i	・ ゆず肌状 （ ・ 吹付け ・ ローラー塗り）	・ 適用しない	・
・ 外装薄塗材 E	・ 平たん状	・	・
・ 可とう形外装薄塗材 E	・ さざ波状	・	・
・ 防水形外装薄塗材 E	・ 平たん状	・	・
・ 外装薄塗材 S	・ 凹凸状 （ ・ 吹付け ・ こて塗り） ・ 着色骨材砂壁状 （ ・ 吹付け ・ こて塗り）	・	・

  
・ 厚付け仕上塗材  
種類（呼び名） 仕上げる形状・工法 吸放湿材 上塗材 防火材料  
・ 外装厚塗材 C ・ 吹出し ・ 適用する ・ 適用する ・  
・ 外装厚塗材 S i ・ 凸凹処理 ・ 適用しない ・ 適用しない ・  
・ 外装厚塗材 E ・ 平たん状  
（ ・ こて塗り ・ ローラー塗り）  
・ 凹凸状  
（ ・ こて塗り ・ ローラー塗り）  
・ ひき起こし  
（ ・ こて塗り ・ ローラー塗り）  
・ かき落とし  
  
・ 複層仕上塗材  
種類（呼び名） 仕上げる形状・工法 上塗材の種類 耐水性 防火材料  
・ 複層塗材 C E ・ ゆず肌状 溶媒 ・ ・  
・ 可とう形複層塗材 C E ・ 凸凹処理 ※水系 ・ ※耐候形3種 ・  
・ 複層塗材 S i ・ 凹凸状 樹脂 ・  
○ 複層塗材 E ・ ※アクリル系 ・  
・ 防水形複層塗材 C E ・ ・  
・ 防水形複層塗材 E ・ 外観 ※つやあり ・  
・ 防水形複層塗材 R E ・ ・ ※メタリック ・  
  
・ 可とう形改修用仕上塗材  
種類（呼び名） 仕上げる形状・工法 上塗材の種類 耐水性 防火材料  
・ 可とう形改修塗材 E ・ 平たん状 溶媒 ・ ・  
・ 可とう形改修塗材 R E ・ さざ波状 ※水系 ・ ※耐候形3種 ・  
・ 可とう形改修塗材 C E ・ ゆず肌状 樹脂 ※アクリル系 ・  
・ 外観 ※つやあり ・  
・ ※メタリック ・  
  
・ マスチック塗材塗り  
  
・ 外壁用塗膜防水材塗り

[4. 1. 5] [4. 2. 2] [4. 8. 2] [表4. 2. 6]

仕上げる形状・工法	外壁用仕上塗材の耐水性
・ 下地準拠緩衝材の適用 ・ 適用する ・ 適用しない	※JIS A 6909の耐候形1種相当
吹付け工法の根椋材の種類 ・ ・ 所要量 (kg/㎡)	
外壁用仕上塗料の種類 ・ ・ 所要量 (kg/㎡)	

  
コンクリート面のひび割れ部及び欠損部の処理は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事（コンクリート打ち放し仕上げ外壁）による  
  
モルタル面のひび割れ部、欠損部及び浮き部の処理は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事（モルタル塗り仕上げ外壁）による  
  
既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事（塗仕上げ外壁等）による

4-7

外壁改修工事 既存塗膜等の除去  
下地処理及び下地調整

○ 下地調整塗材  
  
○ 仕上塗材仕上げ

[4. 1. 5] [4. 2. 2] [4. 8. 2] [表4. 2. 6]

仕上げる形状・工法	外壁用仕上塗材の耐水性
・ 下地準拠緩衝材の適用 ・ 適用する ・ 適用しない	※JIS A 6909の耐候形1種相当
吹付け工法の根椋材の種類 ・ ・ 所要量 (kg/㎡)	
外壁用仕上塗料の種類 ・ ・ 所要量 (kg/㎡)	

  
コンクリート面のひび割れ部及び欠損部の処理は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事（コンクリート打ち放し仕上げ外壁）による  
  
モルタル面のひび割れ部、欠損部及び浮き部の処理は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事（モルタル塗り仕上げ外壁）による  
  
既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事（塗仕上げ外壁等）による

4-8

外壁改修工事 既存塗膜等の除去  
下地処理及び下地調整

○ 下地調整塗材  
  
○ 仕上塗材仕上げ

[4. 1. 5] [4. 2. 2] [4. 8. 2] [表4. 2. 6]

仕上げる形状・工法	外壁用仕上塗材の耐水性
・ 下地準拠緩衝材の適用 ・ 適用する ・ 適用しない	※JIS A 6909の耐候形1種相当
吹付け工法の根椋材の種類 ・ ・ 所要量 (kg/㎡)	
外壁用仕上塗料の種類 ・ ・ 所要量 (kg/㎡)	

  
コンクリート面のひび割れ部及び欠損部の処理は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事（コンクリート打ち放し仕上げ外壁）による  
  
モルタル面のひび割れ部、欠損部及び浮き部の処理は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事（モルタル塗り仕上げ外壁）による  
  
既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事（塗仕上げ外壁等）による

4-9

外壁改修工事 既存塗膜等の除去  
下地処理及び下地調整

○ 下地調整塗材  
  
○ 仕上塗材仕上げ

[4. 1. 5] [4. 2. 2] [4. 8. 2] [表4. 2. 6]

仕上げる形状・工法	外壁用仕上塗材の耐水性
・ 下地準拠緩衝材の適用 ・ 適用する ・ 適用しない	※JIS A 6909の耐候形1種相当
吹付け工法の根椋材の種類 ・ ・ 所要量 (kg/㎡)	
外壁用仕上塗料の種類 ・ ・ 所要量 (kg/㎡)	

  
コンクリート面のひび割れ部及び欠損部の処理は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事（コンクリート打ち放し仕上げ外壁）による  
  
モルタル面のひび割れ部、欠損部及び浮き部の処理は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事（モルタル塗り仕上げ外壁）による  
  
既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事（塗仕上げ外壁等）による

4-10

外壁改修工事 既存塗膜等の除去  
下地処理及び下地調整

○ 下地調整塗材  
  
○ 仕上塗材仕上げ

[4. 1. 5] [4. 2. 2] [4. 8. 2] [表4. 2. 6]

仕上げる形状・工法	外壁用仕上塗材の耐水性
・ 下地準拠緩衝材の適用 ・ 適用する ・ 適用しない	※JIS A 6909の耐候形1種相当
吹付け工法の根椋材の種類 ・ ・ 所要量 (kg/㎡)	
外壁用仕上塗料の種類 ・ ・ 所要量 (kg/㎡)	

  
コンクリート面のひび割れ部及び欠損部の処理は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事（コンクリート打ち放し仕上げ外壁）による  
  
モルタル面のひび割れ部、欠損部及び浮き部の処理は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事（モルタル塗り仕上げ外壁）による  
  
既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事（塗仕上げ外壁等）による

4-11

外壁改修工事 既存塗膜等の除去  
下地処理及び下地調整

○ 下地調整塗材  
  
○ 仕上塗材仕上げ

[4. 1. 5] [4. 2. 2] [4. 8. 2] [表4. 2. 6]

仕上げる形状・工法	外壁用仕上塗材の耐水性
・ 下地準拠緩衝材の適用 ・ 適用する ・ 適用しない	※JIS A 6909の耐候形1種相当
吹付け工法の根椋材の種類 ・ ・ 所要量 (kg/㎡)	
外壁用仕上塗料の種類 ・ ・ 所要量 (kg/㎡)	

  
コンクリート面のひび割れ部及び欠損部の処理は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事（コンクリート打ち放し仕上げ外壁）による  
  
モルタル面のひび割れ部、欠損部及び浮き部の処理は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事（モルタル塗り仕上げ外壁）による  
  
既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事（塗仕上げ外壁等）による

4-12

外壁改修工事 既存塗膜等の除去  
下地処理及び下地調整

○ 下地調整塗材  
  
○ 仕上塗材仕上げ

[4. 1. 5] [4. 2. 2] [4. 8. 2] [表4. 2. 6]

仕上げる形状・工法	外壁用仕上塗材の耐水性
・ 下地準拠緩衝材の適用 ・ 適用する ・ 適用しない	※JIS A 6909の耐候形1種相当
吹付け工法の根椋材の種類 ・ ・ 所要量 (kg/㎡)	
外壁用仕上塗料の種類 ・ ・ 所要量 (kg/㎡)	

  
コンクリート面のひび割れ部及び欠損部の処理は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事（コンクリート打ち放し仕上げ外壁）による  
  
モルタル面のひび割れ部、欠損部及び浮き部の処理は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事（モルタル塗り仕上げ外壁）による  
  
既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事（塗仕上げ外壁等）による

4-13

外壁改修工事 既存塗膜等の除去  
下地処理及び下地調整

○ 下地調整塗材  
  
○ 仕上塗材仕上げ

[4. 1. 5] [4. 2. 2] [4. 8. 2] [表4. 2. 6]

仕上げる形状・工法	外壁用仕上塗材の耐水性
・ 下地準拠緩衝材の適用 ・ 適用する ・ 適用しない	※JIS A 6909の耐候形1種相当
吹付け工法の根椋材の種類 ・ ・ 所要量 (kg/㎡)	
外壁用仕上塗料の種類 ・ ・ 所要量 (kg/㎡)	

  
コンクリート面のひび割れ部及び欠損部の処理は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事（コンクリート打ち放し仕上げ外壁）による  
  
モルタル面のひび割れ部、欠損部及び浮き部の処理は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事（モルタル塗り仕上げ外壁）による  
  
既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事（塗仕上げ外壁等）による

4-14

外壁改修工事 既存塗膜等の除去  
下地処理及び下地調整

○ 下地調整塗材  
  
○ 仕上塗材仕上げ

[4. 1. 5] [4. 2. 2] [4. 8. 2] [表4. 2. 6]

仕上げる形状・工法	外壁用仕上塗材の耐水性
・ 下地準拠緩衝材の適用 ・ 適用する ・ 適用しない	※JIS A 6909の耐候形1種相当
吹付け工法の根椋材の種類 ・ ・ 所要量 (kg/㎡)	
外壁用仕上塗料の種類 ・ ・ 所要量 (kg/㎡)	

  
コンクリート面のひび割れ部及び欠損部の処理は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事（コンクリート打ち放し仕上げ外壁）による  
  
モルタル面のひび割れ部、欠損部及び浮き部の処理は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事（モルタル塗り仕上げ外壁）による  
  
既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事（塗仕上げ外壁等）による

4-15

外壁改修工事 既存塗膜等の除去  
下地処理及び下地調整

○ 下地調整塗材  
  
○ 仕上塗材仕上げ

[4. 1. 5] [4. 2. 2] [4. 8. 2] [表4. 2. 6]

仕上げる形状・工法	外壁用仕上塗材の耐水性
・ 下地準拠緩衝材の適用 ・ 適用する ・ 適用しない	※JIS A 6909の耐候形1種相当
吹付け工法の根椋材の種類 ・ ・ 所要量 (kg/㎡)	
外壁用仕上塗料の種類 ・ ・ 所要量 (kg/㎡)	

  
コンクリート面のひび割れ部及び欠損部の処理は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事（コンクリート打ち放し仕上げ外壁）による  
  
モルタル面のひび割れ部、欠損部及び浮き部の処理は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事（モルタル塗り仕上げ外壁）による  
  
既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事（塗仕上げ外壁等）による

4-16

外壁改修工事 既存塗膜等の除去  
下地処理及び下地調整

○ 下地調整塗材  
  
○ 仕上塗材仕上げ

[4. 1. 5] [4. 2. 2] [4. 8. 2] [表4. 2. 6]

仕上げる形状・工法	外壁用仕上塗材の耐水性
・ 下地準拠緩衝材の適用 ・ 適用する ・ 適用しない	※JIS A 6909の耐候形1種相当
吹付け工法の根椋材の種類 ・ ・ 所要量 (kg/㎡)	
外壁用仕上塗料の種類 ・ ・ 所要量 (kg/㎡)	

  
コンクリート面のひび割れ部及び欠損部の処理は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事（コンクリート打ち放し仕上げ外壁）による  
  
モルタル面のひび割れ部、欠損部及び浮き部の処理は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事（モルタル塗り仕上げ外壁）による  
  
既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事（塗仕上げ外壁等）による

4-17

外壁改修工事 既存塗膜等の除去  
下地処理及び下地調整

○ 下地調整塗材  
  
○ 仕上塗材仕上げ

[4. 1. 5] [4. 2. 2] [4. 8. 2] [表4. 2. 6]

仕上げる形状・工法	外壁用仕上塗材の耐水性
・ 下地準拠緩衝材の適用 ・ 適用する ・ 適用しない	※JIS A 6909の耐候形1種相当
吹付け工法の根椋材の種類 ・ ・ 所要量 (kg/㎡)	
外壁用仕上塗料の種類 ・ ・ 所要量 (kg/㎡)	

  
コンクリート面のひび割れ部及び欠損部の処理は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事（コンクリート打ち放し仕上げ外壁）による  
  
モルタル面のひび割れ部、欠損部及び浮き部の処理は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事（モルタル塗り仕上げ外壁）による  
  
既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事（塗仕上げ外壁等）による

4-18

外壁改修工事 既存塗膜等の除去  
下地処理及び下地調整

○ 下地調整塗材  
  
○ 仕上塗材仕上げ

[4. 1. 5] [4. 2. 2] [4. 8. 2] [表4. 2. 6]

仕上げる形状・工法	外壁用仕上塗材の耐水性
・ 下地準拠緩衝材の適用 ・ 適用する ・ 適用しない	※JIS A 6909の耐候形1種相当
吹付け工法の根椋材の種類 ・ ・ 所要量 (kg/㎡)	
外壁用仕上塗料の種類 ・ ・ 所要量 (kg/㎡)	

  
コンクリート面のひび割れ部及び欠損部の処理は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事（コンクリート打ち放し仕上げ外壁）による  
  
モルタル面のひび割れ部、欠損部及び浮き部の処理は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事（モルタル塗り仕上げ外壁）による  
  
既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事（塗仕上げ外壁等）による

4-19

外壁改修工事 既存塗膜等の除去  
下地処理及び下地調整

○ 下地調整塗材  
  
○ 仕上塗材仕上げ

[4. 1. 5] [4. 2. 2] [4. 8. 2] [表4. 2. 6]

仕上げる形状・工法	外壁用仕上塗材の耐水性
・ 下地準拠緩衝材の適用 ・ 適用する ・ 適用しない	※JIS A 6909の耐候形1種相当
吹付け工法の根椋材の種類 ・ ・ 所要量 (kg/㎡)	
外壁用仕上塗料の種類 ・ ・ 所要量 (kg/㎡)	

  
コンクリート面のひび割れ部及び欠損部の処理は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事（コンクリート打ち放し仕上げ外壁）による  
  
モルタル面のひび割れ部、欠損部及び浮き部の処理は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事（モルタル塗り仕上げ外壁）による  
  
既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事（塗仕上げ外壁等）による

4-20

外壁改修工事 既存塗膜等の除去  
下地処理及び下地調整

○ 下地調整塗材  
  
○ 仕上塗材仕上げ

[4. 1. 5] [4. 2. 2] [4. 8. 2] [表4. 2. 6]

仕上げる形状・工法	外壁用仕上塗材の耐水性
・ 下地準拠緩衝材の適用 ・ 適用する ・ 適用しない	※JIS A 6909の耐候形1種相当
吹付け工法の根椋材の種類 ・ ・ 所要量 (kg/㎡)	
外壁用仕上塗料の種類 ・ ・ 所要量 (kg/㎡)	

  
コンクリート面のひび割れ部及び欠損部の処理は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事（コンクリート打ち放し仕上げ外壁）による  
  
モルタル面のひび割れ部、欠損部及び浮き部の処理は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事（モルタル塗り仕上げ外壁）による  
  
既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事（塗仕上げ外壁等）による

4-21

外壁改修工事 既存塗膜等の除去  
下地処理及び下地調整

○ 下地調整塗材  
  
○ 仕上塗材仕上げ

[4. 1. 5] [4. 2. 2] [4. 8. 2] [表4. 2. 6]

仕上げる形状・工法	外壁用仕上塗材の耐水性
・ 下地準拠緩衝材の適用 ・ 適用する ・ 適用しない	※JIS A 6909の耐候形1種相当
吹付け工法の根椋材の種類 ・ ・ 所要量 (kg/㎡)	
外壁用仕上塗料の種類 ・ ・ 所要量 (kg/㎡)	

  
コンクリート面のひび割れ部及び欠損部の処理は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事（コンクリート打ち放し仕上げ外壁）による  
  
モルタル面のひび割れ部、欠損部及び浮き部の処理は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事（

5 建具 改修 工事	○改修工法	<div><div>[5. 1. 3]</div><table><tr><td>建具の種類</td><td>かぶせ工法</td><td>撤去工法</td><td>適用箇所</td></tr><tr><td>○アルミニウム製建具</td><td>・</td><td>・</td><td>○建具表による</td></tr><tr><td>・樹脂製建具</td><td>―</td><td>・</td><td>・建具表による</td></tr><tr><td>○鋼製建具</td><td>・外部</td><td>・</td><td>○建具表による</td></tr><tr><td>・内部</td><td>・</td><td>・</td><td>・建具表による</td></tr><tr><td>・鋼製軽量建具</td><td>・</td><td>・</td><td>・建具表による</td></tr><tr><td>・ステンレス製建具</td><td>・</td><td>・</td><td>・建具表による</td></tr></table><p>新規に建具を設ける場合 壁部分の開口の開け方 ※図示 新規建具周囲の補修工法及び範囲 ※図示 建具周囲のシーリングは、改修特記仕様書3章 防水改修工事による</p></div> <div><div>[5. 1. 4]</div><p>・防火戸</p></div> <div><div>[5. 1. 5]</div><p>・指定しない ヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動 ・連動させる（・建具表による） ・連動させない</p><p>建具見本の製作 ・行う（建具符号：） ・行わない 建具見本の程度 ・工事に使用するものとして、あらかじめ製作する ・納まり等がわかる程度のもの</p><p>特殊な建具の仮組 ・行う（建具符号：） ・行わない</p></div> <div><div>[5. 1. 7]</div><p>・適用する（） 適用箇所（・建具表による） ・適用しない</p></div> <td>・鋼製軽量建具</td> <td><div><div>[5. 2. 2] [5. 5. 2～4]</div><p>性能等級 簡易気密型ドアセット ・適用する ・適用しない 防音ドア ・防音サッシ 遮音性の等級（） 断熱ドア ・断熱サッシ 断熱性の等級（） 耐震ドア 面内変形追随性の等級（）</p><p>鋼板の種類 ・亜鉛めっき鋼板 ・ビニル被膜鋼板 ・カラー鋼板 ・ステンレス鋼板 鋼板の厚さ ・mm ・改修標準仕様書表5. 5. 1による</p><p>ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 召合せ、縦小口包み板の材質 ※鋼板 ・ステンレス鋼板 ・アルミニウム合金の押出型材</p></div><div><div>[5. 2. 2] [5. 4. 2] [5. 6. 2～5]</div><p>・ステンレス製建具</p></div><div><div>[5. 2. 2]</div><p>性能等級 簡易気密型ドアセット ・適用する ・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ・S-4 ・S-5 ・S-6</p><p>防音ドア ・防音サッシ 遮音性の等級（） 断熱ドア ・断熱サッシ 断熱性の等級（） 耐震ドア 面内変形追随性の等級（） ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 表面仕上げ ※H L ・鏡面仕上げ ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ</p></div><div><div>[5. 7. 1～3]</div><p>金物の種類及び見え掛け部の材質等 ※改修標準仕様書表5. 7. 1により適用は建具表による。</p><p>金属製建具用丁番の枚数及び大きさ ○建具表による ※改修標準仕様書表5. 7. 2による</p><p>樹脂製建具用丁番の枚数及び大きさ ・建具表による ※改修標準仕様書表5. 7. 3による</p><p>握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置 ○建具表による</p></div><div><div>[5. 7. 4]</div><p>○錠前類（シリンダ箱錠及びシリンダ本締まり錠） ・錠前類（レバーハンドル） ・クローザ類</p></div><div><div>[5. 8. 2、3]</div><p>・引き戸用駆動装置 性能値 ※改修標準仕様書表5. 8. 5による ・種類・開閉方式（） ・耐電圧（） ・温度上昇（） ・耐久性（サイクル）（） ・防錆（） ・防滴（） ・電源（）</p><p>・多機能トイレ出入り口引き戸用駆動装置 性能値 ※改修標準仕様書表5. 8. 6による ・耐電圧（） ・温度上昇（） ・耐久性（サイクル）（） ・防錆（） ・電源（）</p><p>・引き戸用検出装置 性能値 ※改修標準仕様書表5. 8. 3による ・耐電圧（） ・防錆（） ・防滴（） ・電源（）</p><p>戸の開閉方式 ・建具表による 引き戸用検出装置の種類 改修標準仕様書表5. 8. 4による ・建具表による 凍結防止措置 ・適用する ・適用しない</p></div><td>・自閉式上吊り引戸装置</td><td><div><div>[5. 9. 3]</div><p>性能値等 ※改修標準仕様書表 5. 9. 1 による</p><p>・手動開き力（） ・手動閉じ力（） ・閉じ速度の調整（） ・制動区間（） ・開閉繰返し（） ・耐衝撃性（）</p></div><div><div>[5. 10. 2. 3]</div><table><tr><th>シャッターの種類</th><th>耐風圧強度</th></tr><tr><td>・管理用シャッター</td><td>耐風圧強度（）N/m<sup>2</sup></td></tr><tr><td>・外壁用防火シャッター</td><td>耐風圧強度（）N/m<sup>2</sup></td></tr><tr><td>・屋内用防火シャッター</td><td></td></tr><tr><td>・防煙シャッター</td><td></td></tr></table><p>開閉方式の種類 ※上部電動式（手動併用） ・上部手動式 二重チェーン、急降下制動装置、急降下停止装置を設けた電動シャッターの設置箇所 ・図示 障害物感知装置を設けた電動シャッターの設置箇所 ・図示 屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止機構 ・設ける（設置箇所 ・図示） 「防火区画に用いる防火設備等の構造方法を定める件」（昭和48年12月28日建設省告示第2563号）に定める基準に適合するもの ※障害物感知装置（自動閉鎖型） ・可動座板式 ・設けない 管理用一般重量シャッターのシャッターケース ・設ける ・設けない スラット及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類 ・JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板） ・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板） めっきの付着量 ※Z12又はF12 ガイドレール、まぐさ、雨掛りに用いる座板及び座板のカバー、雨掛りに用いるスイッチボックス類のふたの材質 ステンレス鋼板 ・ ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1</p></div><div><div>[5. 11. 2～4]</div><p>・軽量シャッター</p><p>開閉方式の種類 ※手動式 ・上部電動式（手動併用） 耐風圧強度（）N/m<sup>2</sup> 障害物感知装置を設けた電動シャッターの設置箇所 ・図示 スラットの材質 ・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板） めっき付着量（※Z06又はF06） ・JIS G 3322（塗装溶融55％アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板） めっき付着量（※A290） スラットの形状 ・インターロッキング形 ・オーバーラッピング形</p></div><div><div>[5. 12. 2、3]</div><table><tr><th>セクション材料</th><th>耐風圧性能の区分 (Pa)</th><th>開閉方式による区分</th><th>収納形式による区分</th><th>ガイドレールの材質</th></tr><tr><td>※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ</td><td>・125 ・100 ・75 ・50</td><td>※バランス式 ・チェーン式 ・電動式</td><td>・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形</td><td>※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板（・ （※SUS304、SUS430J1L、又は、SUS443J1）</td></tr></table><p>障害物感知装置を設けた電動タイプの設置箇所 ・図示</p></div><div><div>[3. 7] [5. 13. 2～4]</div><p>○フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類 ○建具表による</p><p>○型板ガラスの厚さによる種類 ○建具表による</p><p>・網入り板ガラス及び線入り板ガラスの網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類 ・建具表による</p><p>・合わせガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びにガラスの合計厚さによる種類 ・建具表による 形状による種類 ・平面合わせガラス ・曲面合わせガラス 落球衝撃はく離特性並びにショットバック衝撃特性による種類 ・Ⅰ類 ・Ⅱ-Ⅰ類 ・Ⅱ-2類 ・Ⅲ類</p><p>・強化ガラス 形状による種類及び材料板ガラスの種類による名称 ・建具表による 破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類 ・Ⅰ類 ・Ⅲ類</p><p>・熱線吸収板ガラス 板ガラスによる種類及び厚さによる種類 ・建具表による 性能による種類 ・Ⅰ種 ・Ⅱ種</p></div><td>・ガラスブロック</td><td><div><div>[5. 13. 5]</div><table><tr><th rowspan="2">表面形状</th><th rowspan="2">呼び寸法 (mm)</th><th rowspan="2">厚さ (mm)</th><th colspan="2">目地幅 (mm)</th><th rowspan="2">伸縮調整目地 (mm)</th></tr><tr><th>平積み</th><th>曲面積み</th></tr><tr><td rowspan="3">・正方形</td><td>・125×125</td><td>80</td><td>※8～15</td><td>外側 ※15以下</td><td>※6m以下ごとに幅10～25</td></tr><tr><td>・160×160</td><td>・95 ・125</td><td>・15～25</td><td>・</td><td>・図示</td></tr><tr><td>・200×200</td><td>・95 ・125</td><td></td><td>内側 ※6以上</td><td>・</td></tr><tr><td rowspan="2">・長方形</td><td>・320×320</td><td>95</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・250×125</td><td>80</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>・320×160</td><td>95</td><td></td><td></td><td></td></tr></table><p>壁用金属枠及び補強材・形状 ・図示 カ骨 材質 ※ステンレス鋼 (SUS304) 寸法 ※径5. 5mm 形状 ※はしご形状複筋及び単筋 化粧目地モルタルの色（） 金属製化粧カバー 材質 ・ステンレス製 ・アルミニウム製 寸法 ・図示 形状 ・図示</p><p>工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の（・Ⅰ ・Ⅰ. 15 ・Ⅰ. 3）倍の風圧力に対応した工法</p><p>目地部の横カ骨の納まり ※ガラスブロック製造所の仕様による ・図示</p></div><div><div>[6. 1. 3]</div><p>既存開口切趾の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 ※ 壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ○ 図示 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲 ※ 壁面より両側 600mm 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ○ 図示 既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※ 既存のまま ○ 図示</p></div><div><div>[6. 2. 2]</div><p>ビニル床シート等の除去 ※ 仕上材のみ（接着剤とも） ○ 下地モルタルとも ○ 図示の範囲 ・除去範囲全て） 合成樹脂塗床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・目荒し工法 既存のコンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4層外壁改修工事による。 改修後の床の清掃範囲 ※ 図示 ・改修箇所の室内</p></div><div><div>[6. 3. 2]</div><p>間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 ・ ※改修標準仕様書4. 4. 9によるモルタル塗り（塗り厚25mmを超える場合の処理 ※図示）</p></div></td><td>・熱線反射ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さによる種類 ・建具表による 日射熱遮へい性による区分 ・Ⅰ種 ・Ⅱ種 ・Ⅲ種 日射取得性、日射遮蔽性による区分 ・Ⅰ種 ・Ⅱ種 ・Ⅲ種 乾燥気体の種類 ・空気 ・アルゴン</td><td>・熱線反射ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さによる種類 ・建具表による 日射熱遮へい性による区分 ・Ⅰ種 ・Ⅱ種 ・Ⅲ種 耐久性による区分（日射熱遮蔽性による区分が2種の場合） ・A種 ・B種 映像調整 ・行わない ・行う</td><td>・倍強度ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さによる種類 ・建具表による</td></td></td>	建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	適用箇所	○アルミニウム製建具	・	・	○建具表による	・樹脂製建具	―	・	・建具表による	○鋼製建具	・外部	・	○建具表による	・内部	・	・	・建具表による	・鋼製軽量建具	・	・	・建具表による	・ステンレス製建具	・	・	・建具表による	・鋼製軽量建具	<div><div>[5. 2. 2] [5. 5. 2～4]</div><p>性能等級 簡易気密型ドアセット ・適用する ・適用しない 防音ドア ・防音サッシ 遮音性の等級（） 断熱ドア ・断熱サッシ 断熱性の等級（） 耐震ドア 面内変形追随性の等級（）</p><p>鋼板の種類 ・亜鉛めっき鋼板 ・ビニル被膜鋼板 ・カラー鋼板 ・ステンレス鋼板 鋼板の厚さ ・mm ・改修標準仕様書表5. 5. 1による</p><p>ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 召合せ、縦小口包み板の材質 ※鋼板 ・ステンレス鋼板 ・アルミニウム合金の押出型材</p></div> <div><div>[5. 2. 2] [5. 4. 2] [5. 6. 2～5]</div><p>・ステンレス製建具</p></div> <div><div>[5. 2. 2]</div><p>性能等級 簡易気密型ドアセット ・適用する ・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ・S-4 ・S-5 ・S-6</p><p>防音ドア ・防音サッシ 遮音性の等級（） 断熱ドア ・断熱サッシ 断熱性の等級（） 耐震ドア 面内変形追随性の等級（） ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 表面仕上げ ※H L ・鏡面仕上げ ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ</p></div> <div><div>[5. 7. 1～3]</div><p>金物の種類及び見え掛け部の材質等 ※改修標準仕様書表5. 7. 1により適用は建具表による。</p><p>金属製建具用丁番の枚数及び大きさ ○建具表による ※改修標準仕様書表5. 7. 2による</p><p>樹脂製建具用丁番の枚数及び大きさ ・建具表による ※改修標準仕様書表5. 7. 3による</p><p>握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置 ○建具表による</p></div> <div><div>[5. 7. 4]</div><p>○錠前類（シリンダ箱錠及びシリンダ本締まり錠） ・錠前類（レバーハンドル） ・クローザ類</p></div> <div><div>[5. 8. 2、3]</div><p>・引き戸用駆動装置 性能値 ※改修標準仕様書表5. 8. 5による ・種類・開閉方式（） ・耐電圧（） ・温度上昇（） ・耐久性（サイクル）（） ・防錆（） ・防滴（） ・電源（）</p><p>・多機能トイレ出入り口引き戸用駆動装置 性能値 ※改修標準仕様書表5. 8. 6による ・耐電圧（） ・温度上昇（） ・耐久性（サイクル）（） ・防錆（） ・電源（）</p><p>・引き戸用検出装置 性能値 ※改修標準仕様書表5. 8. 3による ・耐電圧（） ・防錆（） ・防滴（） ・電源（）</p><p>戸の開閉方式 ・建具表による 引き戸用検出装置の種類 改修標準仕様書表5. 8. 4による ・建具表による 凍結防止措置 ・適用する ・適用しない</p></div> <td>・自閉式上吊り引戸装置</td> <td><div><div>[5. 9. 3]</div><p>性能値等 ※改修標準仕様書表 5. 9. 1 による</p><p>・手動開き力（） ・手動閉じ力（） ・閉じ速度の調整（） ・制動区間（） ・開閉繰返し（） ・耐衝撃性（）</p></div><div><div>[5. 10. 2. 3]</div><table><tr><th>シャッターの種類</th><th>耐風圧強度</th></tr><tr><td>・管理用シャッター</td><td>耐風圧強度（）N/m<sup>2</sup></td></tr><tr><td>・外壁用防火シャッター</td><td>耐風圧強度（）N/m<sup>2</sup></td></tr><tr><td>・屋内用防火シャッター</td><td></td></tr><tr><td>・防煙シャッター</td><td></td></tr></table><p>開閉方式の種類 ※上部電動式（手動併用） ・上部手動式 二重チェーン、急降下制動装置、急降下停止装置を設けた電動シャッターの設置箇所 ・図示 障害物感知装置を設けた電動シャッターの設置箇所 ・図示 屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止機構 ・設ける（設置箇所 ・図示） 「防火区画に用いる防火設備等の構造方法を定める件」（昭和48年12月28日建設省告示第2563号）に定める基準に適合するもの ※障害物感知装置（自動閉鎖型） ・可動座板式 ・設けない 管理用一般重量シャッターのシャッターケース ・設ける ・設けない スラット及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類 ・JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板） ・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板） めっきの付着量 ※Z12又はF12 ガイドレール、まぐさ、雨掛りに用いる座板及び座板のカバー、雨掛りに用いるスイッチボックス類のふたの材質 ステンレス鋼板 ・ ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1</p></div><div><div>[5. 11. 2～4]</div><p>・軽量シャッター</p><p>開閉方式の種類 ※手動式 ・上部電動式（手動併用） 耐風圧強度（）N/m<sup>2</sup> 障害物感知装置を設けた電動シャッターの設置箇所 ・図示 スラットの材質 ・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板） めっき付着量（※Z06又はF06） ・JIS G 3322（塗装溶融55％アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板） めっき付着量（※A290） スラットの形状 ・インターロッキング形 ・オーバーラッピング形</p></div><div><div>[5. 12. 2、3]</div><table><tr><th>セクション材料</th><th>耐風圧性能の区分 (Pa)</th><th>開閉方式による区分</th><th>収納形式による区分</th><th>ガイドレールの材質</th></tr><tr><td>※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ</td><td>・125 ・100 ・75 ・50</td><td>※バランス式 ・チェーン式 ・電動式</td><td>・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形</td><td>※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板（・ （※SUS304、SUS430J1L、又は、SUS443J1）</td></tr></table><p>障害物感知装置を設けた電動タイプの設置箇所 ・図示</p></div><div><div>[3. 7] [5. 13. 2～4]</div><p>○フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類 ○建具表による</p><p>○型板ガラスの厚さによる種類 ○建具表による</p><p>・網入り板ガラス及び線入り板ガラスの網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類 ・建具表による</p><p>・合わせガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びにガラスの合計厚さによる種類 ・建具表による 形状による種類 ・平面合わせガラス ・曲面合わせガラス 落球衝撃はく離特性並びにショットバック衝撃特性による種類 ・Ⅰ類 ・Ⅱ-Ⅰ類 ・Ⅱ-2類 ・Ⅲ類</p><p>・強化ガラス 形状による種類及び材料板ガラスの種類による名称 ・建具表による 破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類 ・Ⅰ類 ・Ⅲ類</p><p>・熱線吸収板ガラス 板ガラスによる種類及び厚さによる種類 ・建具表による 性能による種類 ・Ⅰ種 ・Ⅱ種</p></div><td>・ガラスブロック</td><td><div><div>[5. 13. 5]</div><table><tr><th rowspan="2">表面形状</th><th rowspan="2">呼び寸法 (mm)</th><th rowspan="2">厚さ (mm)</th><th colspan="2">目地幅 (mm)</th><th rowspan="2">伸縮調整目地 (mm)</th></tr><tr><th>平積み</th><th>曲面積み</th></tr><tr><td rowspan="3">・正方形</td><td>・125×125</td><td>80</td><td>※8～15</td><td>外側 ※15以下</td><td>※6m以下ごとに幅10～25</td></tr><tr><td>・160×160</td><td>・95 ・125</td><td>・15～25</td><td>・</td><td>・図示</td></tr><tr><td>・200×200</td><td>・95 ・125</td><td></td><td>内側 ※6以上</td><td>・</td></tr><tr><td rowspan="2">・長方形</td><td>・320×320</td><td>95</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・250×125</td><td>80</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>・320×160</td><td>95</td><td></td><td></td><td></td></tr></table><p>壁用金属枠及び補強材・形状 ・図示 カ骨 材質 ※ステンレス鋼 (SUS304) 寸法 ※径5. 5mm 形状 ※はしご形状複筋及び単筋 化粧目地モルタルの色（） 金属製化粧カバー 材質 ・ステンレス製 ・アルミニウム製 寸法 ・図示 形状 ・図示</p><p>工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の（・Ⅰ ・Ⅰ. 15 ・Ⅰ. 3）倍の風圧力に対応した工法</p><p>目地部の横カ骨の納まり ※ガラスブロック製造所の仕様による ・図示</p></div><div><div>[6. 1. 3]</div><p>既存開口切趾の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 ※ 壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ○ 図示 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲 ※ 壁面より両側 600mm 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ○ 図示 既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※ 既存のまま ○ 図示</p></div><div><div>[6. 2. 2]</div><p>ビニル床シート等の除去 ※ 仕上材のみ（接着剤とも） ○ 下地モルタルとも ○ 図示の範囲 ・除去範囲全て） 合成樹脂塗床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・目荒し工法 既存のコンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4層外壁改修工事による。 改修後の床の清掃範囲 ※ 図示 ・改修箇所の室内</p></div><div><div>[6. 3. 2]</div><p>間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 ・ ※改修標準仕様書4. 4. 9によるモルタル塗り（塗り厚25mmを超える場合の処理 ※図示）</p></div></td><td>・熱線反射ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さによる種類 ・建具表による 日射熱遮へい性による区分 ・Ⅰ種 ・Ⅱ種 ・Ⅲ種 日射取得性、日射遮蔽性による区分 ・Ⅰ種 ・Ⅱ種 ・Ⅲ種 乾燥気体の種類 ・空気 ・アルゴン</td><td>・熱線反射ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さによる種類 ・建具表による 日射熱遮へい性による区分 ・Ⅰ種 ・Ⅱ種 ・Ⅲ種 耐久性による区分（日射熱遮蔽性による区分が2種の場合） ・A種 ・B種 映像調整 ・行わない ・行う</td><td>・倍強度ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さによる種類 ・建具表による</td></td>	・自閉式上吊り引戸装置	<div><div>[5. 9. 3]</div><p>性能値等 ※改修標準仕様書表 5. 9. 1 による</p><p>・手動開き力（） ・手動閉じ力（） ・閉じ速度の調整（） ・制動区間（） ・開閉繰返し（） ・耐衝撃性（）</p></div> <div><div>[5. 10. 2. 3]</div><table><tr><th>シャッターの種類</th><th>耐風圧強度</th></tr><tr><td>・管理用シャッター</td><td>耐風圧強度（）N/m<sup>2</sup></td></tr><tr><td>・外壁用防火シャッター</td><td>耐風圧強度（）N/m<sup>2</sup></td></tr><tr><td>・屋内用防火シャッター</td><td></td></tr><tr><td>・防煙シャッター</td><td></td></tr></table><p>開閉方式の種類 ※上部電動式（手動併用） ・上部手動式 二重チェーン、急降下制動装置、急降下停止装置を設けた電動シャッターの設置箇所 ・図示 障害物感知装置を設けた電動シャッターの設置箇所 ・図示 屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止機構 ・設ける（設置箇所 ・図示） 「防火区画に用いる防火設備等の構造方法を定める件」（昭和48年12月28日建設省告示第2563号）に定める基準に適合するもの ※障害物感知装置（自動閉鎖型） ・可動座板式 ・設けない 管理用一般重量シャッターのシャッターケース ・設ける ・設けない スラット及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類 ・JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板） ・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板） めっきの付着量 ※Z12又はF12 ガイドレール、まぐさ、雨掛りに用いる座板及び座板のカバー、雨掛りに用いるスイッチボックス類のふたの材質 ステンレス鋼板 ・ ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1</p></div> <div><div>[5. 11. 2～4]</div><p>・軽量シャッター</p><p>開閉方式の種類 ※手動式 ・上部電動式（手動併用） 耐風圧強度（）N/m<sup>2</sup> 障害物感知装置を設けた電動シャッターの設置箇所 ・図示 スラットの材質 ・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板） めっき付着量（※Z06又はF06） ・JIS G 3322（塗装溶融55％アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板） めっき付着量（※A290） スラットの形状 ・インターロッキング形 ・オーバーラッピング形</p></div> <div><div>[5. 12. 2、3]</div><table><tr><th>セクション材料</th><th>耐風圧性能の区分 (Pa)</th><th>開閉方式による区分</th><th>収納形式による区分</th><th>ガイドレールの材質</th></tr><tr><td>※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ</td><td>・125 ・100 ・75 ・50</td><td>※バランス式 ・チェーン式 ・電動式</td><td>・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形</td><td>※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板（・ （※SUS304、SUS430J1L、又は、SUS443J1）</td></tr></table><p>障害物感知装置を設けた電動タイプの設置箇所 ・図示</p></div> <div><div>[3. 7] [5. 13. 2～4]</div><p>○フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類 ○建具表による</p><p>○型板ガラスの厚さによる種類 ○建具表による</p><p>・網入り板ガラス及び線入り板ガラスの網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類 ・建具表による</p><p>・合わせガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びにガラスの合計厚さによる種類 ・建具表による 形状による種類 ・平面合わせガラス ・曲面合わせガラス 落球衝撃はく離特性並びにショットバック衝撃特性による種類 ・Ⅰ類 ・Ⅱ-Ⅰ類 ・Ⅱ-2類 ・Ⅲ類</p><p>・強化ガラス 形状による種類及び材料板ガラスの種類による名称 ・建具表による 破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類 ・Ⅰ類 ・Ⅲ類</p><p>・熱線吸収板ガラス 板ガラスによる種類及び厚さによる種類 ・建具表による 性能による種類 ・Ⅰ種 ・Ⅱ種</p></div> <td>・ガラスブロック</td> <td><div><div>[5. 13. 5]</div><table><tr><th rowspan="2">表面形状</th><th rowspan="2">呼び寸法 (mm)</th><th rowspan="2">厚さ (mm)</th><th colspan="2">目地幅 (mm)</th><th rowspan="2">伸縮調整目地 (mm)</th></tr><tr><th>平積み</th><th>曲面積み</th></tr><tr><td rowspan="3">・正方形</td><td>・125×125</td><td>80</td><td>※8～15</td><td>外側 ※15以下</td><td>※6m以下ごとに幅10～25</td></tr><tr><td>・160×160</td><td>・95 ・125</td><td>・15～25</td><td>・</td><td>・図示</td></tr><tr><td>・200×200</td><td>・95 ・125</td><td></td><td>内側 ※6以上</td><td>・</td></tr><tr><td rowspan="2">・長方形</td><td>・320×320</td><td>95</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・250×125</td><td>80</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>・320×160</td><td>95</td><td></td><td></td><td></td></tr></table><p>壁用金属枠及び補強材・形状 ・図示 カ骨 材質 ※ステンレス鋼 (SUS304) 寸法 ※径5. 5mm 形状 ※はしご形状複筋及び単筋 化粧目地モルタルの色（） 金属製化粧カバー 材質 ・ステンレス製 ・アルミニウム製 寸法 ・図示 形状 ・図示</p><p>工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の（・Ⅰ ・Ⅰ. 15 ・Ⅰ. 3）倍の風圧力に対応した工法</p><p>目地部の横カ骨の納まり ※ガラスブロック製造所の仕様による ・図示</p></div><div><div>[6. 1. 3]</div><p>既存開口切趾の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 ※ 壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ○ 図示 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲 ※ 壁面より両側 600mm 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ○ 図示 既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※ 既存のまま ○ 図示</p></div><div><div>[6. 2. 2]</div><p>ビニル床シート等の除去 ※ 仕上材のみ（接着剤とも） ○ 下地モルタルとも ○ 図示の範囲 ・除去範囲全て） 合成樹脂塗床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・目荒し工法 既存のコンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4層外壁改修工事による。 改修後の床の清掃範囲 ※ 図示 ・改修箇所の室内</p></div><div><div>[6. 3. 2]</div><p>間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 ・ ※改修標準仕様書4. 4. 9によるモルタル塗り（塗り厚25mmを超える場合の処理 ※図示）</p></div></td> <td>・熱線反射ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さによる種類 ・建具表による 日射熱遮へい性による区分 ・Ⅰ種 ・Ⅱ種 ・Ⅲ種 日射取得性、日射遮蔽性による区分 ・Ⅰ種 ・Ⅱ種 ・Ⅲ種 乾燥気体の種類 ・空気 ・アルゴン</td> <td>・熱線反射ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さによる種類 ・建具表による 日射熱遮へい性による区分 ・Ⅰ種 ・Ⅱ種 ・Ⅲ種 耐久性による区分（日射熱遮蔽性による区分が2種の場合） ・A種 ・B種 映像調整 ・行わない ・行う</td> <td>・倍強度ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さによる種類 ・建具表による</td>	シャッターの種類	耐風圧強度	・管理用シャッター	耐風圧強度（）N/m <sup>2</sup>	・外壁用防火シャッター	耐風圧強度（）N/m <sup>2</sup>	・屋内用防火シャッター		・防煙シャッター		セクション材料	耐風圧性能の区分 (Pa)	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材質	※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	・125 ・100 ・75 ・50	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板（・ （※SUS304、SUS430J1L、又は、SUS443J1）	・ガラスブロック	<div><div>[5. 13. 5]</div><table><tr><th rowspan="2">表面形状</th><th rowspan="2">呼び寸法 (mm)</th><th rowspan="2">厚さ (mm)</th><th colspan="2">目地幅 (mm)</th><th rowspan="2">伸縮調整目地 (mm)</th></tr><tr><th>平積み</th><th>曲面積み</th></tr><tr><td rowspan="3">・正方形</td><td>・125×125</td><td>80</td><td>※8～15</td><td>外側 ※15以下</td><td>※6m以下ごとに幅10～25</td></tr><tr><td>・160×160</td><td>・95 ・125</td><td>・15～25</td><td>・</td><td>・図示</td></tr><tr><td>・200×200</td><td>・95 ・125</td><td></td><td>内側 ※6以上</td><td>・</td></tr><tr><td rowspan="2">・長方形</td><td>・320×320</td><td>95</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・250×125</td><td>80</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>・320×160</td><td>95</td><td></td><td></td><td></td></tr></table><p>壁用金属枠及び補強材・形状 ・図示 カ骨 材質 ※ステンレス鋼 (SUS304) 寸法 ※径5. 5mm 形状 ※はしご形状複筋及び単筋 化粧目地モルタルの色（） 金属製化粧カバー 材質 ・ステンレス製 ・アルミニウム製 寸法 ・図示 形状 ・図示</p><p>工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の（・Ⅰ ・Ⅰ. 15 ・Ⅰ. 3）倍の風圧力に対応した工法</p><p>目地部の横カ骨の納まり ※ガラスブロック製造所の仕様による ・図示</p></div> <div><div>[6. 1. 3]</div><p>既存開口切趾の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 ※ 壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ○ 図示 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲 ※ 壁面より両側 600mm 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ○ 図示 既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※ 既存のまま ○ 図示</p></div> <div><div>[6. 2. 2]</div><p>ビニル床シート等の除去 ※ 仕上材のみ（接着剤とも） ○ 下地モルタルとも ○ 図示の範囲 ・除去範囲全て） 合成樹脂塗床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・目荒し工法 既存のコンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4層外壁改修工事による。 改修後の床の清掃範囲 ※ 図示 ・改修箇所の室内</p></div> <div><div>[6. 3. 2]</div><p>間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 ・ ※改修標準仕様書4. 4. 9によるモルタル塗り（塗り厚25mmを超える場合の処理 ※図示）</p></div>	表面形状	呼び寸法 (mm)	厚さ (mm)	目地幅 (mm)		伸縮調整目地 (mm)	平積み	曲面積み	・正方形	・125×125	80	※8～15	外側 ※15以下	※6m以下ごとに幅10～25	・160×160	・95 ・125	・15～25	・	・図示	・200×200	・95 ・125		内側 ※6以上	・	・長方形	・320×320	95				・250×125	80					・320×160	95				・熱線反射ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さによる種類 ・建具表による 日射熱遮へい性による区分 ・Ⅰ種 ・Ⅱ種 ・Ⅲ種 日射取得性、日射遮蔽性による区分 ・Ⅰ種 ・Ⅱ種 ・Ⅲ種 乾燥気体の種類 ・空気 ・アルゴン	・熱線反射ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さによる種類 ・建具表による 日射熱遮へい性による区分 ・Ⅰ種 ・Ⅱ種 ・Ⅲ種 耐久性による区分（日射熱遮蔽性による区分が2種の場合） ・A種 ・B種 映像調整 ・行わない ・行う	・倍強度ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さによる種類 ・建具表による
建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	適用箇所																																																																																																	
○アルミニウム製建具	・	・	○建具表による																																																																																																	
・樹脂製建具	―	・	・建具表による																																																																																																	
○鋼製建具	・外部	・	○建具表による																																																																																																	
・内部	・	・	・建具表による																																																																																																	
・鋼製軽量建具	・	・	・建具表による																																																																																																	
・ステンレス製建具	・	・	・建具表による																																																																																																	
シャッターの種類	耐風圧強度																																																																																																			
・管理用シャッター	耐風圧強度（）N/m <sup>2</sup>																																																																																																			
・外壁用防火シャッター	耐風圧強度（）N/m <sup>2</sup>																																																																																																			
・屋内用防火シャッター																																																																																																				
・防煙シャッター																																																																																																				
セクション材料	耐風圧性能の区分 (Pa)	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材質																																																																																																
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	・125 ・100 ・75 ・50	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板（・ （※SUS304、SUS430J1L、又は、SUS443J1）																																																																																																
表面形状	呼び寸法 (mm)	厚さ (mm)	目地幅 (mm)		伸縮調整目地 (mm)																																																																																															
			平積み	曲面積み																																																																																																
・正方形	・125×125	80	※8～15	外側 ※15以下	※6m以下ごとに幅10～25																																																																																															
	・160×160	・95 ・125	・15～25	・	・図示																																																																																															
	・200×200	・95 ・125		内側 ※6以上	・																																																																																															
・長方形	・320×320	95																																																																																																		
	・250×125	80																																																																																																		
	・320×160	95																																																																																																		
○アルミニウム製建具	<div><div>[5. 2. 2～5] [表 5. 2. 2]</div><p>性能値等 耐風圧性の等級（ S-5 ） 気密性の等級（ A-3 ） 水密性の等級（ W-4 ）</p><p>外部に面する建具の種類 ・A種（建具符号：・建具表による） ○B種（建具符号：○建具表による） ・C種（建具符号：・建具表による） 枠の見込み寸法 ・建具表による</p><p>防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級（・） 断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級（・） 耐震ドア 面内変形追随性の等級（・）</p><p>表面処理 外部に面する建具 ・BB-1 ・BB-2 着色 ・標準色（） ・特注色（）</p><p>屋内の建具 ・BC-1 ・BC-2 着色 ・標準色（） ・特注色（）</p><p>ステンレス鋼板 ・ ※ SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 結露水の処理方法 ・図示 水切り板、ぜん板 ・図示</p></div> <div><div>[5. 2. 3、5. 3. 3]</div><table><tr><th>種類</th><th>材種</th><th>線径</th><th>網目</th></tr><tr><td>・防虫網</td><td>※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス (SUS316) 製</td><td>※0. 25mm以上</td><td>※16～18メッシュ</td></tr><tr><td>・防鳥網</td><td>ステンレス (SUS304) 線材</td><td>1. 5mm</td><td>網目寸法15mm</td></tr></table></div> <div><div>[5. 2. 2] [5. 3. 2～5]</div><p>性能値等 耐風圧性の等級（） 気密性の等級（） 水密性の等級（） 外部に面する建具の種類 ・A種（建具符号：・建具表による） ・B種（建具符号：・建具表による） ・C種（建具符号：・建具表による） 枠の見込み寸法 ・建具表による 防音ドア ・防音サッシ 遮音性の等級（・Ⅰ-Ⅰ ・Ⅰ-2） 断熱ドア ・断熱サッシ 断熱性の等級（・Ⅱ-4 ・Ⅱ-5 ・Ⅱ-6）</p><p>表面色 ・標準色 ・特注色 水切り板、ぜん板 ※図示 ガラス ※複層ガラス</p></div> <div><div>[5. 2. 2] [5. 4. 2～4] [表 5. 4. 2]</div><p>性能等級 簡易気密型ドアセット ・適用する （建具符号：・建具表による） ・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ・S-4（建具符号：・建具表による） ○S-5（建具符号：○建具表による） ・S-6（建具符号：・建具表による）</p><p>防音ドア ・防音サッシ 遮音性の等級（） 断熱ドア ・断熱サッシ 断熱性の等級（） 耐震ドア 面内変形追随性の等級（）</p><p>鋼板の厚さ ・mm ※改修標準仕様書表5. 4. 2による</p><p>ステンレス鋼板 ・ ※ SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1</p></div>	種類	材種	線径	網目	・防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス (SUS316) 製	※0. 25mm以上	※16～18メッシュ	・防鳥網	ステンレス (SUS304) 線材	1. 5mm	網目寸法15mm	○建具用金物	<div><div>[5. 7. 1～3]</div><p>金物の種類及び見え掛け部の材質等 ※改修標準仕様書表5. 7. 1により適用は建具表による。</p><p>金属製建具用丁番の枚数及び大きさ ○建具表による ※改修標準仕様書表5. 7. 2による</p><p>樹脂製建具用丁番の枚数及び大きさ ・建具表による ※改修標準仕様書表5. 7. 3による</p><p>握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置 ○建具表による</p></div> <div><div>[5. 7. 4]</div><p>○錠前類（シリンダ箱錠及びシリンダ本締まり錠） ・錠前類（レバーハンドル） ・クローザ類</p></div> <div><div>[5. 8. 2、3]</div><p>・引き戸用駆動装置 性能値 ※改修標準仕様書表5. 8. 5による ・種類・開閉方式（） ・耐電圧（） ・温度上昇（） ・耐久性（サイクル）（） ・防錆（） ・防滴（） ・電源（）</p><p>・多機能トイレ出入り口引き戸用駆動装置 性能値 ※改修標準仕様書表5. 8. 6による ・耐電圧（） ・温度上昇（） ・耐久性（サイクル）（） ・防錆（） ・電源（）</p><p>・引き戸用検出装置 性能値 ※改修標準仕様書表5. 8. 3による ・耐電圧（） ・防錆（） ・防滴（） ・電源（）</p><p>戸の開閉方式 ・建具表による 引き戸用検出装置の種類 改修標準仕様書表5. 8. 4による ・建具表による 凍結防止措置 ・適用する ・適用しない</p></div>	・オーバーヘッドドア	<div><div>[5. 12. 2、3]</div><table><tr><th>セクション材料</th><th>耐風圧性能の区分 (Pa)</th><th>開閉方式による区分</th><th>収納形式による区分</th><th>ガイドレールの材質</th></tr><tr><td>※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ</td><td>・125 ・100 ・75 ・50</td><td>※バランス式 ・チェーン式 ・電動式</td><td>・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形</td><td>※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板（・ （※SUS304、SUS430J1L、又は、SUS443J1）</td></tr></table><p>障害物感知装置を設けた電動タイプの設置箇所 ・図示</p></div> <div><div>[3. 7] [5. 13. 2～4]</div><p>○フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類 ○建具表による</p><p>○型板ガラスの厚さによる種類 ○建具表による</p><p>・網入り板ガラス及び線入り板ガラスの網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類 ・建具表による</p><p>・合わせガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びにガラスの合計厚さによる種類 ・建具表による 形状による種類 ・平面合わせガラス ・曲面合わせガラス 落球衝撃はく離特性並びにショットバック衝撃特性による種類 ・Ⅰ類 ・Ⅱ-Ⅰ類 ・Ⅱ-2類 ・Ⅲ類</p><p>・強化ガラス 形状による種類及び材料板ガラスの種類による名称 ・建具表による 破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類 ・Ⅰ類 ・Ⅲ類</p><p>・熱線吸収板ガラス 板ガラスによる種類及び厚さによる種類 ・建具表による 性能による種類 ・Ⅰ種 ・Ⅱ種</p></div>	セクション材料	耐風圧性能の区分 (Pa)	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材質	※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	・125 ・100 ・75 ・50	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板（・ （※SUS304、SUS430J1L、又は、SUS443J1）	○ガラス	<div><div>[3. 7] [5. 13. 2～4]</div><p>○フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類 ○建具表による</p><p>○型板ガラスの厚さによる種類 ○建具表による</p><p>・網入り板ガラス及び線入り板ガラスの網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類 ・建具表による</p><p>・合わせガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びにガラスの合計厚さによる種類 ・建具表による 形状による種類 ・平面合わせガラス ・曲面合わせガラス 落球衝撃はく離特性並びにショットバック衝撃特性による種類 ・Ⅰ類 ・Ⅱ-Ⅰ類 ・Ⅱ-2類 ・Ⅲ類</p><p>・強化ガラス 形状による種類及び材料板ガラスの種類による名称 ・建具表による 破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類 ・Ⅰ類 ・Ⅲ類</p><p>・熱線吸収板ガラス 板ガラスによる種類及び厚さによる種類 ・建具表による 性能による種類 ・Ⅰ種 ・Ⅱ種</p></div>	○ガラス用フィルム	<div><div>[6. 1. 3]</div><p>既存開口切趾の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 ※ 壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ○ 図示 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲 ※ 壁面より両側 600mm 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ○ 図示 既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※ 既存のまま ○ 図示</p></div> <div><div>[6. 2. 2]</div><p>ビニル床シート等の除去 ※ 仕上材のみ（接着剤とも） ○ 下地モルタルとも ○ 図示の範囲 ・除去範囲全て） 合成樹脂塗床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・目荒し工法 既存のコンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4層外壁改修工事による。 改修後の床の清掃範囲 ※ 図示 ・改修箇所の室内</p></div> <div><div>[6. 3. 2]</div><p>間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 ・ ※改修標準仕様書4. 4. 9によるモルタル塗り（塗り厚25mmを超える場合の処理 ※図示）</p></div>																																																																					
種類	材種	線径	網目																																																																																																	
・防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス (SUS316) 製	※0. 25mm以上	※16～18メッシュ																																																																																																	
・防鳥網	ステンレス (SUS304) 線材	1. 5mm	網目寸法15mm																																																																																																	
セクション材料	耐風圧性能の区分 (Pa)	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材質																																																																																																
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	・125 ・100 ・75 ・50	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板（・ （※SUS304、SUS430J1L、又は、SUS443J1）																																																																																																
○鋼製建具	<div><div>[5. 2. 2] [5. 4. 2～4] [表 5. 4. 2]</div><p>性能等級 簡易気密型ドアセット ・適用する （建具符号：・建具表による） ・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ・S-4（建具符号：・建具表による） ○S-5（建具符号：○建具表による） ・S-6（建具符号：・建具表による）</p><p>防音ドア ・防音サッシ 遮音性の等級（） 断熱ドア ・断熱サッシ 断熱性の等級（） 耐震ドア 面内変形追随性の等級（）</p><p>鋼板の厚さ ・mm ※改修標準仕様書表5. 4. 2による</p><p>ステンレス鋼板 ・ ※ SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1</p></div>	・鋼製軽量建具	<div><div>[5. 2. 2] [5. 5. 2～4]</div><p>性能等級 簡易気密型ドアセット ・適用する ・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ・S-4 ・S-5 ・S-6</p><p>防音ドア ・防音サッシ 遮音性の等級（） 断熱ドア ・断熱サッシ 断熱性の等級（） 耐震ドア 面内変形追随性の等級（）</p><p>鋼板の種類 ・亜鉛めっき鋼板 ・ビニル被膜鋼板 ・カラー鋼板 ・ステンレス鋼板 鋼板の厚さ ・mm ・改修標準仕様書表5. 5. 1による</p><p>ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 召合せ、縦小口包み板の材質 ※鋼板 ・ステンレス鋼板 ・アルミニウム合金の押出型材</p></div> <div><div>[5. 2. 2] [5. 4. 2] [5. 6. 2～5]</div><p>・ステンレス製建具</p></div> <div><div>[5. 7. 1～3]</div><p>金物の種類及び見え掛け部の材質等 ※改修標準仕様書表5. 7. 1により適用は建具表による。</p><p>金属製建具用丁番の枚数及び大きさ ○建具表による ※改修標準仕様書表5. 7. 2による</p><p>樹脂製建具用丁番の枚数及び大きさ ・建具表による ※改修標準仕様書表5. 7. 3による</p><p>握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置 ○建具表による</p></div> <div><div>[5. 7. 4]</div><p>○錠前類（シリンダ箱錠及びシリンダ本締まり錠） ・錠前類（レバーハンドル） ・クローザ類</p></div> <div><div>[5. 8. 2、3]</div><p>・引き戸用駆動装置 性能値 ※改修標準仕様書表5. 8. 5による ・種類・開閉方式（） ・耐電圧（） ・温度上昇（） ・耐久性（サイクル）（） ・防錆（） ・防滴（） ・電源（）</p><p>・多機能トイレ出入り口引き戸用駆動装置 性能値 ※改修標準仕様書表5. 8. 6による ・耐電圧（） ・温度上昇（） ・耐久性（サイクル）（） ・防錆（） ・電源（）</p><p>・引き戸用検出装置 性能値 ※改修標準仕様書表5. 8. 3による ・耐電圧（） ・防錆（） ・防滴（） ・電源（）</p><p>戸の開閉方式 ・建具表による 引き戸用検出装置の種類 改修標準仕様書表5. 8. 4による ・建具表による 凍結防止措置 ・適用する ・適用しない</p></div>	・重量シャッター	<div><div>[5. 10. 2. 3]</div><table><tr><th>シャッターの種類</th><th>耐風圧強度</th></tr><tr><td>・管理用シャッター</td><td>耐風圧強度（）N/m<sup>2</sup></td></tr><tr><td>・外壁用防火シャッター</td><td>耐風圧強度（）N/m<sup>2</sup></td></tr><tr><td>・屋内用防火シャッター</td><td></td></tr><tr><td>・防煙シャッター</td><td></td></tr></table><p>開閉方式の種類 ※上部電動式（手動併用） ・上部手動式 二重チェーン、急降下制動装置、急降下停止装置を設けた電動シャッターの設置箇所 ・図示 障害物感知装置を設けた電動シャッターの設置箇所 ・図示 屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止機構 ・設ける（設置箇所 ・図示） 「防火区画に用いる防火設備等の構造方法を定める件」（昭和48年12月28日建設省告示第2563号）に定める基準に適合するもの ※障害物感知装置（自動閉鎖型） ・可動座板式 ・設けない 管理用一般重量シャッターのシャッターケース ・設ける ・設けない スラット及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類 ・JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板） ・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板） めっきの付着量 ※Z12又はF12 ガイドレール、まぐさ、雨掛りに用いる座板及び座板のカバー、雨掛りに用いるスイッチボックス類のふたの材質 ステンレス鋼板 ・ ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1</p></div> <div><div>[5. 11. 2～4]</div><p>・軽量シャッター</p><p>開閉方式の種類 ※手動式 ・上部電動式（手動併用） 耐風圧強度（）N/m<sup>2</sup> 障害物感知装置を設けた電動シャッターの設置箇所 ・図示 スラットの材質 ・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板） めっき付着量（※Z06又はF06） ・JIS G 3322（塗装溶融55％アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板） めっき付着量（※A290） スラットの形状 ・インターロッキング形 ・オーバーラッピング形</p></div> <div><div>[5. 12. 2、3]</div><table><tr><th>セクション材料</th><th>耐風圧性能の区分 (Pa)</th><th>開閉方式による区分</th><th>収納形式による区分</th><th>ガイドレールの材質</th></tr><tr><td>※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ</td><td>・125 ・100 ・75 ・50</td><td>※バランス式 ・チェーン式 ・電動式</td><td>・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形</td><td>※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板（・ （※SUS304、SUS430J1L、又は、SUS443J1）</td></tr></table><p>障害物感知装置を設けた電動タイプの設置箇所 ・図示</p></div> <div><div>[3. 7] [5. 13. 2～4]</div><p>○フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類 ○建具表による</p><p>○型板ガラスの厚さによる種類 ○建具表による</p><p>・網入り板ガラス及び線入り板ガラスの網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類 ・建具表による</p><p>・合わせガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びにガラスの合計厚さによる種類 ・建具表による 形状による種類 ・平面合わせガラス ・曲面合わせガラス 落球衝撃はく離特性並びにショットバック衝撃特性による種類 ・Ⅰ類 ・Ⅱ-Ⅰ類 ・Ⅱ-2類 ・Ⅲ類</p><p>・強化ガラス 形状による種類及び材料板ガラスの種類による名称 ・建具表による 破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類 ・Ⅰ類 ・Ⅲ類</p><p>・熱線吸収板ガラス 板ガラスによる種類及び厚さによる種類 ・建具表による 性能による種類 ・Ⅰ種 ・Ⅱ種</p></div>	シャッターの種類	耐風圧強度	・管理用シャッター	耐風圧強度（）N/m <sup>2</sup>	・外壁用防火シャッター	耐風圧強度（）N/m <sup>2</sup>	・屋内用防火シャッター		・防煙シャッター		セクション材料	耐風圧性能の区分 (Pa)	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材質	※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	・125 ・100 ・75 ・50	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板（・ （※SUS304、SUS430J1L、又は、SUS443J1）	○ガラス	<div><div>[3. 7] [5. 13. 2～4]</div><p>○フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類 ○建具表による</p><p>○型板ガラスの厚さによる種類 ○建具表による</p><p>・網入り板ガラス及び線入り板ガラスの網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類 ・建具表による</p><p>・合わせガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びにガラスの合計厚さによる種類 ・建具表による 形状による種類 ・平面合わせガラス ・曲面合わせガラス 落球衝撃はく離特性並びにショットバック衝撃特性による種類 ・Ⅰ類 ・Ⅱ-Ⅰ類 ・Ⅱ-2類 ・Ⅲ類</p><p>・強化ガラス 形状による種類及び材料板ガラスの種類による名称 ・建具表による 破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類 ・Ⅰ類 ・Ⅲ類</p><p>・熱線吸収板ガラス 板ガラスによる種類及び厚さによる種類 ・建具表による 性能による種類 ・Ⅰ種 ・Ⅱ種</p></div>	○ガラス	<div><div>[3. 7] [5. 13. 2～4]</div><p>○フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類 ○建具表による</p><p>○型板ガラスの厚さによる種類 ○建具表による</p><p>・網入り板ガラス及び線入り板ガラスの網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類 ・建具表による</p><p>・合わせガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びにガラスの合計厚さによる種類 ・建具表による 形状による種類 ・平面合わせガラス ・曲面合わせガラス 落球衝撃はく離特性並びにショットバック衝撃特性による種類 ・Ⅰ類 ・Ⅱ-Ⅰ類 ・Ⅱ-2類 ・Ⅲ類</p><p>・強化ガラス 形状による種類及び材料板ガラスの種類による名称 ・建具表による 破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類 ・Ⅰ類 ・Ⅲ類</p><p>・熱線吸収板ガラス 板ガラスによる種類及び厚さによる種類 ・建具表による 性能による種類 ・Ⅰ種 ・Ⅱ種</p></div>	○ガラス	<div><div>[3. 7] [5. 13. 2～4]</div><p>○フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類 ○建具表による</p><p>○型板ガラスの厚さによる種類 ○建具表による</p><p>・網入り板ガラス及び線入り板ガラスの網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類 ・建具表による</p><p>・合わせガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びにガラスの合計厚さによる種類 ・建具表による 形状による種類 ・平面合わせガラス ・曲面合わせガラス 落球衝撃はく離特性並びにショットバック衝撃特性による種類 ・Ⅰ類 ・Ⅱ-Ⅰ類 ・Ⅱ-2類 ・Ⅲ類</p><p>・強化ガラス 形状による種類及び材料板ガラスの種類による名称 ・建具表による 破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類 ・Ⅰ類 ・Ⅲ類</p><p>・熱線吸収板ガラス 板ガラスによる種類及び厚さによる種類 ・建具表による 性能による種類 ・Ⅰ種 ・Ⅱ種</p></div>	○ガラス	<div><div>[3. 7] [5. 13. 2～4]</div><p>○フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類 ○建具表による</p><p>○型板ガラスの厚さによる種類 ○建具表による</p><p>・網入り板ガラス及び線入り板ガラスの網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類 ・建具表による</p><p>・合わせガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びにガラスの合計厚さによる種類 ・建具表による 形状による種類 ・平面合わせガラス ・曲面合わせガラス 落球衝撃はく離特性並びにショットバック衝撃特性による種類 ・Ⅰ類 ・Ⅱ-Ⅰ類 ・Ⅱ-2類 ・Ⅲ類</p><p>・強化ガラス 形状による種類及び材料板ガラスの種類による名称 ・建具表による 破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類 ・Ⅰ類 ・Ⅲ類</p><p>・熱線吸収板ガラス 板ガラスによる種類及び厚さによる種類 ・建具表による 性能による種類 ・Ⅰ種 ・Ⅱ種</p></div>	○ガラス	<div><div>[3. 7] [5. 13. 2～4]</div><p>○フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類 ○建具表による</p><p>○型板ガラスの厚さによる種類 ○建具表による</p><p>・網入り板ガラス及び線入り板ガラスの網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類 ・建具表による</p><p>・合わせガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びにガラスの合計厚さによる種類 ・建具表による 形状による種類 ・平面合わせガラス ・曲面合わせガラス 落球衝撃はく離特性並びにショットバック衝撃特性による種類 ・Ⅰ類 ・Ⅱ-Ⅰ類 ・Ⅱ-2類 ・Ⅲ類</p><p>・強化ガラス 形状による種類及び材料板ガラスの種類による名称 ・建具表による 破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類 ・Ⅰ類 ・Ⅲ類</p><p>・熱線吸収板ガラス 板ガラスによる種類及び厚さによる種類 ・建具表による 性能による種類 ・Ⅰ種 ・Ⅱ種</p></div>	○ガラス	<div><div>[3. 7] [5. 13. 2～4]</div><p>○フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類 ○建具表による</p><p>○型板ガラスの厚さによる種類 ○建具表による</p><p>・網入り板ガラス及び線入り板ガラスの網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類 ・建具表による</p><p>・合わせガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びにガラスの合計厚さによる種類 ・建具表による 形状による種類 ・平面合わせガラス ・曲面合わせガラス 落球衝撃はく離特性並びにショットバック衝撃特性による種類 ・Ⅰ類 ・Ⅱ-Ⅰ類 ・Ⅱ-2類 ・Ⅲ類</p><p>・強化ガラス 形状による種類及び材料板ガラスの種類による名称 ・建具表による 破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類 ・Ⅰ類 ・Ⅲ類</p><p>・熱線吸収板ガラス 板ガラスによる種類及び厚さによる種類 ・建具表による 性能による種類 ・Ⅰ種 ・Ⅱ種</p></div>	○ガラス	<div><div>[3. 7] [5. 13. 2～4]</div><p>○フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類 ○建具表による</p><p>○型板ガラスの厚さによる種類 ○建具表による</p><p>・網入り板ガラス及び線入り板ガラスの網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類 ・建具表による</p><p>・合わせガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びにガラスの合計厚さによる種類 ・建具表による 形状による種類 ・平面合わせガラス ・曲面合わせガラス 落球衝撃はく離特性並びにショットバック衝撃特性による種類 ・Ⅰ類 ・Ⅱ-Ⅰ類 ・Ⅱ-2類 ・Ⅲ類</p><p>・強化ガラス 形状による種類及び材料板ガラスの種類による名称 ・建具表による 破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類 ・Ⅰ類 ・Ⅲ類</p><p>・熱線吸収板ガラス 板ガラスによる種類及び厚さによる種類 ・建具表による 性能による種類 ・Ⅰ種 ・Ⅱ種</p></div>	○ガラス	<div><div>[3. 7] [5. 13. 2～4]</div><p>○フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類 ○建具表による</p><p>○型板ガラスの厚さによる種類 ○建具表による</p><p>・網入り板ガラス及び線入り板ガラスの網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類 ・建具表による</p><p>・合わせガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びにガラスの合計厚さによる種類 ・建具表による 形状による種類 ・平面合わせガラス ・曲面合わせガラス 落球衝撃はく離特性並びにショットバック衝撃特性による種類 ・Ⅰ類 ・Ⅱ-Ⅰ類 ・Ⅱ-2類 ・Ⅲ類</p><p>・強化ガラス 形状による種類及び材料板ガラスの種類による名称 ・建具表による 破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類 ・Ⅰ類 ・Ⅲ類</p><p>・熱線吸収板ガラス 板ガラスによる種類及び厚さによる種類 ・建具表による 性能による種類 ・Ⅰ種 ・Ⅱ種</p></div>	○ガラス	<div><div>[3. 7] [5. 13. 2～4]</div><p>○フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類 ○建具表による</p><p>○型板ガラスの厚さによる種類 ○建具表による</p><p>・網入り板ガラス及び線入り板ガラスの網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類 ・建具表による</p><p>・合わせガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びにガラスの合計厚さによる種類 ・建具表による 形状による種類 ・平面合わせガラス ・曲面合わせガラス 落球衝撃はく離特性並びにショットバック衝撃特性による種類 ・Ⅰ類 ・Ⅱ-Ⅰ類 ・Ⅱ-2類 ・Ⅲ類</p><p>・強化ガラス 形状による種類及び材料板ガラスの種類による名称 ・建具表による 破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類 ・Ⅰ類 ・Ⅲ類</p><p>・熱線吸収板ガラス 板ガラスによる種類及び厚さによる種類 ・建具表による 性能による種類 ・Ⅰ種 ・Ⅱ種</p></div>	○ガラス	<div><div>[3. 7] [5. 13. 2～4]</div><p>○フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類 ○建具表による</p><p>○型板ガラスの厚さによる種類 ○建具表による</p><p>・網入り板ガラス及び線入り板ガラスの網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類 ・建具表による</p><p>・合わせガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びにガラスの合計厚さによる種類 ・建具表による 形状による種類 ・平面合わせガラス ・曲面合わせガラス 落球衝撃はく離特性並びにショットバック衝撃特性による種類 ・Ⅰ類 ・Ⅱ-Ⅰ類 ・Ⅱ-2類 ・Ⅲ類</p><p>・強化ガラス 形状による</p></div>																																																							
シャッターの種類	耐風圧強度																																																																																																			
・管理用シャッター	耐風圧強度（）N/m <sup>2</sup>																																																																																																			
・外壁用防火シャッター	耐風圧強度（）N/m <sup>2</sup>																																																																																																			
・屋内用防火シャッター																																																																																																				
・防煙シャッター																																																																																																				
セクション材料	耐風圧性能の区分 (Pa)	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材質																																																																																																
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	・125 ・100 ・75 ・50	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板（・ （※SUS304、SUS430J1L、又は、SUS443J1）																																																																																																

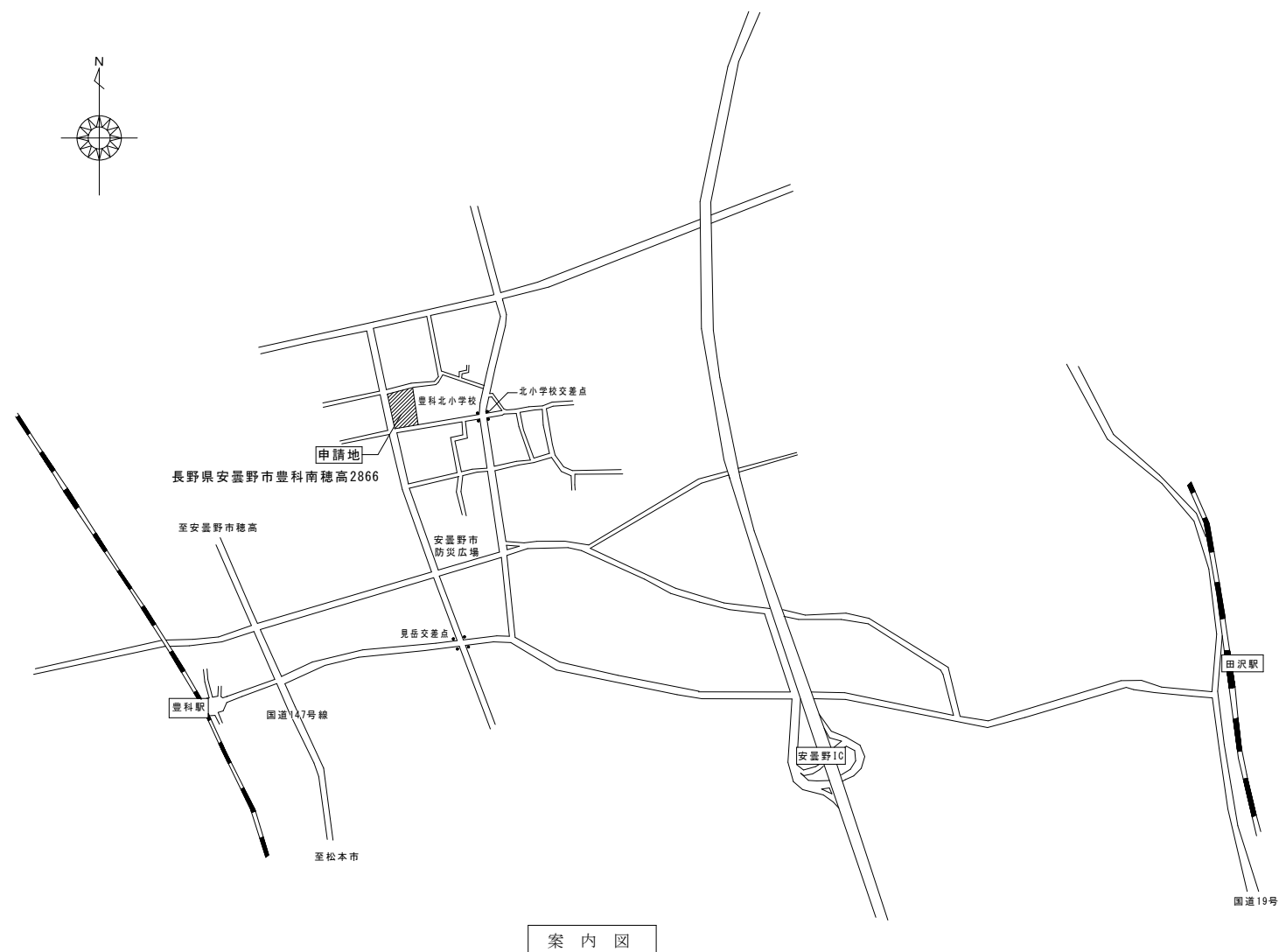




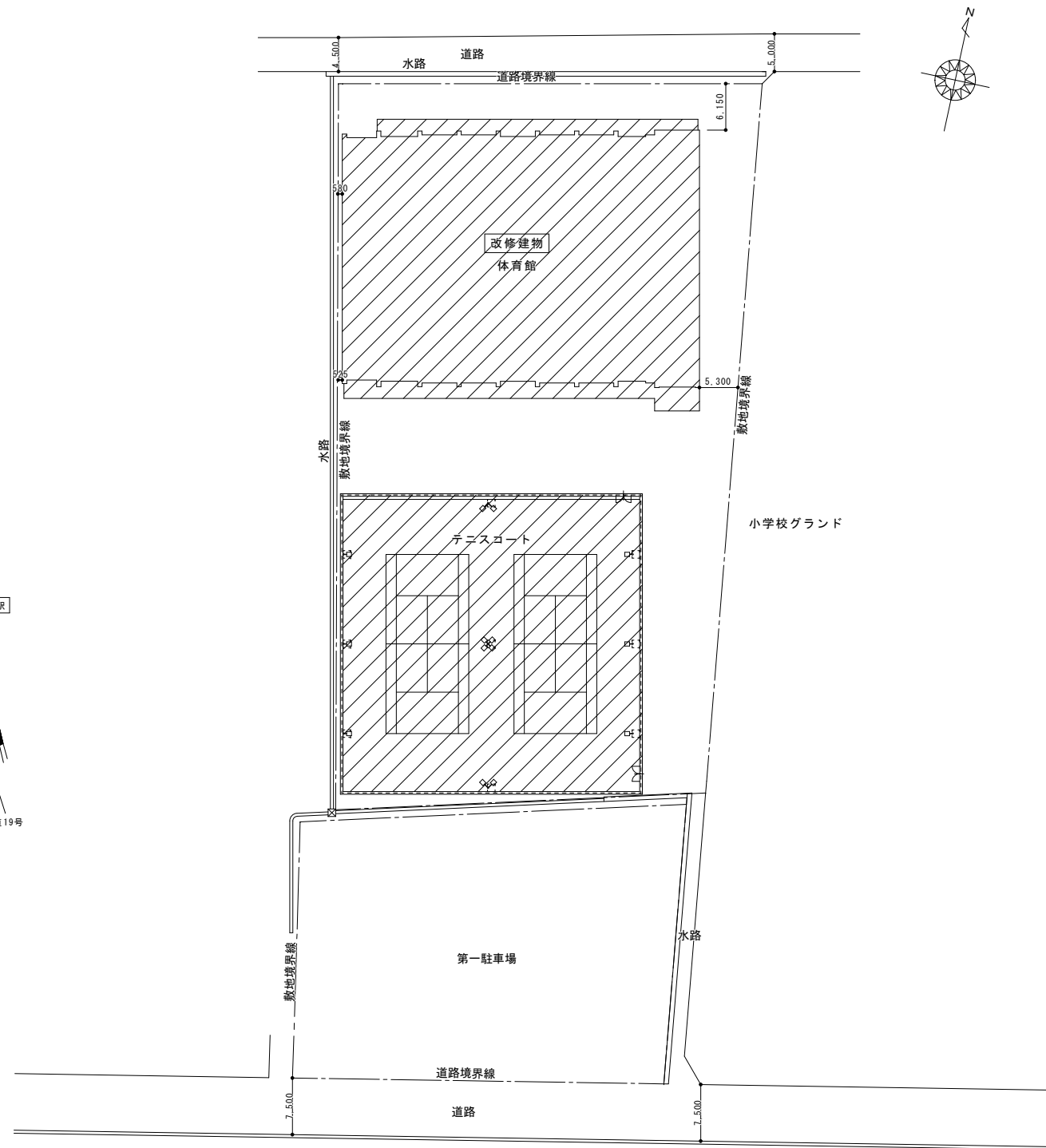
			JOB No.		工事名称 令和 5 年度 豊科労働者総合スポーツ施設大規模改修工事	図面名称 改修特記仕様書（ 6 ）	縮 尺 A3 : -- A1 : --	No. A-06
			検印	製図				

・ 外断熱改修工事 [G]	<p>断熱材</p> <p>断熱材の種類</p> <p>断熱材の厚さ (mm)</p> <p>施工箇所</p> <p>ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外</p> <p>外装材</p> <table><tr><th>種類</th><th>防火性能</th><th>備考</th></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td></tr></table> <p>鋼材</p> <p>改修特記仕様書第 8 章 8-3 鉄骨工事 ・ 鋼材による</p> <p>笠木</p> <p>改修特記仕様書第 3 章 ・ アルミニウム製笠木による</p> <p>既存外壁の処置</p> <p>既存外壁仕上材の撤去</p> <p>・ あり</p> <p>・ なし</p> <p>下地面の清掃</p> <p>・ 行う</p> <p>・ 行わない</p> <p>欠損部の改修工法</p> <p>・ 改修特記仕様書第 4 章 外壁改修工事による</p> <p>工法</p> <p>建築基準法に基づき定まる風圧力の ( ・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3 ) 倍の風圧力に対応した工法</p> <p>不陸等の下地調整</p> <p>断熱材の施工</p> <p>・ 断熱材製造所の仕様による</p> <p>外装材の施工</p> <p>・ 外装材製造所の仕様による</p> <p>通気層の有無</p> <p>・ あり ( mm )</p> <p>・ なし</p> <p>外装材の外壁への取付け</p> <p>・ 図示</p> <p>笠木の施工</p> <p>・ 改修特記仕様書第 3 章 アルミニウム製笠木による</p> <p>・ ガラス改修工事 [9. 4. 2、3]</p> <p>複層ガラス</p> <p>材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ</p> <p>・ 建具表による</p> <p>断熱性による区分</p> <p>・ T 1 ・ T 2 ・ T 3 ・ T 4 ・ T 5 ・ T 6</p> <p>日射取得性、日射遮蔽性による区分</p> <p>・ G</p> <p>・ S</p> <p>乾燥気体の種類</p> <p>・ 空気</p> <p>・ アルゴン</p> <p>上記以外は、改修特記仕様書5章 建具改修工事による</p> <p>・ 断熱・防露改修工事 [G] [9. 5. 2～4]</p> <p>フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外</p> <p>・ 断熱材打込み工法</p> <p>断熱材 JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材</p> <p>種類</p> <p>・</p> <p>厚さ (mm)</p> <p>・</p> <p>施工場所</p> <p>・</p> <p>・ 断熱材現場発泡工法</p> <p>断熱材の種類</p> <p>・ A種1</p> <p>・ A種1H</p> <p>吹付け厚さ (mm)</p> <p>・ 25</p> <p>・ 30</p> <p>施工箇所</p> <p>・ 図示</p> <p>・ 現場発泡断熱材</p> <p>・ 断熱材後張り工法</p> <p>断熱材 JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材</p> <p>種類</p> <p>・</p> <p>厚さ (mm)</p> <p>・</p> <p>断熱材にせっこうボード等を張り付けたパネル</p> <p>( 材質 ・ 厚さ ・ mm )</p> <p>・ 屋上緑化改修工事 [G] [9. 6. 2、3]</p> <p>植栽基盤及び材料</p> <p>屋上緑化軽量システム</p> <p>・ 適用する</p> <p>・ 適用しない</p> <p>芝及び地被類の種類等</p> <p>※図示</p> <p>・</p> <p>厚切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等</p> <p>※図示</p> <p>・</p> <p>工法</p> <p>建築基準法に基づき定まる風圧力の ( ・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3 ) 倍の風圧力に対応した工法</p> <p>かん水装置</p> <p>・ 設置する ( 種類 ・ )</p> <p>既存保護層の撤去</p> <p>・ 行う</p> <p>・ 行わない</p> <p>新植した芝及び地被類の枯補償の期間</p> <p>・</p> <p>※引渡しの日から1年</p>	種類	防火性能	備考	・			・ 透水性アスファルト 舗装改修工事																					
	種類	防火性能	備考																										
・																													
	<p>適用範囲：歩道</p> <p>既存舗装の撤去及び再利用 ※図示</p> <p>路床</p> <table><tr><th>種別</th><th>材料</th><th>厚さ (mm)</th></tr><tr><td>・ 盛土</td><td>・ A 種 ・ B 種 ・ C 種 ・ D 種 ・ 建設汚泥から再生した処理土 [G]</td><td>・ 図示 ・</td></tr><tr><td>・ 凍上抑制層</td><td>・ 再生クラッシャラン [G] ・ クラッシャラン ・ 切込み砂利</td><td>・ 図示 ・</td></tr><tr><td>・ フィルター層</td><td>・ 砂</td><td>・ 図示 ・</td></tr></table> <p>路床安定処理</p> <p>・ 適用する</p> <p>・ 適用しない</p> <p>路床安定処理の方法</p> <p>・ 添加材料による安定処理</p> <p>路床安定処理用添加材料</p> <p>種類</p> <p>・ 普通ポルトランドセメント</p> <p>・ フライアッシュセメント 5 種</p> <p>・ 高炉セメント B 種 [G]</p> <p>・ 生石灰 ( ・ 特号 ・ 1 号 )</p> <p>・ 消石灰 ( ・ 特号 ・ 1 号 )</p> <p>・</p> <p>添加量</p> <p>kg/m<sup>2</sup> (目標 CBR ・ 3 以上 ・ )</p> <p>目標 CBR を満足する添加量の確認方法</p> <p>・ 安定処理土の CBR 試験</p> <p>・</p> <p>・ ジオテキスタイル</p> <p>単位面積質量</p> <p>・ 60g/m<sup>2</sup> 以上</p> <p>厚さ (mm)</p> <p>・ 0.5～1.0</p> <p>引張強さ</p> <p>・ 98N/5cm (10kgf/5cm) 以上</p> <p>透水係数</p> <p>・ 1.5×10<sup>-1</sup> cm/sec 以上</p> <p>試験</p> <p>砂の粒度試験</p> <p>・ 行う</p> <p>・ 行わない</p> <p>路床土の支持力比 ( C B R ) 試験</p> <p>・ 行う</p> <p>・ 行わない</p> <p>現場 C B R 試験</p> <p>・ 行う</p> <p>・ 行わない</p> <p>路床締固め度の試験</p> <p>・ 行う</p> <p>・ 行わない</p> <p>路盤</p> <p>路盤の厚さ</p> <p>・ 図示</p> <p>・</p> <table><tr><th>種別</th><th>材料</th></tr><tr><td>・ クラッシャラン</td><td></td></tr><tr><td>・ 粒度調整砕石</td><td></td></tr><tr><td>・ 再生クラッシャラン [G]</td><td></td></tr><tr><td>・ 再生粒度調整砕石 [G]</td><td></td></tr><tr><td>・ クラッシャラン鉄鋼スラグ [G]</td><td></td></tr><tr><td>・ 粒度調整鉄鋼スラグ [G]</td><td></td></tr><tr><td>・ 水硬性粒度調整鉄鋼スラグ [G]</td><td></td></tr></table> <p>舗装の構成</p> <p>・ 図示</p> <p>開粒度アスファルト混合物等の抽出試験</p> <p>・ 行う</p> <p>・ 行わない</p> <p>舗装の平坦性</p> <p>※著しい不陸がないもの</p> <p>・</p>	種別	材料	厚さ (mm)	・ 盛土	・ A 種 ・ B 種 ・ C 種 ・ D 種 ・ 建設汚泥から再生した処理土 [G]	・ 図示 ・	・ 凍上抑制層	・ 再生クラッシャラン [G] ・ クラッシャラン ・ 切込み砂利	・ 図示 ・	・ フィルター層	・ 砂	・ 図示 ・	種別	材料	・ クラッシャラン		・ 粒度調整砕石		・ 再生クラッシャラン [G]		・ 再生粒度調整砕石 [G]		・ クラッシャラン鉄鋼スラグ [G]		・ 粒度調整鉄鋼スラグ [G]		・ 水硬性粒度調整鉄鋼スラグ [G]	
種別	材料	厚さ (mm)																											
・ 盛土	・ A 種 ・ B 種 ・ C 種 ・ D 種 ・ 建設汚泥から再生した処理土 [G]	・ 図示 ・																											
・ 凍上抑制層	・ 再生クラッシャラン [G] ・ クラッシャラン ・ 切込み砂利	・ 図示 ・																											
・ フィルター層	・ 砂	・ 図示 ・																											
種別	材料																												
・ クラッシャラン																													
・ 粒度調整砕石																													
・ 再生クラッシャラン [G]																													
・ 再生粒度調整砕石 [G]																													
・ クラッシャラン鉄鋼スラグ [G]																													
・ 粒度調整鉄鋼スラグ [G]																													
・ 水硬性粒度調整鉄鋼スラグ [G]																													
・ プール改修工事	<p>・ ひび割れ及び欠陥等の補修</p> <p>・ ライニング工法</p> <p>下地処理</p> <p>・</p> <p>下地調整</p> <p>・ R A 種</p> <p>材料</p> <p>ライニング用材料の材質</p> <p>・ ガラスクロス</p> <p>・ ガラスマット</p> <p>防滑性材料</p> <p>・</p> <p>ライニング用材料</p> <p>製造所</p> <p>製品名</p> <p>施工</p> <p>塗り工程</p> <p>・</p> <p>下地調整</p> <p>・ R A 種</p> <p>材料</p> <p>防滑性材料</p> <p>・</p> <p>塗り替え用材料</p> <p>製造所</p> <p>製品名</p> <p>施工</p> <p>塗り工程</p> <p>・</p> <p>・ 鋼製プール</p> <p>・ アルミニウム製プール</p> <p>・ ステンレス製プール</p> <p>・ FRP 製プール</p>	・ プール塗装 塗り替え工法																											
	・ カバー工法																												

<div>豊科勤労者総合スポーツ施設 解体工事仕様書</div>				<div>・冷媒を回収した後撤去を行う機器は下記による。</div> <table><tr><td>図面番号</td><td>記 号</td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr></table>		図面番号	記 号									<div>・絶縁体のPCB含有量の分析調査</div> <div>・「特別管理一般廃棄物及び特別管理産業廃棄物に係る基準の 検計方法（平成4年7月3日厚生省告示第192号）」又は「絶縁油中のポリ塩化ビフェニルの 分析方法規定（電気技術規定 JEAC1201-1991）」により行う。</div> <div>・ダイオキシン類のサンプリング調査</div> <div>・「廃棄物焼却施設内作業におけるダイオキシン 類暴露防止対策要綱（平成13年25日付 基発第401号）」により行う。</div>		<div>③ 7Aペ 含有建材の処理</div> <div>・アスベスト含有吹付け材の除去</div> <div>又はアスベスト含有保温材等の除去で石綿粉じんを発生する恐れがある場合（損傷、劣化等）</div> <div>除去対象範囲</div> <div>・ 図示</div> <div>除去工法</div> <div>※6.3.2による</div> <div>除去したアスベスト含有吹付け材等の飛散防止</div> <div>※密封処理（二重袋梱包）</div> <div>※湿潤化</div> <div>※セメント固化</div> <div>隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機フィルタ、粉じん機フィルタについても密封処理を行う。</div> <div>除去したアスベスト含有吹付け材等の処分</div> <div>・埋立処分（管理型最終処分場）</div> <div>・中間処理（溶解施設）</div>		<div>・アスベスト含有保温材の除去（4A）</div> <div>除去工法</div> <div>※9.1.4(a)による（原形のまま、手ばらしが可能な場合）</div> <div>除去対象範囲</div> <div>・ 図示</div> <div>・9.1.3(b)による（損傷、劣化等で石綿粉じんを発生する恐れがある場合）</div> <div>除去対象範囲</div> <div>・ 図示</div> <div>除去したアスベスト含有保温材等の飛散防止</div> <div>※密封処理（二重袋梱包）</div> <div>※湿潤化</div> <div>※セメント固化</div> <div>除去したアスベスト含有保温材の処分</div> <div>・埋立処分（管理型最終処分場）</div> <div>・中間処理（溶解施設）</div>																																																																																																																																														
図面番号	記 号																																																																																																																																																																	
<div>Ⅰ 解体工事概要</div> <div>1. 工事場所</div> <div>安曇野市豊科南穂高2866</div> <div>2. 敷地面積（㎡）</div> <div>6780.84 ㎡</div> <div>3. 除却対象物</div> <div>・建築物</div> <div>・工作物</div> <div>・建築設備</div> <div>・家具等</div> <div>・樹木</div> <div>・その他</div> <table><tr><td>除却対象建築物等</td><td>構 造</td><td>階 数</td><td>梁間（m）</td><td>桁行（m）</td><td>建築面積（㎡）</td><td>延 面 積（㎡）</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>		除却対象建築物等	構 造	階 数	梁間（m）	桁行（m）	建築面積（㎡）	延 面 積（㎡）																																																																<div>Ⅱ 解体工事仕様</div> <div>1. 共通仕様</div> <div>（1）図面及び特記仕様に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築物解体工事共通仕様書（令和4年版）」（以下、「解体共仕」という。）により、解体共仕に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）」（令和4年版）」（以下「標準仕」という。）及び「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）」（令和4年版）」（以下、「改修標準仕」という。）による。</div> <div>2. 特記仕様</div> <div>（1）項目は、番号に○印の付いたものを適用する。</div> <div>（2）特記事項は、○印の付いたものを適用する。</div> <div>○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。</div> <div>○印と※印の付いた場合は、共に適用する。</div> <div>（3）特記事項に記載の（...）内の表示番号は、解体共仕の当該項目を示す。</div>		<div>4 建設廃棄物の処理</div> <div>① 一般事項</div> <div>本工事は「建設副産物情報交換システム」を活用する。</div> <div>総合施工計画作成時、工事完了時及び登録情報に変更が生じた場合、速やかに当該システムにデータ入力を行う。また、同システムにより工事着手時に再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を工事完了時に同計画書の実施報告書（書式は同一）を作成し、監督職員に提出するものとする。</div> <div>② 再資源化等</div> <div>建設廃棄物の種類</div> <div>備 考</div> <div>○コンクリート</div> <div>○コンクリート及び鉄かなる建設資材（PC板、コンクリート平板、コンクリート二次製品）</div> <div>○木材</div> <div>・木材（縮減）</div> <div>・7A材コンクリート</div> <div>○金属類</div> <div>・小形二次電池</div> <div>○蛍光灯ランプ、HIDランプ</div> <div>○環境強化ビニール管、緩手</div> <div>○ガラス</div> <div>※中間処理施設又は再資源化施設等の名称、所在地は現場説明書による</div> <div>③ 再資源化し、現場で利用する建設廃棄物</div> <div>名 称</div> <div>仕 様</div> <div>数 量</div> <div>備 考</div> <div>④ 産業廃棄物広域認定制度の活用</div> <div>種 類</div> <div>備 考</div> <div>⑤ 最終処分する建設廃棄物</div> <div>名 称</div> <div>仕 様</div> <div>数 量</div> <div>備 考</div> <div>⑥ 処理に注意を要する建設廃棄物</div> <div>廃棄物の種類</div> <div>数 量</div> <div>備 考</div> <div>・石綿含有せっこうボード</div> <div>・ひ素・カドミウム含有せっこうボード</div> <div>・上記以外のせっこうボード</div> <div>・CCA処理木材</div> <div>・</div> <div>※最終処分施設の名称、所在地は現場説明書による</div>		<div>⑥ アスベスト含有建材の除去等</div> <div>1 アスベスト含有分析調査</div> <div>施工調査</div> <div>○アスベスト含有建材の事前調査 工事着手前に先立ち、目視及び貸与する設計図書等によりアスベストを含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査し、監督職員に報告する。</div> <div>調査範囲（・ 図示）</div> <div>貸与資料（・ 内外装10ヶ所資料あり）</div> <div>分析によるアスベスト含有建材の調査</div> <div>・ 行う（下表による）</div> <table><tr><th>材 料 名</th><th>調査方法（1材料あたりの試料数：3サンプル）</th></tr><tr><td></td><td>※ 定性分析</td></tr><tr><td></td><td>※ 定量分析</td></tr><tr><td></td><td>※ 定性分析</td></tr><tr><td></td><td>※ 定量分析</td></tr><tr><td></td><td>※ 定性分析</td></tr><tr><td></td><td>※ 定量分析</td></tr></table> <div>採取箇所 ※ 図示 ・ 必要な全箇所</div> <div>分析対象</div> <div>※ アスベスト 6 種類（アモサイト、クリソタイル、クロシドライト、アクチノライト、アンソファライト、トレモライト）</div> <div>分析方法</div> <div>※ JIS A 1481-2「建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第2部：試料採取及びアスベスト含有の有無を判定するための定性分析方法」又は JIS A 1481-3「建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第3部：アスベスト含有率のX線回折定量分析方法」による</div> <div>※ JIS A 1481「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による</div> <div>分析結果については、監督職員に提出すること。</div> <div>2 7Aペ 粉じん濃度測定</div> <div>アスベスト粉じん濃度測定</div> <div>・ 行う（測定名称及び測定点は下表による）</div> <div>アスベスト粉じん濃度測定は「JIS K3850-1 空気中の繊維状粒子測定方法-第1部：光学顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法」による位相差・分散顕微鏡法による。</div> <div>測定機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。</div> <div>測定箇所 ※ 図示</div> <table><tr><th>測定名称</th><th>測定時期</th><th>測定場所</th><th>測定点（各施工箇所ごと）</th><th>備 考</th></tr><tr><td>・ 測定 1</td><td>知理作業前</td><td>知理作業室内</td><td>・（ ）点</td><td>—</td></tr><tr><td>・ 測定 2</td><td>知理作業前</td><td>施工区画周辺又は敷地境界</td><td>・ 4方向各1点</td><td>—</td></tr><tr><td>・ 測定 3</td><td>知理作業中</td><td>知理作業室内</td><td>・（ ）点</td><td>—</td></tr><tr><td>・ 測定 4</td><td>知理作業中</td><td>仕上り入口</td><td>・（ ）点</td><td>空気の流れを確認</td></tr><tr><td>・ 測定 5</td><td>知理作業中</td><td>集じん・排気装置の装置の排出口</td><td>・ 装置各1点</td><td>除じん装置の性能確認</td></tr><tr><td>・ 測定 6</td><td>知理作業後</td><td>施工区画周辺又は敷地境界</td><td>・ 4方向各1点</td><td>—</td></tr><tr><td>・ 測定 7</td><td>知理作業後（7A養生中）</td><td>知理作業室内</td><td>・（ ）点</td><td>—</td></tr><tr><td>・ 測定 8</td><td>知理作業後</td><td>施工区画周辺又は敷地境界</td><td>・ 4方向各1点</td><td>—</td></tr><tr><td>・ 測定 9</td><td>知理作業後</td><td>知理作業室内</td><td>・（ ）点</td><td>—</td></tr><tr><td>・ 測定 10</td><td>撤去後1週間以降</td><td>調査対象室外部</td><td>・（ ）点</td><td>—</td></tr></table> <div>測定5のみ ※ 7Aペ 粉じん相対湿度計（7Aペ 粉じん計）、繊維状粒子自動計測器（7Aペ 粉じんモニタ）等、排気の粉じん濃度を迅速に計測できる機器にて測定</div> <div>アスベスト粉じん濃度測定方法</div> <table><tr><th></th><th>測定3</th><th>測定1,2,4,6,7,8</th><th>測定9,10</th></tr><tr><td>7Aペ 径の直径（mm）</td><td>25</td><td>25</td><td>・</td></tr><tr><td>試料の吸引流量（l/min）</td><td>・ 1</td><td>・ 5</td><td>・</td></tr><tr><td>試料の吸引時間（min）</td><td>・ 5</td><td>・ 120</td><td>・</td></tr></table>		材 料 名	調査方法（1材料あたりの試料数：3サンプル）		※ 定性分析		※ 定量分析		※ 定性分析		※ 定量分析		※ 定性分析		※ 定量分析	測定名称	測定時期	測定場所	測定点（各施工箇所ごと）	備 考	・ 測定 1	知理作業前	知理作業室内	・（ ）点	—	・ 測定 2	知理作業前	施工区画周辺又は敷地境界	・ 4方向各1点	—	・ 測定 3	知理作業中	知理作業室内	・（ ）点	—	・ 測定 4	知理作業中	仕上り入口	・（ ）点	空気の流れを確認	・ 測定 5	知理作業中	集じん・排気装置の装置の排出口	・ 装置各1点	除じん装置の性能確認	・ 測定 6	知理作業後	施工区画周辺又は敷地境界	・ 4方向各1点	—	・ 測定 7	知理作業後（7A養生中）	知理作業室内	・（ ）点	—	・ 測定 8	知理作業後	施工区画周辺又は敷地境界	・ 4方向各1点	—	・ 測定 9	知理作業後	知理作業室内	・（ ）点	—	・ 測定 10	撤去後1週間以降	調査対象室外部	・（ ）点	—		測定3	測定1,2,4,6,7,8	測定9,10	7Aペ 径の直径（mm）	25	25	・	試料の吸引流量（l/min）	・ 1	・ 5	・	試料の吸引時間（min）	・ 5	・ 120	・
除却対象建築物等	構 造	階 数	梁間（m）	桁行（m）	建築面積（㎡）	延 面 積（㎡）																																																																																																																																																												
材 料 名	調査方法（1材料あたりの試料数：3サンプル）																																																																																																																																																																	
	※ 定性分析																																																																																																																																																																	
	※ 定量分析																																																																																																																																																																	
	※ 定性分析																																																																																																																																																																	
	※ 定量分析																																																																																																																																																																	
	※ 定性分析																																																																																																																																																																	
	※ 定量分析																																																																																																																																																																	
測定名称	測定時期	測定場所	測定点（各施工箇所ごと）	備 考																																																																																																																																																														
・ 測定 1	知理作業前	知理作業室内	・（ ）点	—																																																																																																																																																														
・ 測定 2	知理作業前	施工区画周辺又は敷地境界	・ 4方向各1点	—																																																																																																																																																														
・ 測定 3	知理作業中	知理作業室内	・（ ）点	—																																																																																																																																																														
・ 測定 4	知理作業中	仕上り入口	・（ ）点	空気の流れを確認																																																																																																																																																														
・ 測定 5	知理作業中	集じん・排気装置の装置の排出口	・ 装置各1点	除じん装置の性能確認																																																																																																																																																														
・ 測定 6	知理作業後	施工区画周辺又は敷地境界	・ 4方向各1点	—																																																																																																																																																														
・ 測定 7	知理作業後（7A養生中）	知理作業室内	・（ ）点	—																																																																																																																																																														
・ 測定 8	知理作業後	施工区画周辺又は敷地境界	・ 4方向各1点	—																																																																																																																																																														
・ 測定 9	知理作業後	知理作業室内	・（ ）点	—																																																																																																																																																														
・ 測定 10	撤去後1週間以降	調査対象室外部	・（ ）点	—																																																																																																																																																														
	測定3	測定1,2,4,6,7,8	測定9,10																																																																																																																																																															
7Aペ 径の直径（mm）	25	25	・																																																																																																																																																															
試料の吸引流量（l/min）	・ 1	・ 5	・																																																																																																																																																															
試料の吸引時間（min）	・ 5	・ 120	・																																																																																																																																																															
<div>章 項 目</div> <div>1 一般共通事項</div> <div>① 適用基準等</div> <div>○工事写真の撮り方（改訂第三版）建築編</div> <div>○長野県営繕工事の手引き</div> <div>○建築物解体工事共通仕様書・同解説</div> <div>○公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）</div> <div>○建設副産物適正処理推進要綱（以下「推進要綱」という。）</div> <div>○建設工事公衆災害防止対策要綱 建築工事編</div> <div>○長野県建設リサイクル推進計画</div> <div>国土交通省大臣官房官庁営繕部監修</div> <div>長野県建設部施設監修</div> <div>国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（令和2年版）</div> <div>国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（令和4年版）</div> <div>平成14年5月30日改正</div> <div>平成5年1月12日建設省経建策第1号</div> <div>② 電気保安技術者</div> <div>※適用する</div> <div>・適用しない</div> <div>（1.3.3）</div> <div>3. 施工条件明示項目</div> <div>・</div> <div>（1.3.5）</div> <div>4. 引渡しを要するもの</div> <div>※引渡しを要するもの</div> <div>名 称</div> <div>仕 様 等</div> <div>備 考</div> <div>・現場説明書による</div> <div>⑤ 解体工事施工技士</div> <div>本工事を適切に施工管理するため、解体工事施工技士の選任等に配慮すること。</div>		<div>2 仮設工事</div> <div>① 足場その他</div> <div>足場を設ける場合、「手すり先行工法に関するガイドライン」について」（厚生労働省平成21年4月）の「手すり先行工法等に関するガイドライン」によるものとし、足場の組立、解体、変更の作業時及び使用時には、常時、すべての作業床について手すり、中さん</div>																																																																																																																																																																



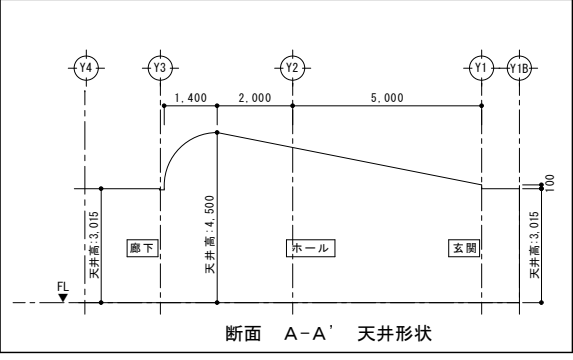
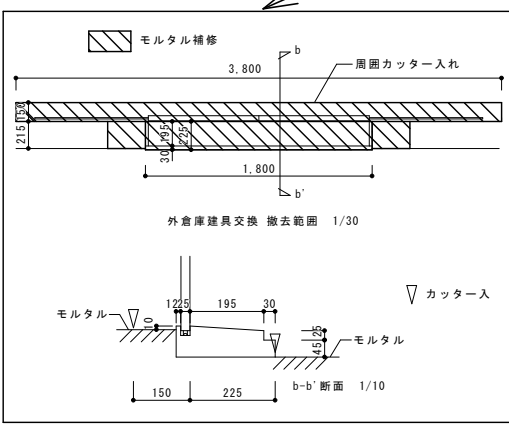
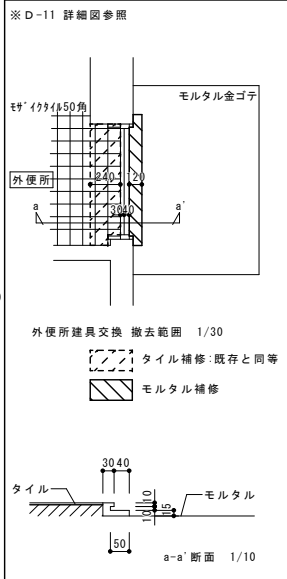
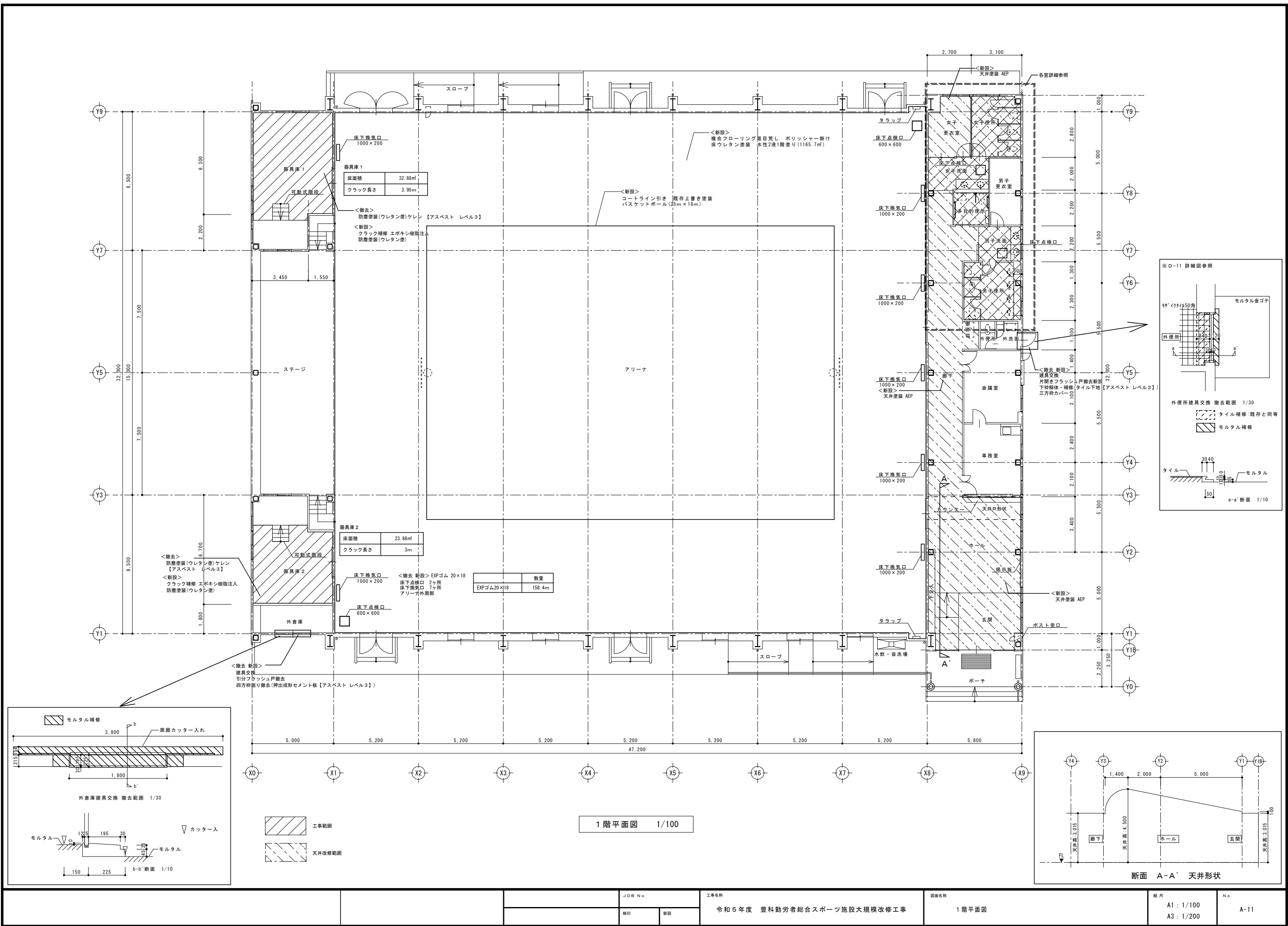
案内図



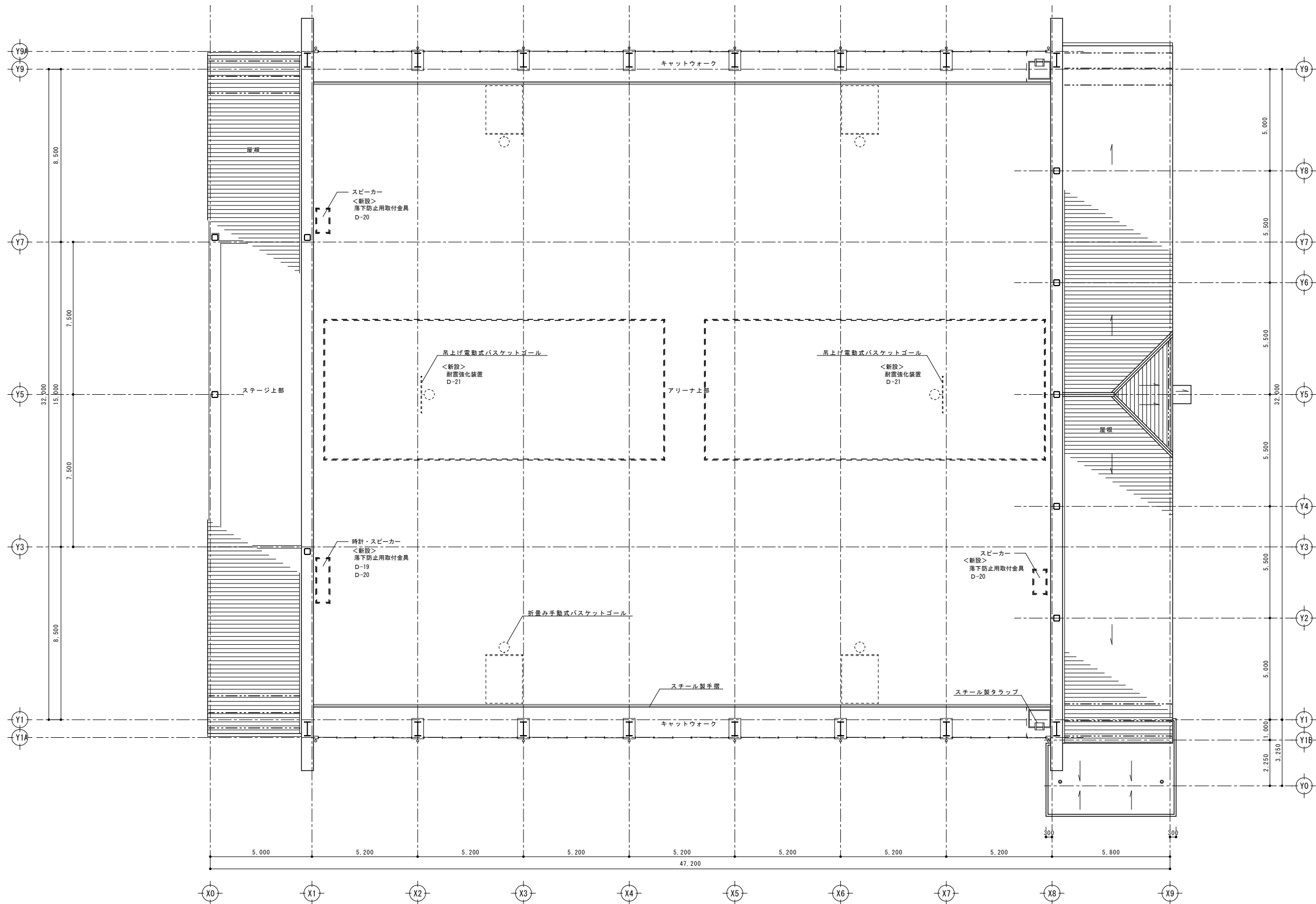
配置図 S=1/400

外部仕上表									
区 分	部 位		仕 上	区 分	部 位		仕 上		
屋根廻り	屋根	改修前	＜残置＞ 定尺フッ素樹脂塗装鋼板t0.5段葺、 アスファルトルーフィング22K品、木毛セメント板t25(見掛け部 着色品)、 ＜取外＞ カラーステンレス製システム換気棟 ＜取外＞ 雪止め77g/㎡、L=50×50×4(亜鉛メッキ品)FP塗装、取付金物FP塗、 ＜撤去＞ 雪止め 単体羽根型 溶融亜鉛メッキ塗装品	・外壁廻り	外壁	改修前	＜残置＞ 中空押出成形ﾎﾟﾘﾔﾐﾄﾞ板 t15 複層塗材E(一部ｽﾄﾗｲﾌﾞ 柄t18 複層塗材E)、 ＜一部解体＞ 中空押出成形ﾎﾟﾘﾔﾐﾄﾞ板 t15 複層塗材E《ﾌﾗﾍﾞｽﾄ ｾﾞﾙ #3》 ＜残置＞ 東西中央部:ﾌｯ素樹脂塗材鋼板t1.6(裏面ﾛｯｸｳｰﾙ吹付 t35)、＜撤去＞ 押出成形ﾎﾟﾘﾔﾐﾄﾞ板面・ﾌｯ素樹脂塗材鋼板面・ｶｯﾁ廻りｼｰﾘﾝｸﾞ《ﾌﾗﾍﾞｽﾄ ｾﾞﾙ #3》		
		改修後	＜新設＞ 高圧水洗 錆止塗装下地 フッ素樹脂塗料2回塗、 ＜再取付＞ カラーステンレス製システム換気棟 塗装 ＜再取付＞ 雪止め77g/㎡、 ＜新設＞ 錆止塗装 FP塗装、 ＜新設＞ 雪止め 単体羽根型 溶融亜鉛メッキ塗装品						
	軒樋・竖樋	改修前	＜撤去＞ 軒樋:ﾌｯ素樹脂塗装鋼板t0.5 W250×H150、 ＜取外し＞取付金物 ＜取外＞ 竖樋:WGP100A FP塗		外巾木	改修前	＜残置＞ コンクリート打放し仕上		
		改修後	＜新設＞ 軒樋:耐酸被覆鋼板t=0.5(芯材)、＜再取付＞取付金物#450(亜鉛メッキ品) ＜再取付＞ 竖樋(WGP100A) :ケレン後防錆処理 FP塗装						
	鼻隠・破風	改修前	＜残置＞ 南北鼻隠:1段目 フッ素樹脂塗装鋼板t1.6 2段目:中空押出成形セメント板t15 AEP塗装(アスファルトフェルト20K品) ＜残置＞ 東西破風:ﾌｯ素樹脂塗装鋼板t1.6(裏面ﾛｯｸｳｰﾙ吹付t35)	耐火被覆 外壁表面及び網縁: ロックウール吹付t=25			: せっこうボード t=9.5 (準不燃・QM-9828) : せっこうボード t=12.5以上 (不燃・NM-8619) : シーリングせっこうボード (準不燃・QM-9826) : 天井用化粧せっこうボード (準不燃・QM-0524)		
		改修後	＜新設＞ 高圧水洗、錆止塗装下地、フッ素樹脂塗料						
	軒天	改修前	＜残置＞ 無石棉セメントケイ酸カルシウム板t6 複層塗材E		ポーチ屋根	改修前	＜残置＞ 屋根:カラーステンレス溶接防水t0.4 木毛セメント板t25(アスファルトルーフィング22K品) ＜撤去＞ルーフトレン(ｽﾃｰﾙ防水用凍結防止ｷｬｯﾌﾟ 付き) ＜残置＞ 柱型・バラベット:ﾌｯ素樹脂塗材鋼板t1.6(裏面ﾛｯｸｳｰﾙ吹付 t35) 巾木・廻り縁:ステンレスt1.5HL(裏面ﾛｯｸｳｰﾙt35)		
		改修後	＜新設＞下地調整 複層塗材E ＜新設＞塩ビシート防水t1.5 断熱材バックアップt30 ＜新設＞塩ビ成型ドレンφ80φ						
内部仕上表									

	室 名		床	床レベル	巾 木	腰壁	壁	天 井	廻り縁	天井高	備 考
			仕上 下地				仕上 下地	仕上 下地	仕上		
	男子洗面	改修前	<残置> 長尺塩ビシート t2.5 <残置> モルタル金コテ下地 t30	±0	<撤去> 塩ビ H=60《ﾌﾗﾍﾞｽﾄ ｾﾞﾙ #3》	—	<撤去> ビニールクロス貼 <残置> PB t12.5+12.5	<残置> 化粧石膏ボード t9.5	<残置> 塩ビ	2727	
		改修後		±0	<新設> 塩ビ H=60 <新設> ステンレス見切り	<新設> ケイ酸カルウム板(化粧シート)t6貼 H=1,100	<新設> ビニールクロス貼	<新設> AEP塗装		2727	
	男子便所	改修前	<残置> 磁器質モザイクタイル 50角 ※一部撤去 <残置> モルタル下地 ※一部撤去《ﾌﾗﾍﾞｽﾄ ｾﾞﾙ #3》	-50	—	—	<残置> 耐凍害性タイル 100角貼 ※一部撤去《ﾌﾗﾍﾞｽﾄ ｾﾞﾙ #3》 <残置> シーリングボード12.5+12.5 ※一部撤去	<残置> 化粧石膏ボード t9.5	<残置> 塩ビ	2800	
		改修後	<新設> 長尺塩ビシート t2.5 <新設> モルタル金コテ下地 t47.5	±0	<新設> 長尺塩ビシート立上げH=100 <新設> 一部ｽﾃﾝﾚｽ巾木H=100		<新設> ケイ酸カルウム板(化粧シート)t6貼 目地シーリング <新設> 耐水石膏ﾎｰﾄﾞ貼t12.5(出入口面t9.5) 一部軽間65耐水石膏ﾎｰﾄﾞ12.5+12.5	<新設> AEP塗装	<新設> 塩ビ	2750	
	女子洗面	改修前	<残置> 長尺塩ビシート t2.5 <残置> モルタル金コテ下地 t30	±0	<撤去> 塩ビ H=60《ﾌﾗﾍﾞｽﾄ ｾﾞﾙ #3》	—	<撤去> ビニールクロス貼 <残置> PB t12.5+12.5	<残置> 化粧石膏ボード t9.5	<残置> 塩ビ	2727	
		改修後		±0	<新設> 塩ビ H=60 <新設> ステンレス見切り	<新設> ケイ酸カルウム板(化粧シート)t6貼 H=1,100	<新設> ビニールクロス貼	<新設> AEP塗装		2727	
	女子更衣室	改修前	<残置> 長尺塩ビシート t2.5 <残置> モルタル金コテ下地 t30	±0	<残置> 塩ビ H=60	—	<残置> ビニールクロス貼 <残置> PB t12.5+12.5	<残置> 化粧石膏ボード t9.5 ※一部撤去	<残置> 塩ビ	2727	
		改修後		±0				<新設> AEP塗装 <一部新設> 化粧石膏ボード t9.5		2727	
	女子便所	改修前	<撤去> 磁器質モザイクタイル 50角 ※一部撤去 <撤去> モルタル下地 ※一部撤去《ﾌﾗﾍﾞｽﾄ ｾﾞﾙ #3》	-50	—	—	<残置> 耐凍害性タイル 100角貼 <残置> シーリングボード12.5+12.5	<残置> 化粧石膏ボード t9.5	<残置> 塩ビ	2800	
		改修後	<新設> 長尺塩ビシート t2.5 <新設> モルタル金コテ下地 t47.5	±0	<新設> 長尺塩ビシート立上げH=100		<新設> ケイ酸カルウム板(化粧シート)t6貼 目地シーリング <新設> 耐水石膏ﾎｰﾄﾞ貼t9.5※一部耐水石膏ボード貼t12.5	<新設> AEP塗装	<新設> 塩ビ	2750	
	多目的便所	改修前	<撤去> 長尺ビニル床シート t2.5《ﾌﾗﾍﾞｽﾄ ﾀｲﾌﾟ3》 <残置> モルタル金コテ下地 t30	±0	<撤去> 木製 H=200 ※一部残置	—	<残置> VP塗装 ※一部撤去 <残置> シーリングボード12.5+12.5 ※一部撤去	<残置> 化粧石膏ボード t9.5	<残置> 塩ビ	2700	
		改修後	<新設> 長尺塩ビシート t2.5	±0	<新設> 長尺塩ビシート立上げH=100 <新設> 木製巾木:OP塗装		<新設> ケイ酸カルウム板(化粧シート)t6貼 目地シーリングノ一部VP塗装 <新設> 耐水石膏ボード貼t12.5ノ一部PB t12.5+12.5(2重張り)	<新設> AEP塗装	<新設> 塩ビ	2700	
	アリーナ	改修前	<残置> 複合フローリングt18(ｶﾊﾞｰ被t6)ウレタン塗 <残置> 捨貼ラワンT-I合板t15 鋼制床組下地(組床式)	±0	<残置> 集成材H=100ﾎﾙﾋﾞ塗	<残置> 難燃羽目板 t18(塗装品) <残置> ラワンT-I合板t9捨張	<残置> 吸音複合板t25 VP塗装	<残置> 着色木毛ﾎﾝﾄﾞ板 t25、小屋裏ﾌﾗｯｸﾞ 鉄骨部OP塗	<残置> 木製H=30ﾎﾙﾋﾞ塗 笠木木製 OP塗	—	
		改修後	<新設> コートライン引き(バスケットボール) <新設> ウレタン塗装 水性2液1階塗り	±0							
	器具庫1・器具庫2	改修前	<撤去> 防塵塗装(ウレタン系)《ﾌﾗﾍﾞｽﾄ ｾﾞﾙ #3》 <残置> モルタル金コテ下地 t30	±0、+1000	<残置> タモ集成材H=100 OP塗		<残置> 難燃処理シナ合板t5.5 OP塗装 <残置> ラワンT-I合板 t9下張	<残置> 難燃処理シナ合板t5.5 OP塗装	<残置> 塩ビ	3400(2400)	
		改修後	<新設> 防塵塗装(ウレタン系) <新設> クラック部:エポキシ樹脂注入	±0、+1000						3400(2400)	
	廊下	改修前	<残置> 長尺塩ビシート t2.5 <残置> モルタル金コテ下地 t30	±0	<残置> 木製H=100 OP塗		<残置> PB t12.5+12.5 <残置> VP塗装	<残置> ロックウール吸音板t12 ストライプ柄 <残置> PB t9.5下張	<残置> 塩ビ		
		改修後		±0				<新設> AEP塗装			
	玄関・ホール	改修前	<残置> 長尺塩ビシート t2.5 <残置> モルタル金コテ下地 t30	玄関-100 ±0	<残置> 木製H=100 OP塗		<残置> PB t12.5+12.5 <残置> VP塗装	<残置> ロックウール吸音板t12 ストライプ柄 ※一部R張 <残置> PB t9.5下張 ※一部R張	<残置> 塩ビ		
		改修後		玄関-100 ±0				<新設> AEP塗装			
	外倉庫	改修前	<残置> モルタル金ゴテ t30 ※一部撤去	-400		<残置> コンクリート打放し	<残置> 中空押出成形セメント板 t=15(素地仕上) ※一部撤去	<残置> 無石棉セメントケイ酸カルシウム板 t=6(目透し)	<残置> 塩ビ	2600	
		改修後	<一部新設>モルタル金ゴテ	-400			<一部新設>中空押出成形セメント板 t=15(素地仕上)			2600	
	外便所	改修前	<残置> 磁器質モザイクタイル 50角 ※一部撤去 <残置> モルタル金コテ下地 t30 ※一部撤去《ﾌﾗﾍﾞｽﾄ ｾﾞﾙ #3》	-500		<残置> 耐凍害性タイル100角貼 <残置> モルタル塗下地	<残置> 耐凍害性タイル100角貼 <残置> シーリングボード12.5+12.5下張	<残置> 化粧石膏ボード t9.5	<残置> 塩ビ	2750	
		改修後	<一部新設> 磁器質モザイクタイル 50角 <一部新設> モルタル金コテ下地	-500						2750	



1 階平面図 1/100

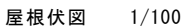


工事範囲

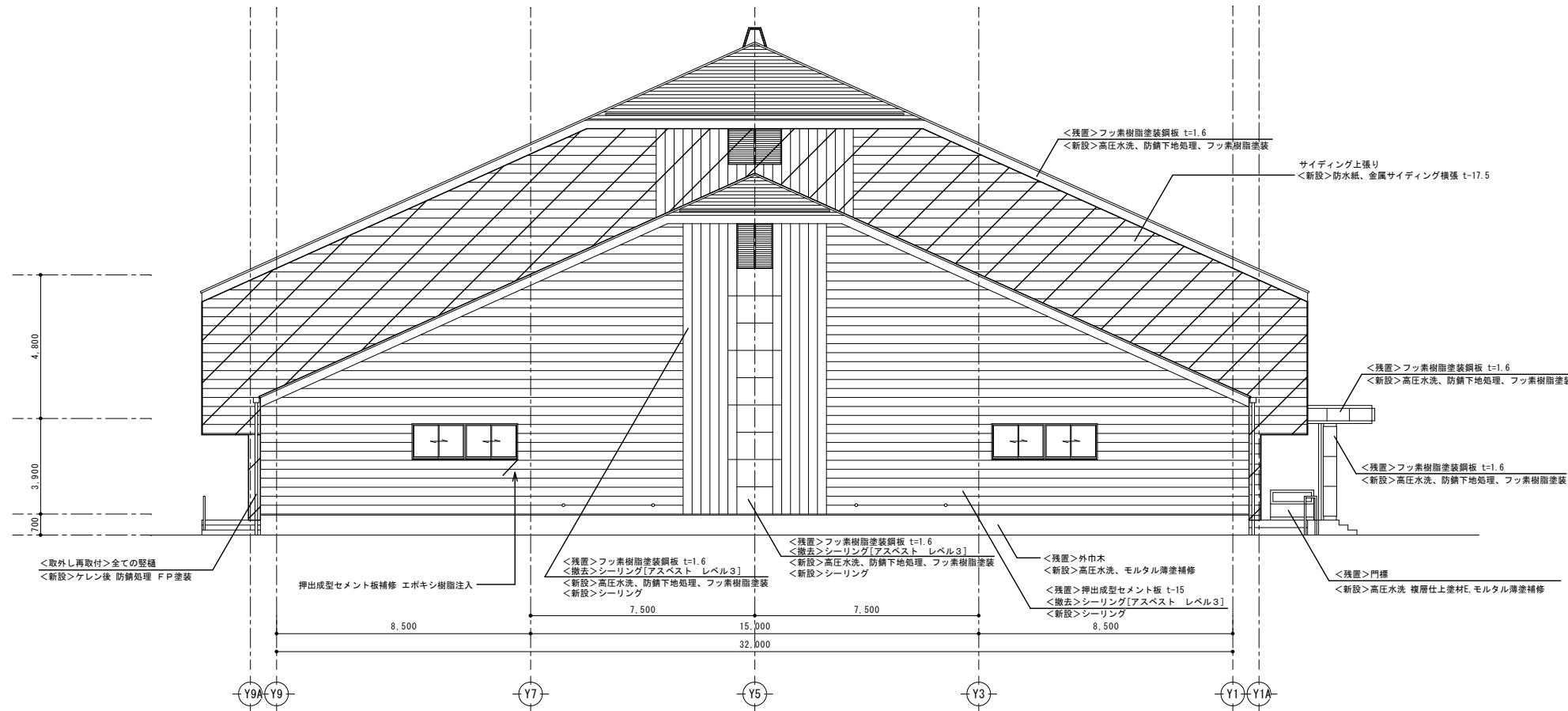
吹抜け部平面図 1/100

		JOB No.		工事名称 令和5年度 豊科勤労者総合スポーツ施設大規模改修工事	図面名称 吹抜け部平面図	縮尺 A3 : 1/200 A1 : 1/100	No. A-12
		校印	製図				

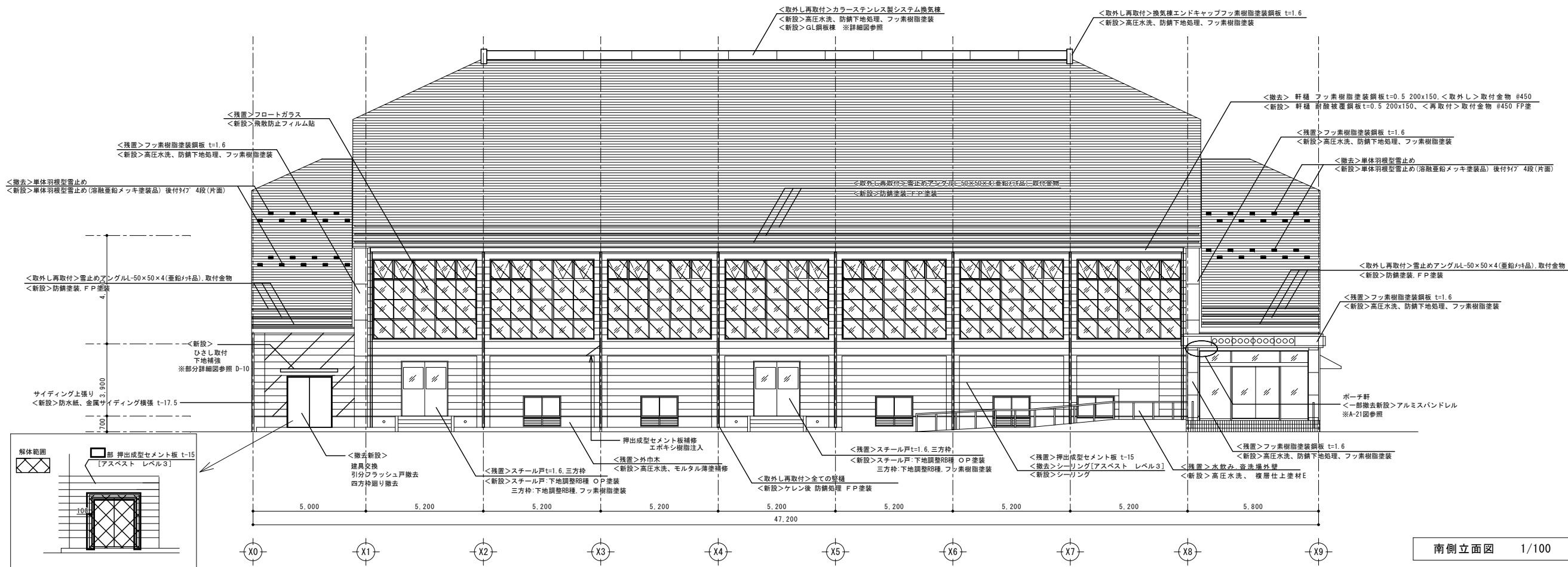




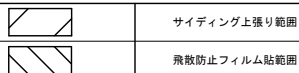
A-13

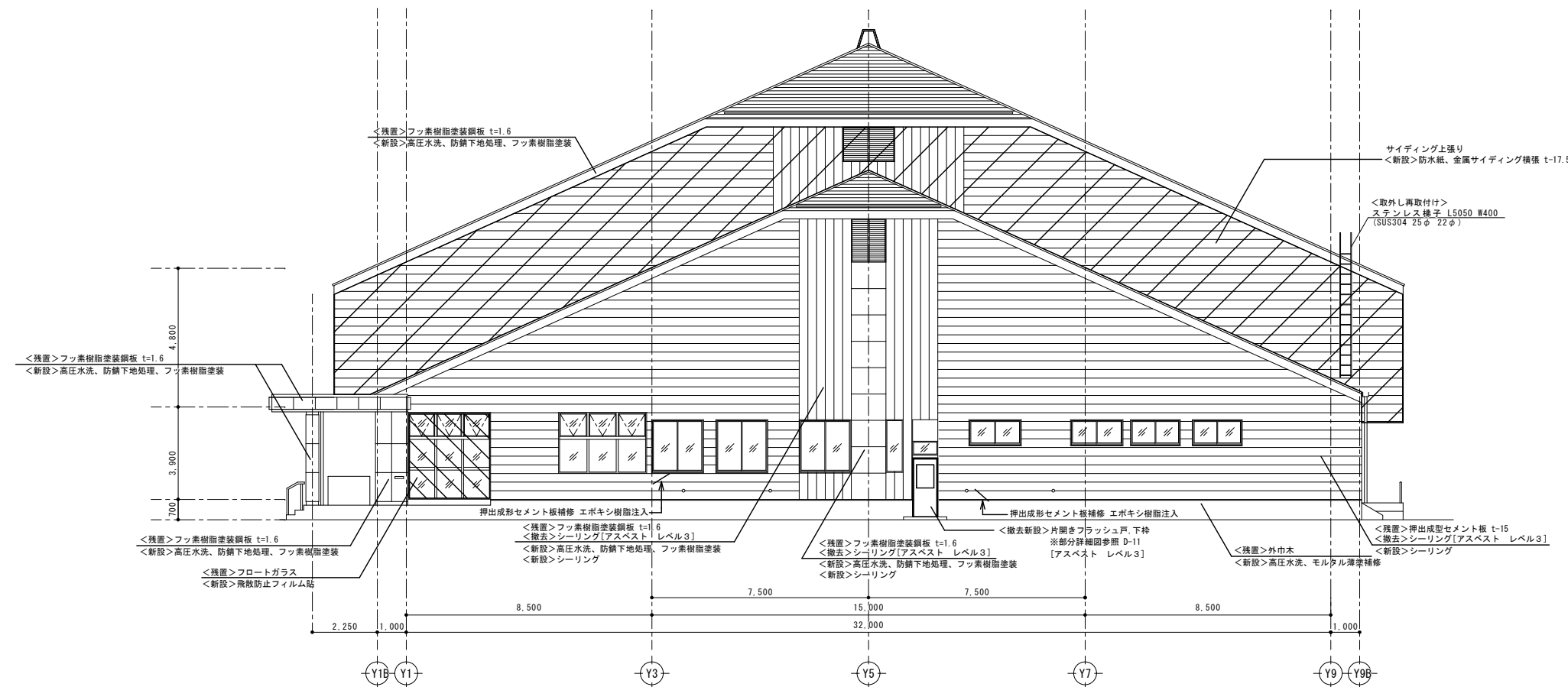


西側立面図 1/100

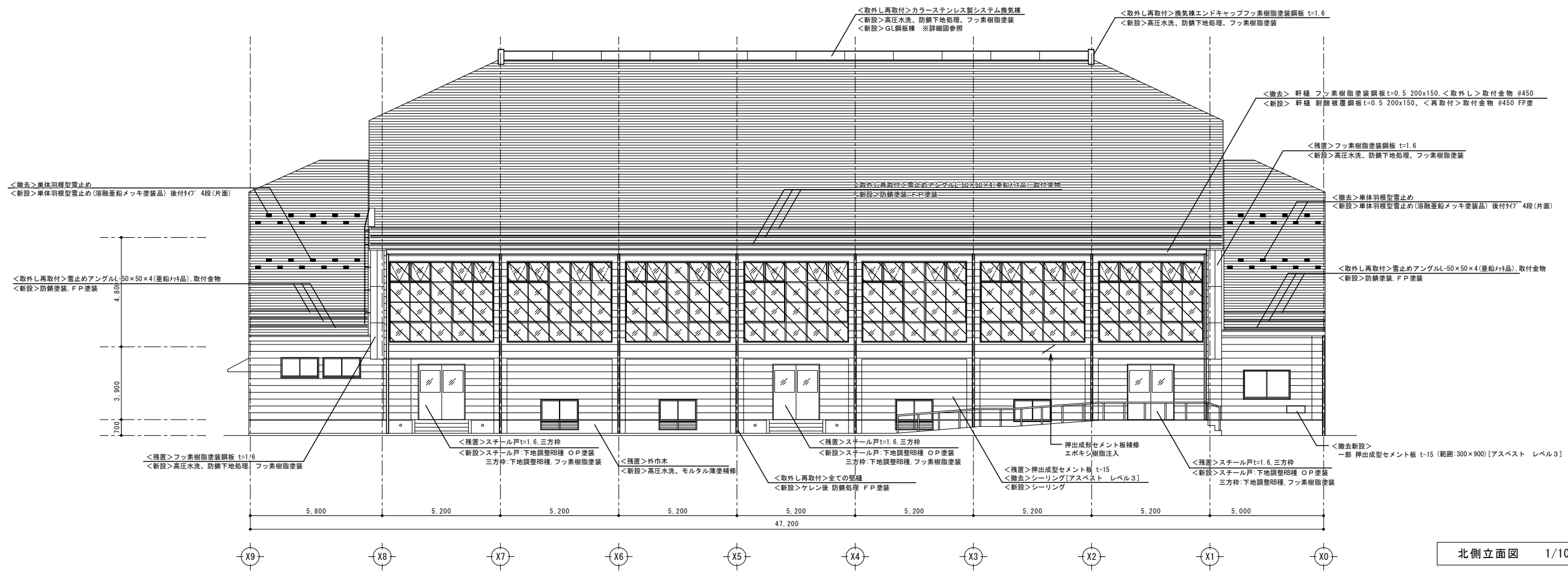


南側立面図 1/100



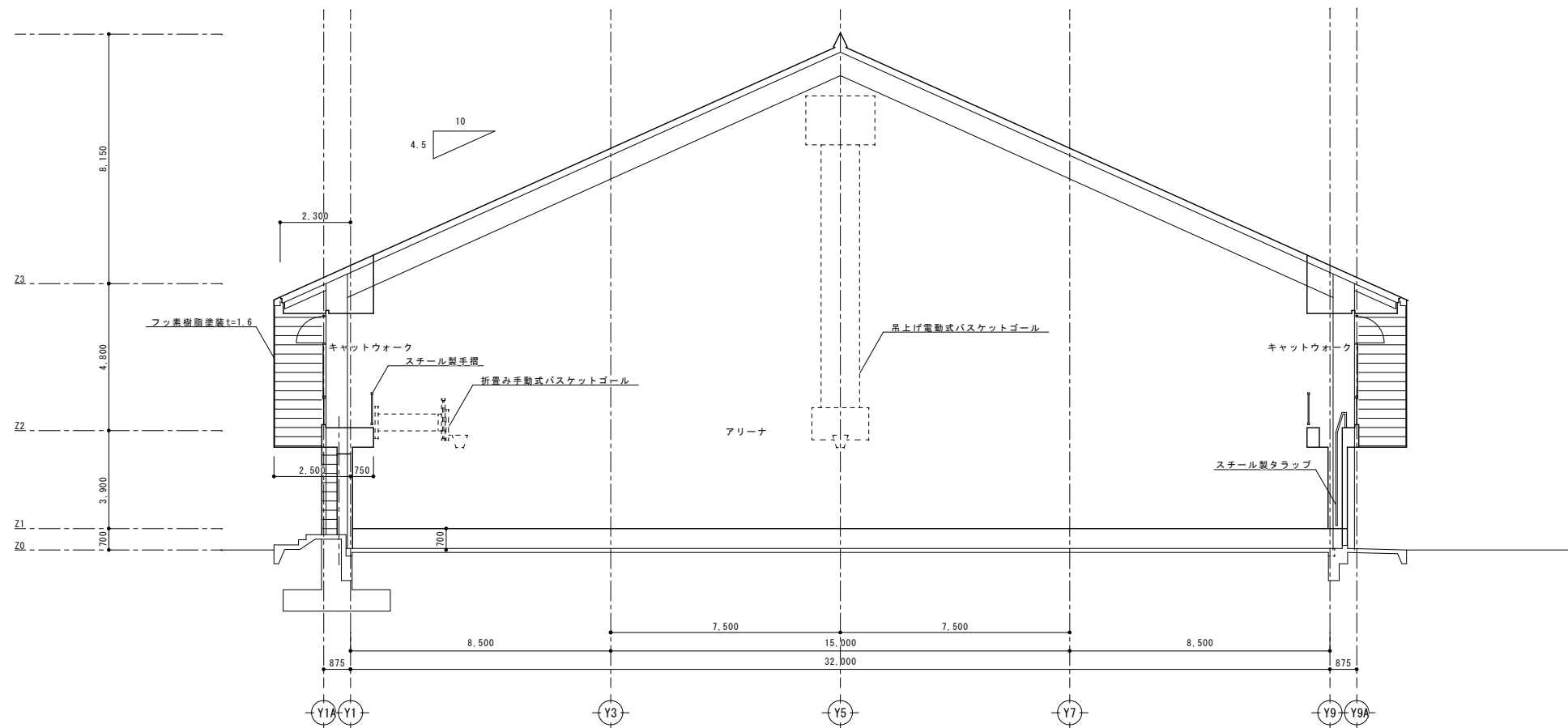


東側立面図 1/100

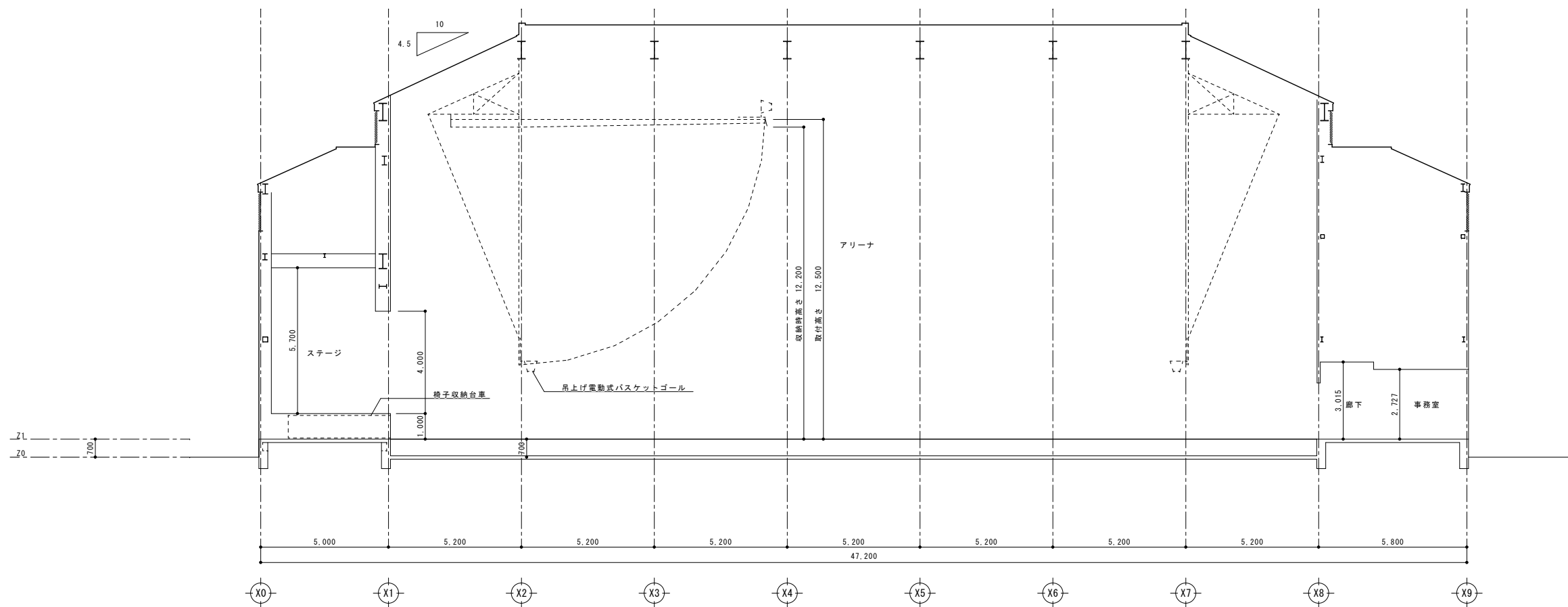


北側立面図 1/100

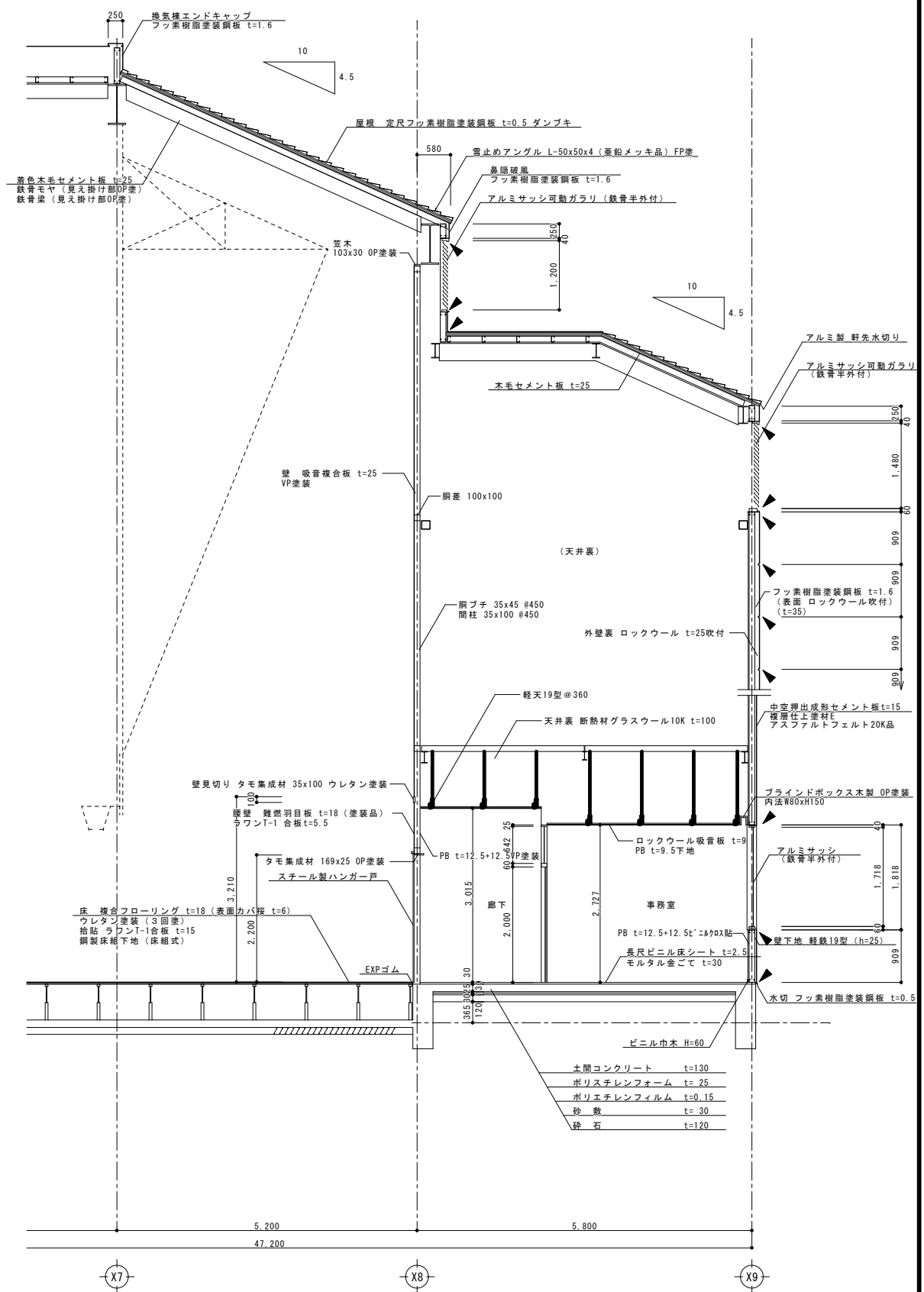
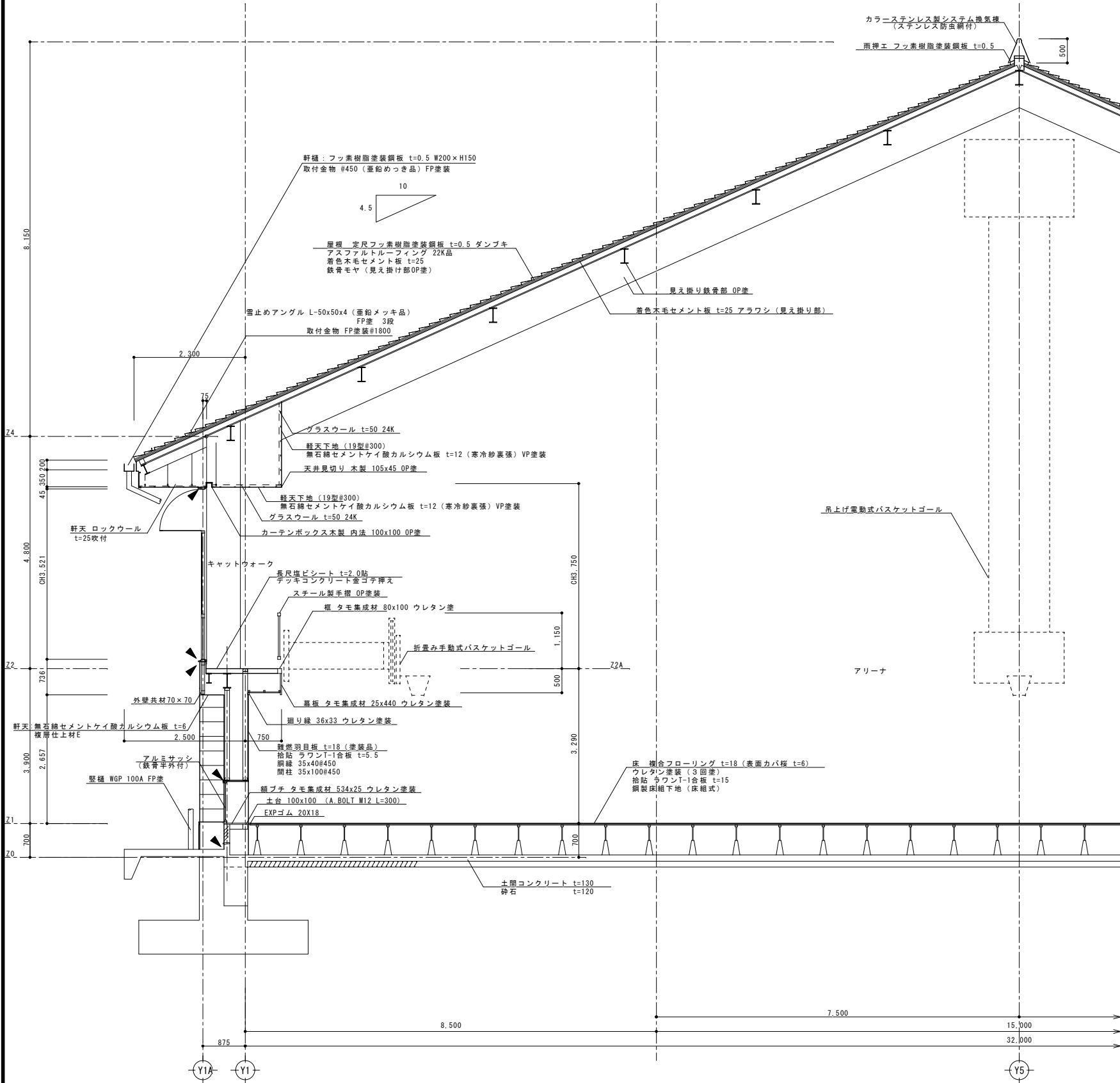
		JOB No.		工事名称		図面名称		縮尺		No.	
		棟印		製図		令和5年度 豊科勤労者総合スポーツ施設大規模改修工事		立面図2		A1 : 1/100 A3 : 1/200	
										A-15	



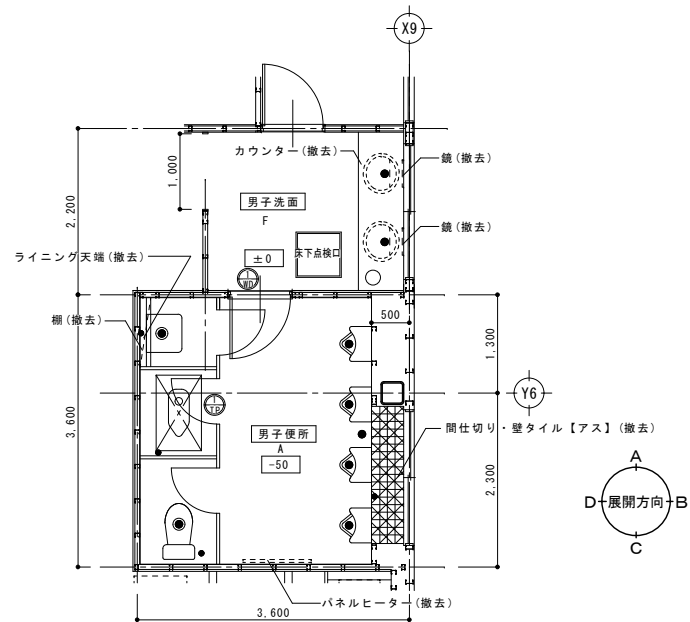
南～北 断面図 1/100



東～西 断面図 1/100



改修前

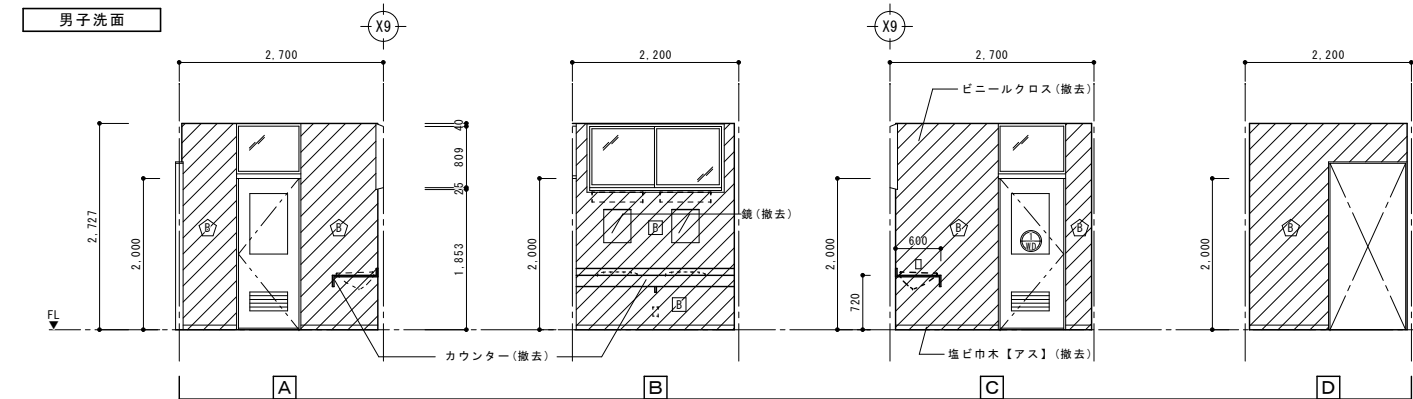
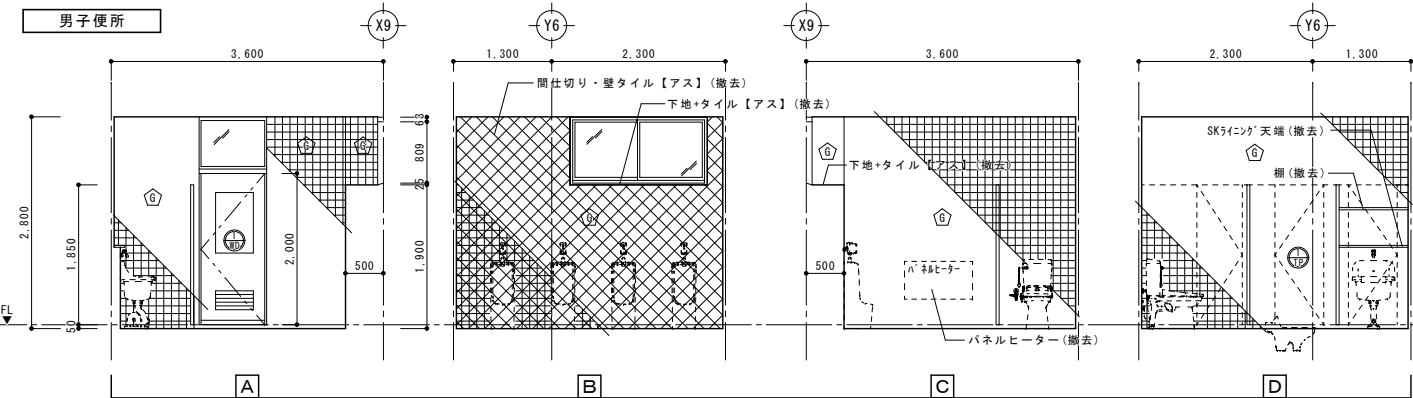


改修前平面図 S : 1 / 50

凡 例	
A	トイレ床 : モルタル下地 磁器質モザイクタイル50角
B	石膏ボード t=12.5+12.5 下地 ビニルクロス
C	石膏ボード t=9.5+シーシングボード t=9.5 下地 耐凍害性タイル100角張
D	モルタル下地耐凍害性タイル100角
E	モルタル下地磁器質モザイクタイル50角
F	洗面床 : モルタル金ゴテ下地 t=30 長尺塩ビシートt=25
G	シーシングボード t=12.5+t=12.5 下地 耐凍害性タイル100角
	経間W65下地
	経鉄19型 (h=25) 下地

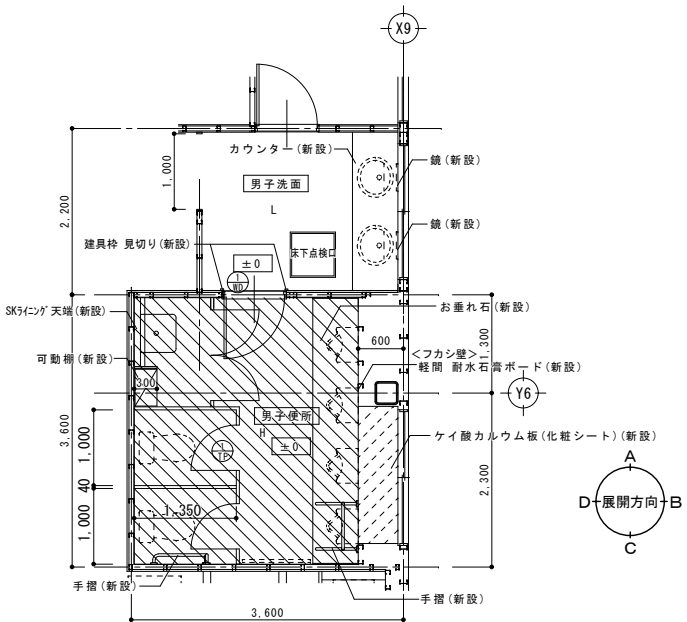
	床 : スラブ撤去範囲 【アス レベル3】
	壁 : 仕上材・下地とも撤去範囲 【アス レベル3】
	壁 : 仕上材・巾木撤去範囲 (巾木【アス レベル3】)
	トイレパーテーション解体撤去
	建具撤去
	【アス】 アスベスト含有建材

穴埋め補修			
●	床スラブ	7.5φ	4箇所
●	床スラブ	10.0φ	7箇所
●	床スラブ	12.5φ	2箇所



改修前展開図 S : 1 / 50

改修後



改修後平面図 S : 1 / 50

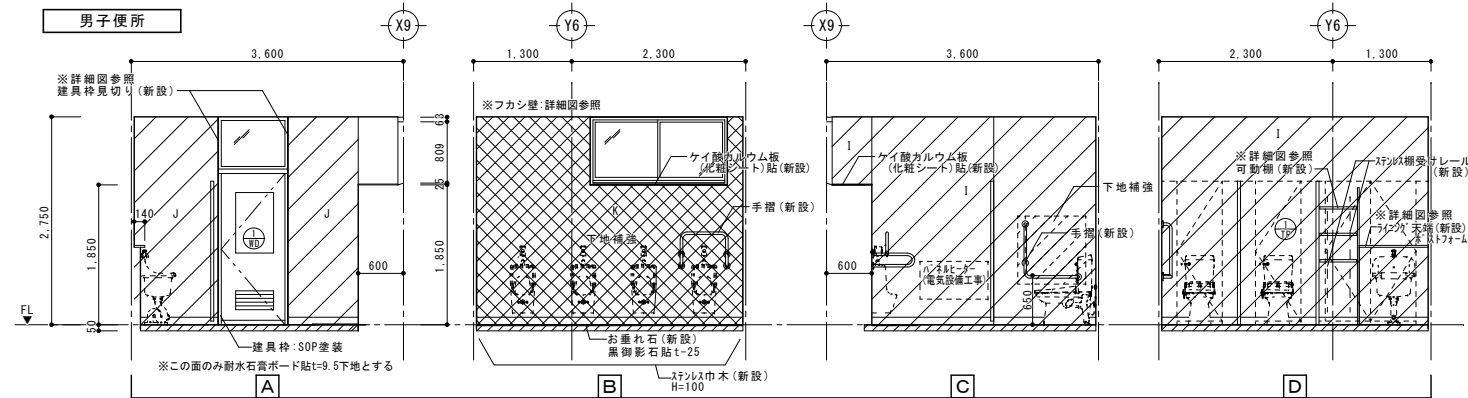
男子便所 改修後

凡 例	
H	長尺塩ビシートt=2.5 モルタル金ゴテ下地t=47.5 一部2x3リットル(74x74x74)巾木 : 長尺塩ビシート立上げ H=100、お重石部のみステンレス巾木H=100
I	ケイ酸カルウム板(化粧シート)貼 耐水石膏ボード貼t=12.5下地
J	ケイ酸カルウム板(化粧シート)貼 耐水石膏ボード貼t=9.5下地
K	ケイ酸カルウム板(化粧シート)貼、経間65 耐水石膏ボード12.5+12.5下地
天井	A E P 塗装、塩ビ廻り縁
備考	<新設>トイレパーテーション、建具 ※枠既存再塗装
	紙巻器×2、手摺×2ヶ所、ポストフォーム可動棚、お重れ石 : 黒御影石貼t=25
	帽子掛け(新設)×2、荷物フック(新設)×2

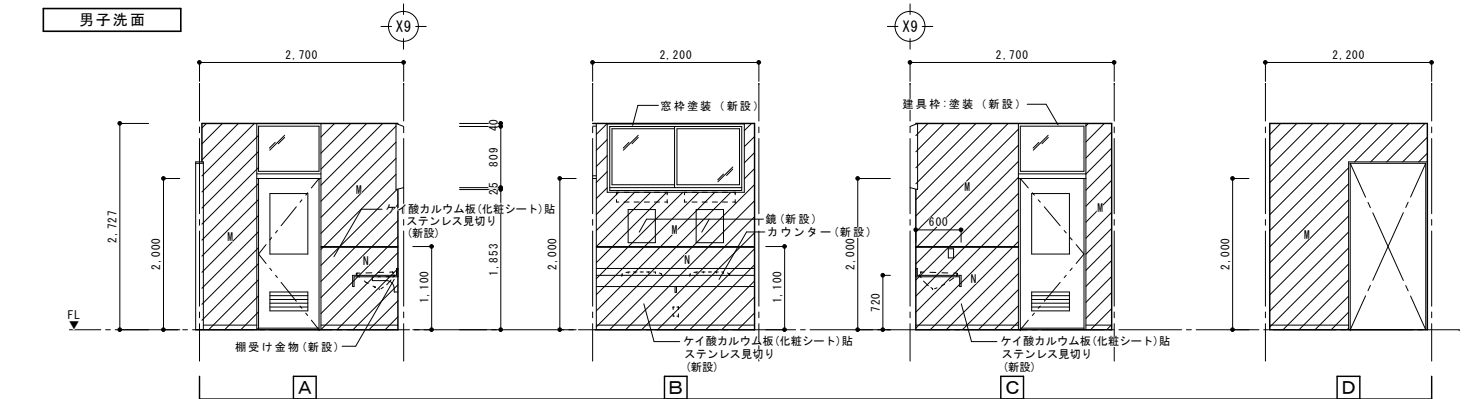
男子洗面 改修後

凡 例	
L	床 : 既存のまま ソフト巾木 H=60
M	ビニルクロス貼
N	ケイ酸カルウム板(化粧シート)貼 ステンレス見切り
天井	A E P 塗装
備考	<新設>カウンター、棚受け金物200x350 1ヶ所、鏡×2

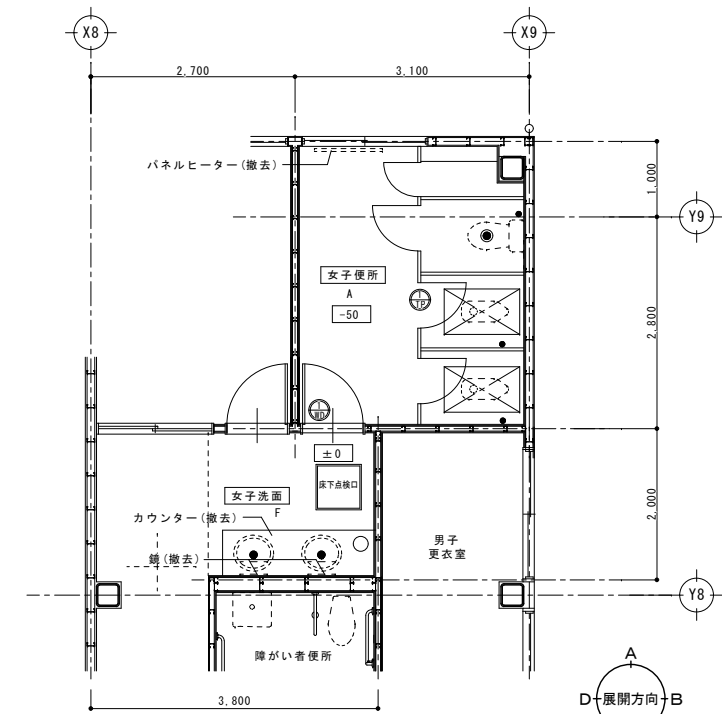
	床 : 仕上材・モルタル下地とも新設範囲
	壁 : 仕上材・耐水石膏ボード下地 新設範囲
	壁 : 仕上材・経間65 耐水石膏ボード下地とも 新設範囲
	壁 : 仕上材・耐水石膏ボード下地 新設範囲
	トイレパーテーション 2,080×1,350×1,900 / 1,440×1,000×1,900



建具枠 : 塗装

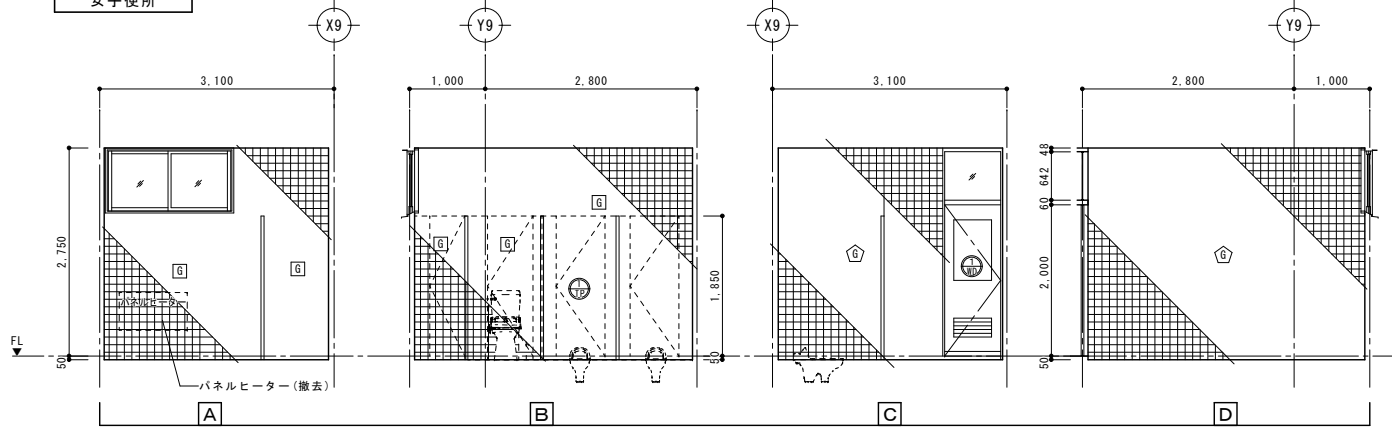


改修後展開図 S : 1 / 50

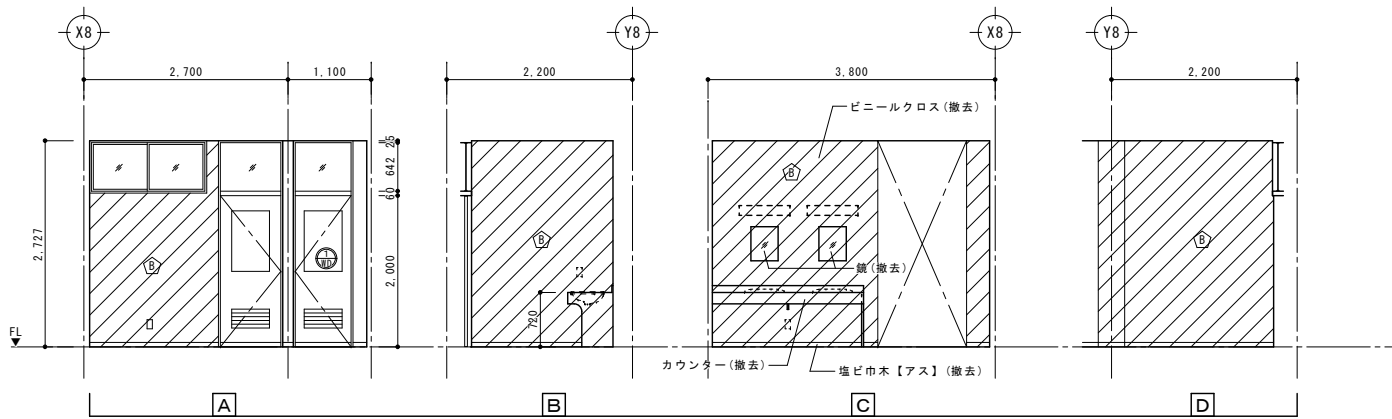


改修前平面図 S : 1 / 50

女子便所



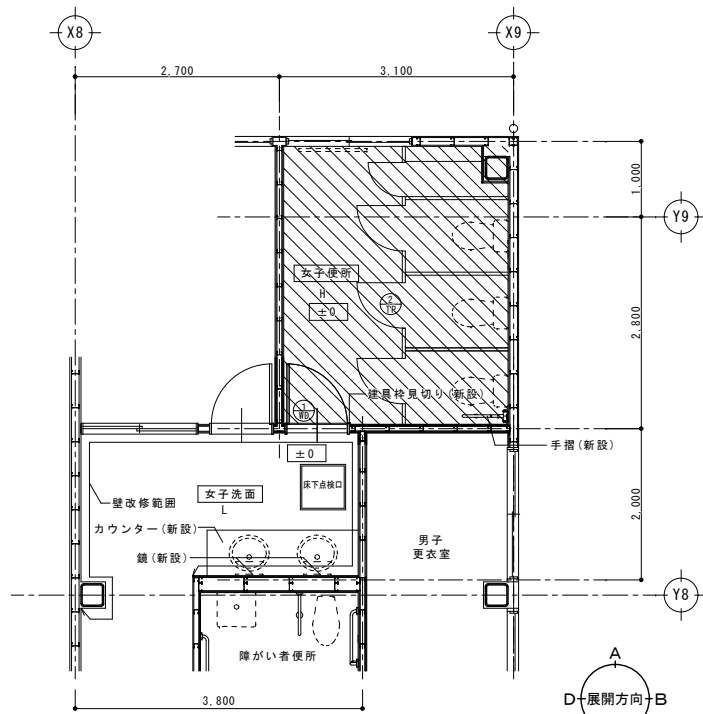
女子洗面



改修前展開図 S : 1 / 50

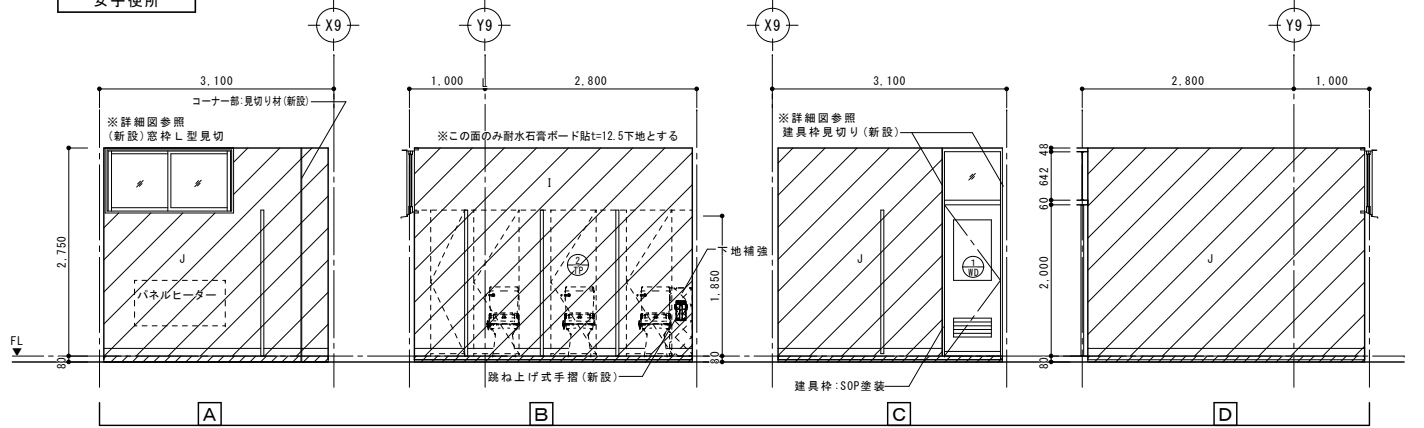
凡 例	
A	トイレ床：モルタル下地 磁器質モザイクタイル50角
B	石膏ボード t=12.5+12.5 下地 ビニルクロス
C	石膏ボード t=9.5+シーリングボード t=9.5 下地 耐凍害性タイル100角張
D	モルタル下地耐凍害性タイル100角
E	モルタル下地磁器質モザイクタイル50角
F	洗面床：モルタル金ゴテ下地 t=30 長尺塩ビシートt=25
G	シーリングボード t=12.5+t=12.5 下地 耐凍害性タイル100角
経間W65下地	
経鉄19型 (h=25) 下地	
床スラブ撤去範囲 【アス レベル3】	
壁：仕上材・巾木撤去範囲 (巾木【アス レベル3】)	
トイレレバー・レバー・レバー撤去	
建具撤去	
【アス】アスベスト含有建材	

穴埋め補修			
●	床スラブ	75φ	3箇所
●	床スラブ	100φ	2箇所
●	床スラブ	125φ	1箇所

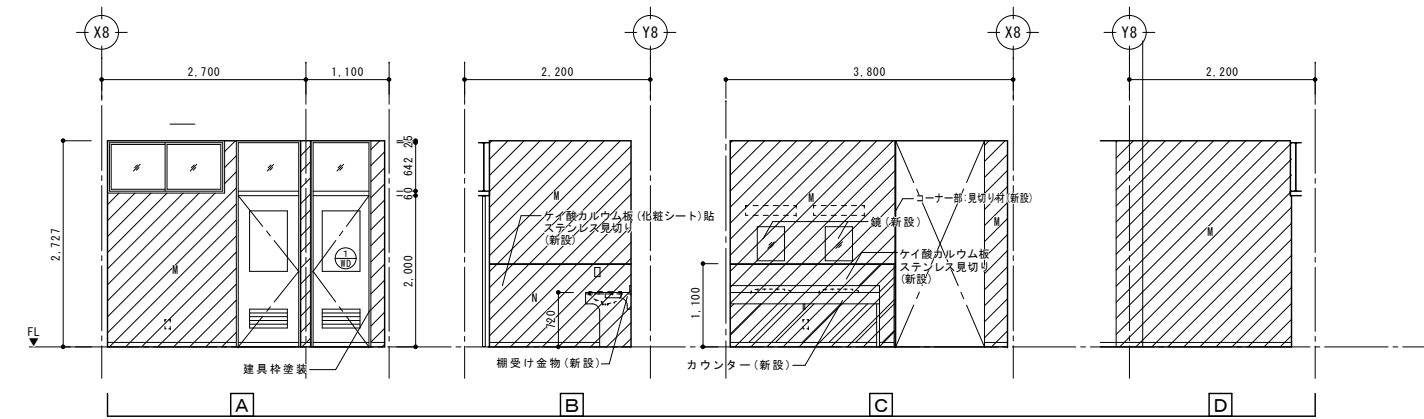


改修後平面図 S : 1 / 50

女子便所



女子洗面



改修後展開図 S : 1 / 50

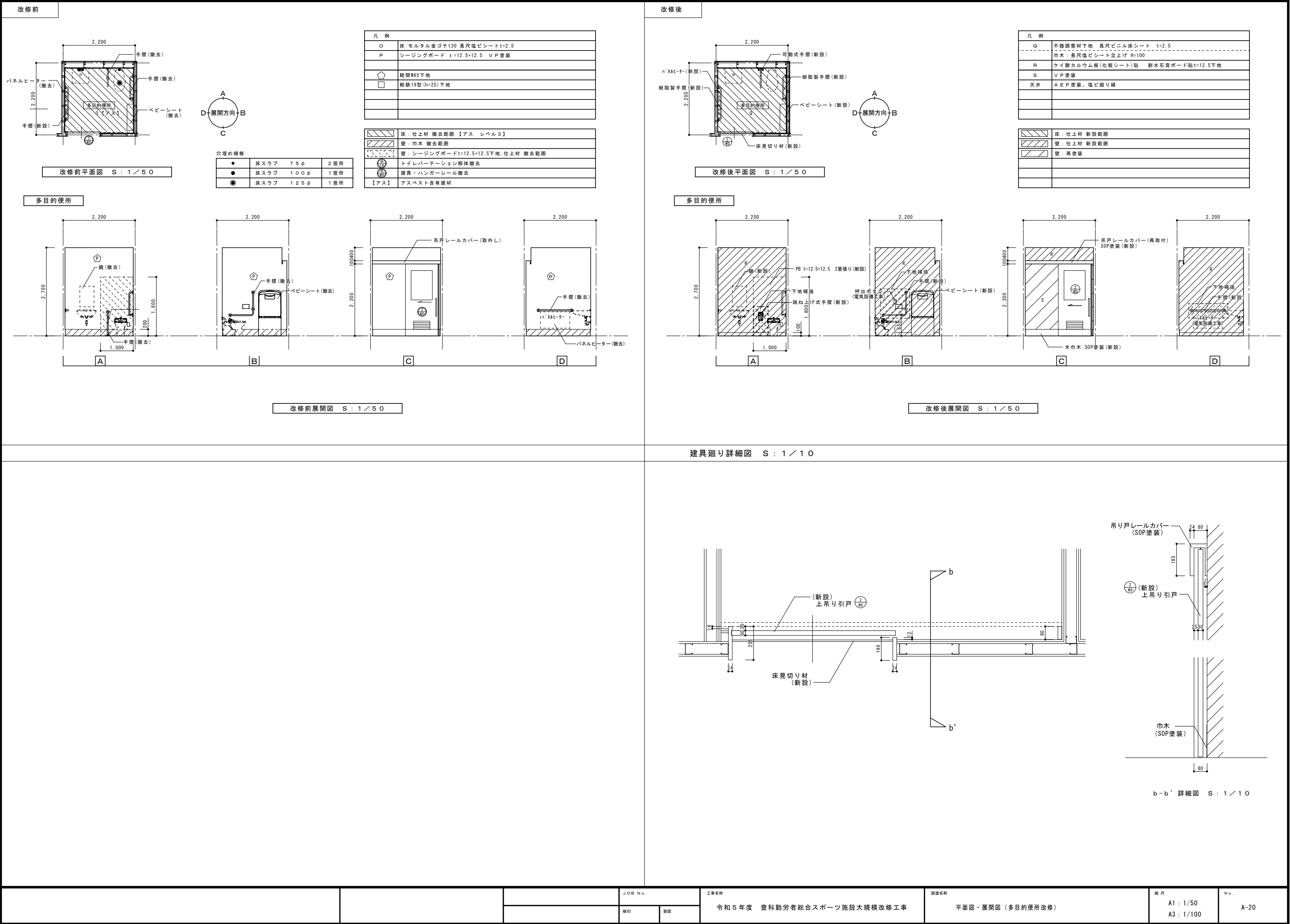
女子便所 改修後

凡 例	
H	長尺塩ビシートt=2.5 モルタル金ゴテ下地t=47.5 一部コンクリート(ワイヤメッシュ) 巾木：長尺塩ビシート立上げ H=10000
I	ケイ酸カルウム板(化粧シート)貼 耐水石膏ボード貼t=12.5下地
J	ケイ酸カルウム板(化粧シート)貼 耐水石膏ボード貼t=9.5下地
天井	
AEP塗装、塩ビ張り紙	
備考	
<新設>トイレレバー・レバー、建具 ※枠既存再塗装、枠見切り材	
紙巻器×3、手摺×2ヶ所、窓枠L型見切	
帽子掛け(新設)×3、荷物フック(新設)×3	

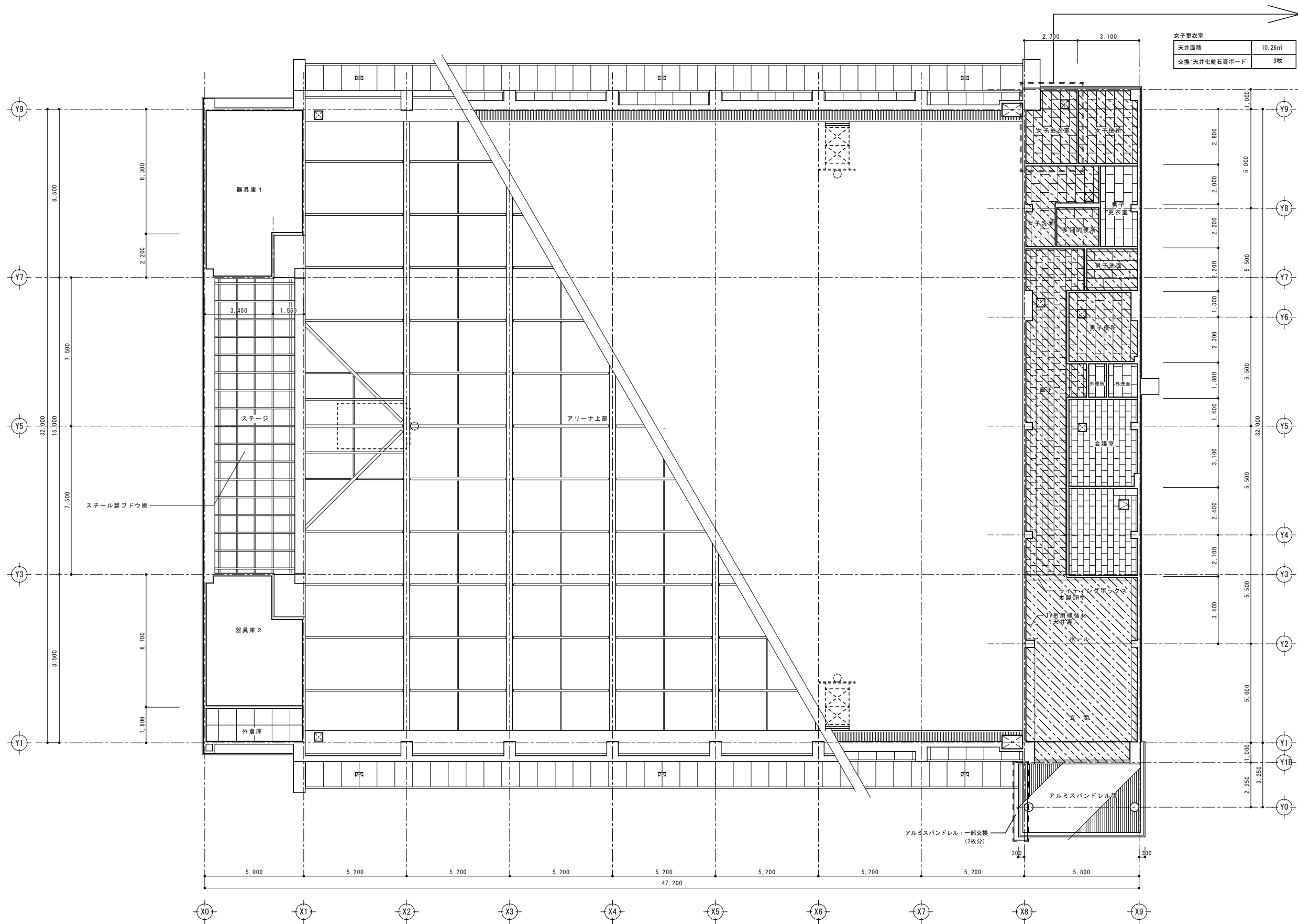
女子洗面 改修後

凡 例	
L	床：既存のまま ソフト巾木 H=60
M	ビニルクロス貼
N	ケイ酸カルウム板(化粧シート)貼 ステンレス見切り
天井	AEP塗装
備考	
<新設>カウンター、棚受け金物200x350 1ヶ所、鏡×2	

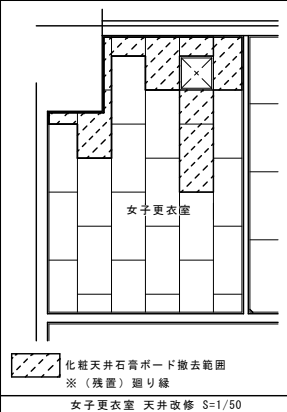
床：仕上材・モルタル下地とも新設範囲	
壁：仕上材・耐水石膏ボード下地 新設範囲	
壁：仕上材 新設範囲	
トイレレバー・レバー 3,670×1,360×1,900	







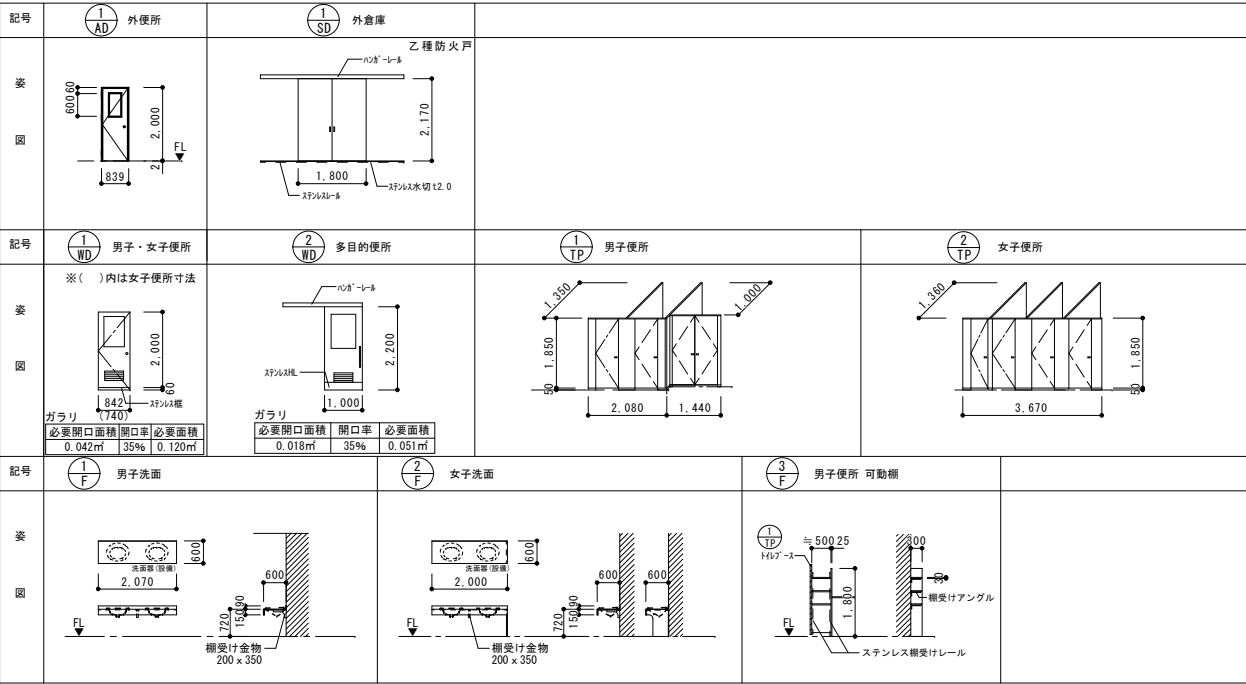
女子更衣室	
天井面積	10.26㎡
交換:天井化粧石膏ボード	9枚



天井改修範囲

玄関・ホール・廊下	
天井塗面積	94.82㎡
男子便所	
天井塗面積	12.96㎡
男子洗面	
天井塗面積	5.94㎡
女子便所	
天井塗面積	11.78㎡
女子洗面	
天井塗面積	11.12㎡
多目的便所	
天井塗面積	4.84㎡

天井伏図 1/100



記号	建具分類	数量	寸法(mm)		枠見込(mm)	ガラス	材質	金物	備考
			幅(W)	高さ(H)		厚さ(mm)			
1 AD	片開きフラッシュ戸	1	839	2,000	80	型板ガラス t4	アルミ押出成形材 シルバー	丁番・シリンダーモノロック・DC	上部・縦部 カバー工法
1 SD	引き分けフラッシュ戸	1	1,800	2,170	40(枠200)		スチール戸t1.6 OP塗装 三方枠 フッ素樹脂塗装鋼板t2.3	SUSレール・ブラケット・中央戸当り SUS引手・シリンダーカム錠	
1 WD	片開きフラッシュ戸	2	842 (740)	2,762	36	欄間 フロートt5 型板ガラス t4	ポリ合板フラッシュ 小ロガリOP塗装	モノロック(空錠) DC 蝶番3枚 戸当	※( )内寸法は女子便所建具
2 WD	引込フラッシュ戸	1	1,000	2,200	40	型板ガラス t4	ポリ合板フラッシュ 小ロガリOP塗装	非常開放・表示付錠(レバー式) 指詰め防止ゴム・自動開閉式ハガーレール 押棒(SUS)L-600	
1 TP	トイレパーテーションフラッシュ戸	1	2,080×1,350 1,440×1,000	1,900 1,900	40		ポリ合板フラッシュ 建具 小ロ OP塗装	非常開放錠、ラバトリーヒンジ、荷物フック スリッド巾木・笠木、サポート、帽子掛等一式	
2 TP	トイレパーテーションフラッシュ戸	1	3,670×1,360	1,900	40		ポリ合板フラッシュ 建具 小ロ OP塗装	非常開放錠、ラバトリーヒンジ、荷物フック スリッド巾木・笠木、サポート、帽子掛等一式	
1 F	男子洗面カウンター	1	2,070	奥行600			メラミン化粧板	棚受金物 ステンレスアングル	新設 シーリング
2 F	女子洗面カウンター	1	2,000	奥行600			メラミン化粧板	棚受金物 ステンレスアングル	新設 シーリング
3 F	男子便所 可動棚	1	500	奥行300			ポストフォーム	棚受金物 ステンレス棚受けレール	

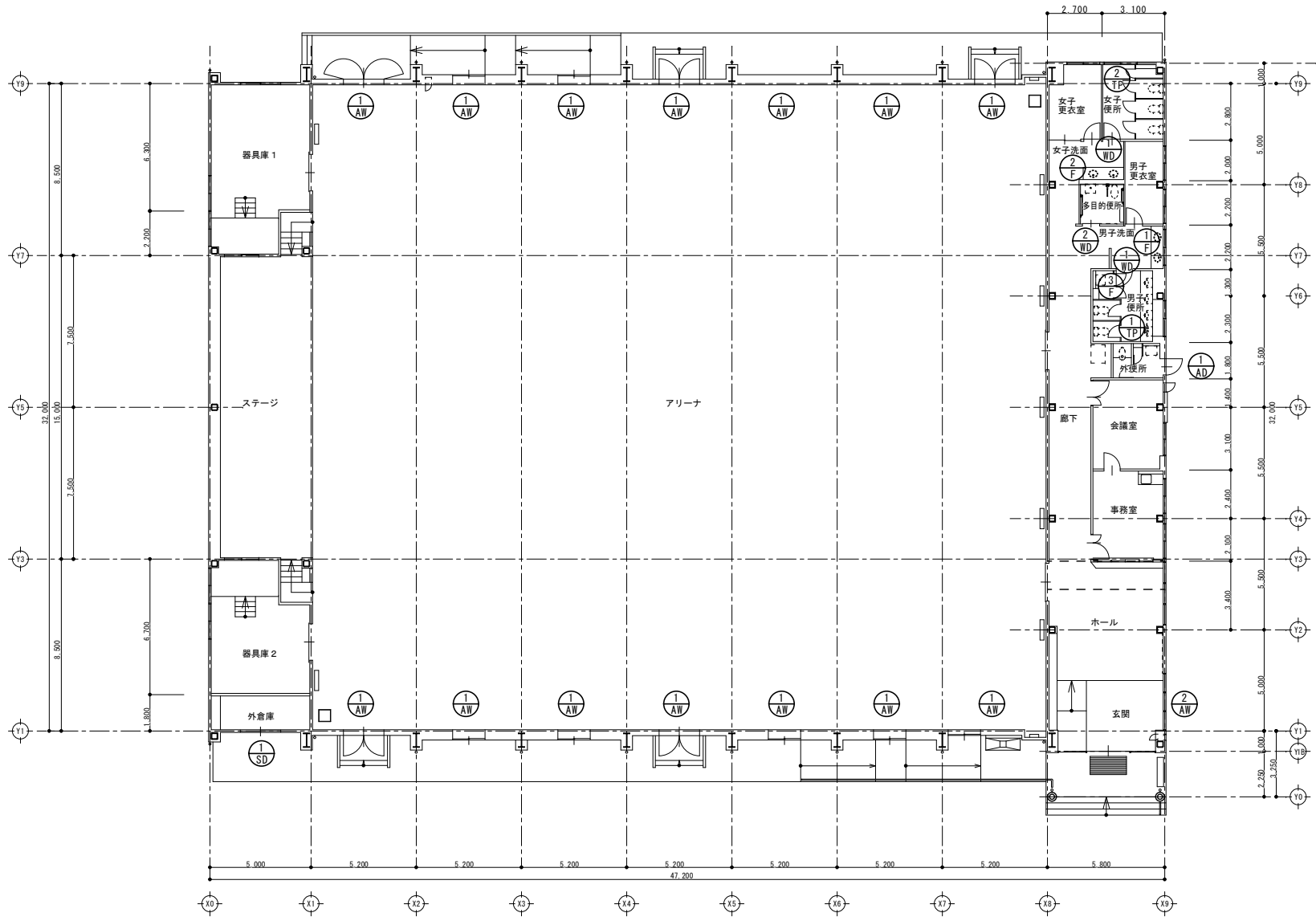
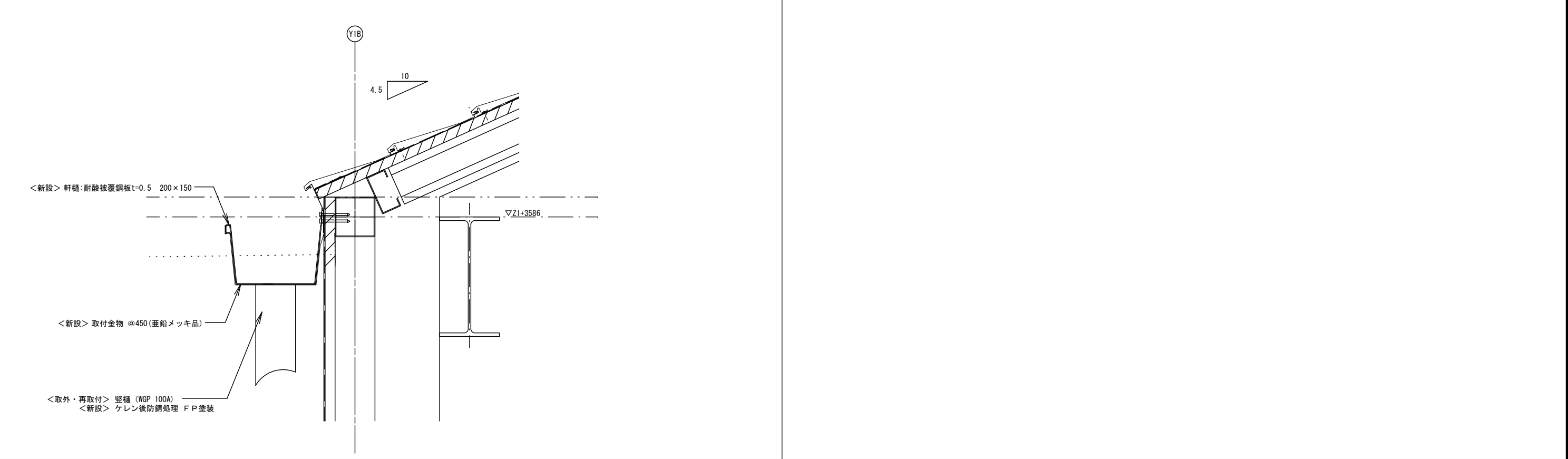
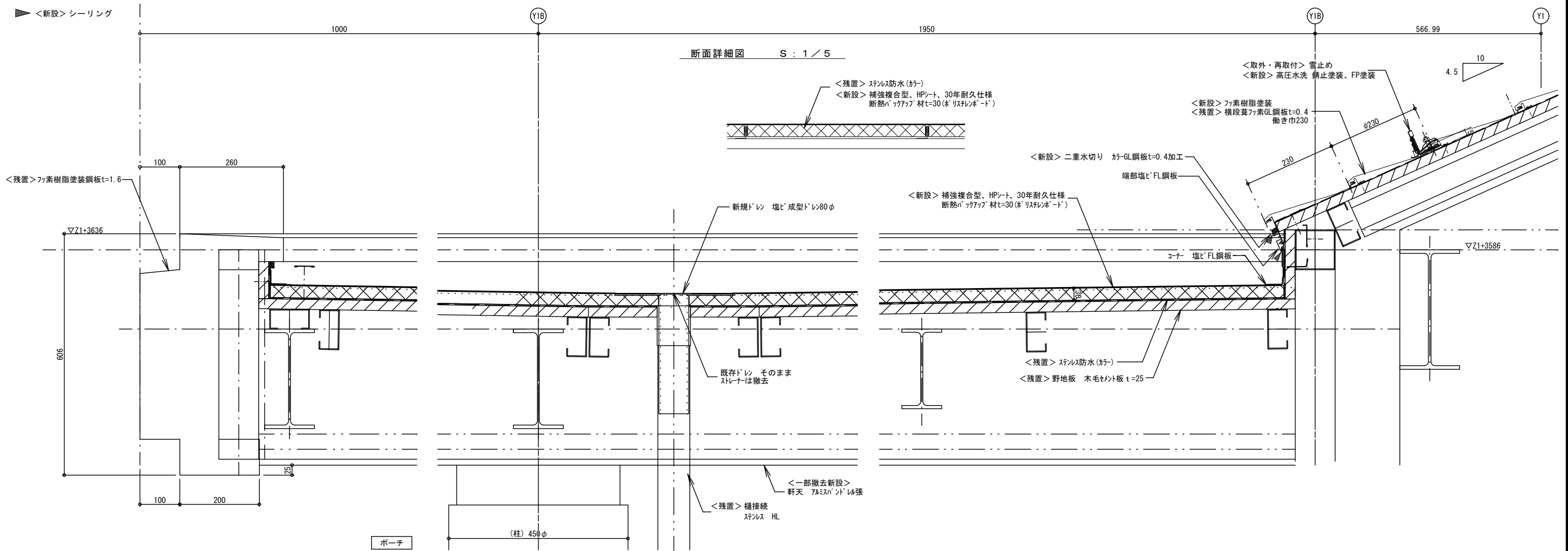


図	数量 14
図	数量 1
図	数量 1

建具キープラン 1/150

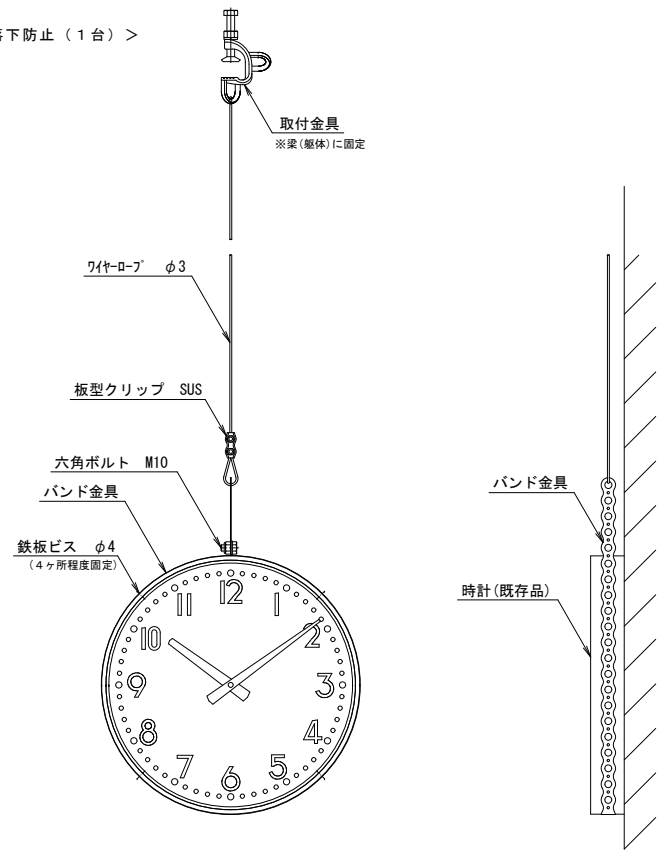
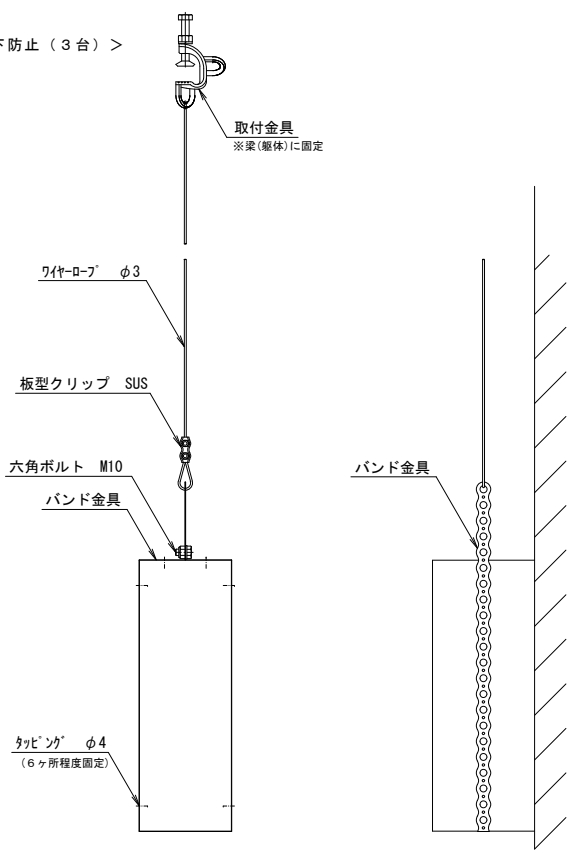


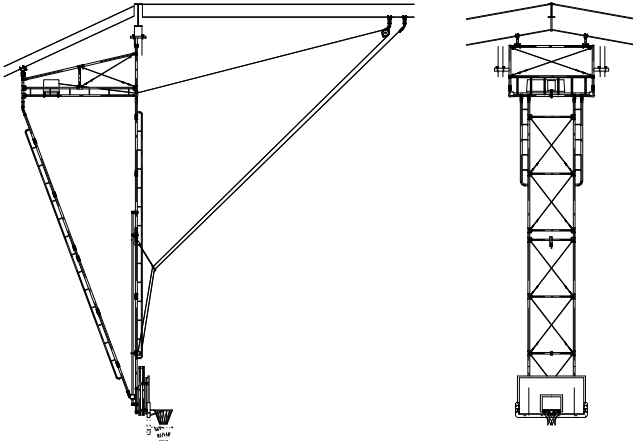
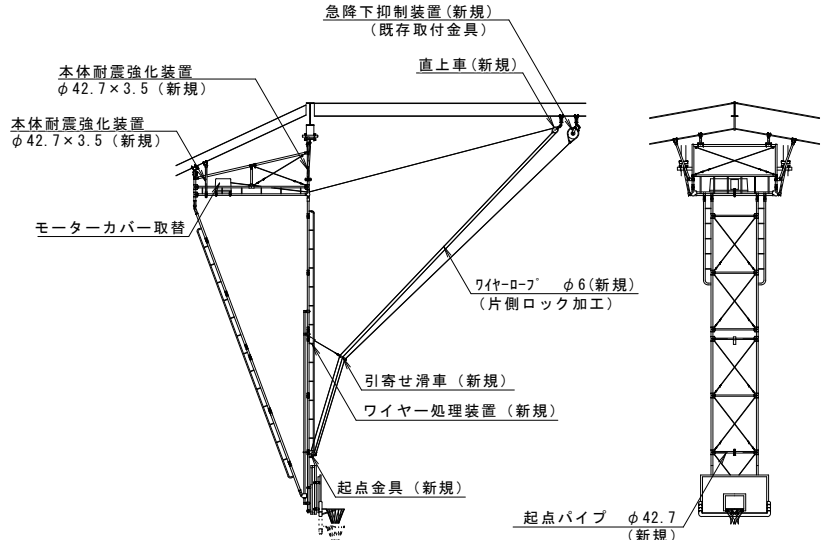


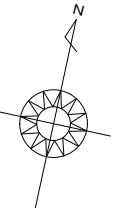
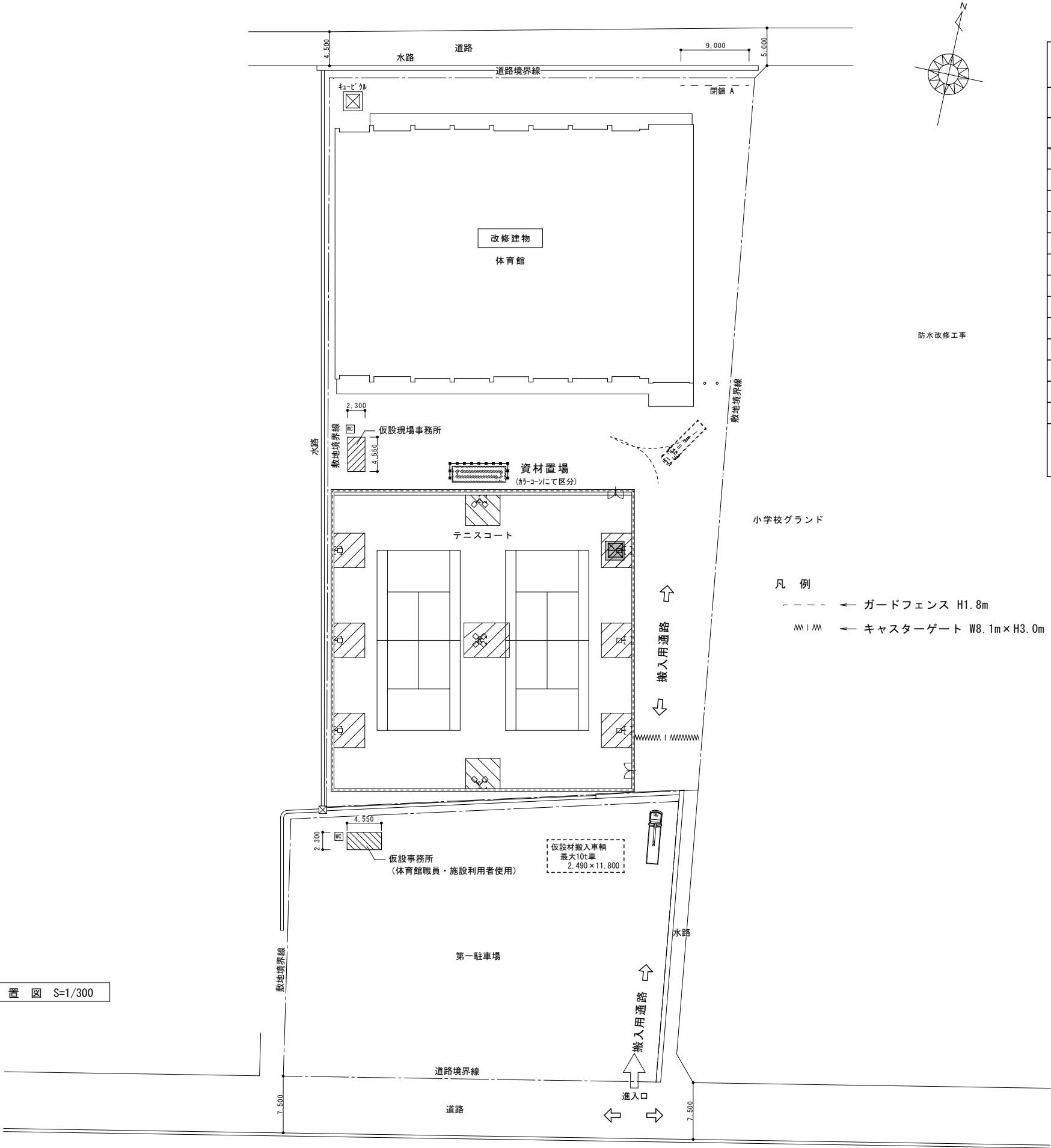


		JOB No.		工事名称 令和5年度 豊科勤労者総合スポーツ施設大規模改修工事	図面名称 ポーチ屋根防水・アリーナ屋根軒先改修 詳細図	縮尺 A1 : 1/5 A3 : 1/10	No. A-25
		捺印	製図				



D-19	時計落下防止 詳細図 S : 1 / 6	D-20	スピーカー落下防止 詳細図 S : 1 / 6	
<p>&lt;時計落下防止（1台）&gt;</p>  <p>特記事項 ※安全性を考慮した改良・変更が行われる事がありますので、ご了承ください。 ※製品は(一社)日本公園施設業協会賠償責任保険を適用する。</p>		<p>&lt;スピーカー落下防止（3台）&gt;</p>  <p>特記事項 ※安全性を考慮した改良・変更が行われる事がありますので、ご了承ください。 ※製品は(一社)日本公園施設業協会賠償責任保険を適用する。</p>		

D-21	吊下げバスケットゴール詳細図 S : 1 / 100							
<div>&lt;改修前（2基）&gt;</div> <div></div> <div>FL</div>		<div>&lt;改修後（2基）&gt;</div> <div></div> <div>FL</div> <div>特記事項 ※バスケットゴール高さ：断面図 (A-15) 参照 ※安全性を考慮した改良・変更が行われる事がありますので、ご了承ください。</div>						
			JOB No.	工事名称	図面名称	縮尺	No.	
			捺印	製図	令和5年度 豊科勤労者総合スポーツ施設大規模改修工事	時計, スピーカー落下防止・吊下げバスケットゴール詳細図	A1 : 1/6 , 1/100 A3 : 1/12, 1/200	A-27

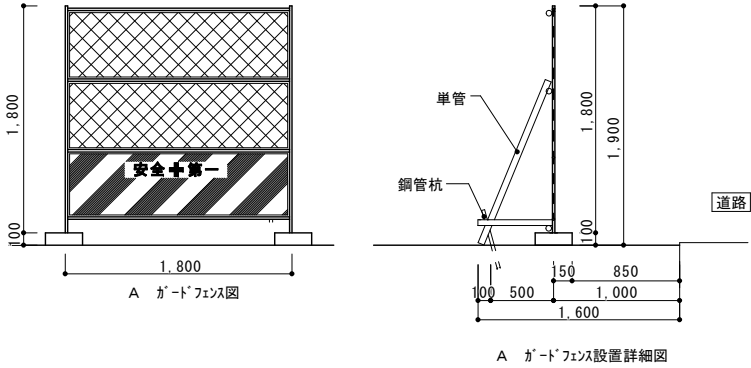


概 略 工 事 工 程 表									
工事名称	豊科勤労者総合スポーツ施設体育館改修					工事場所	安曇野市		
工事期間	工事開始日より９ヶ月								
月 齢 工事別	1 月 月	2 月 月	3 月 月	4 月 月	5 月 月	6 月 月	7 月 月	8 月 月	9 月 月
足場									
サイディング工事									
板金工事									
解体撤去工事									
建具改修工事									
塗装改修工事									
防水改修工事									
設備工事									
内装工事									
テニスコート工事									
雑工事									
留意点 ※騒音の発生する工事については、監督員と協議の上決定とする。 ※施設使用者への支障が無いよう仮設計画を図る。 ※工事の時間については、協議のうえ決定のこととする。（近隣住民への配慮もすること。）									

- 凡 例
- ガードフェンス H1.8m
  - MM MM キャスターゲート W8.1m×H3.0m

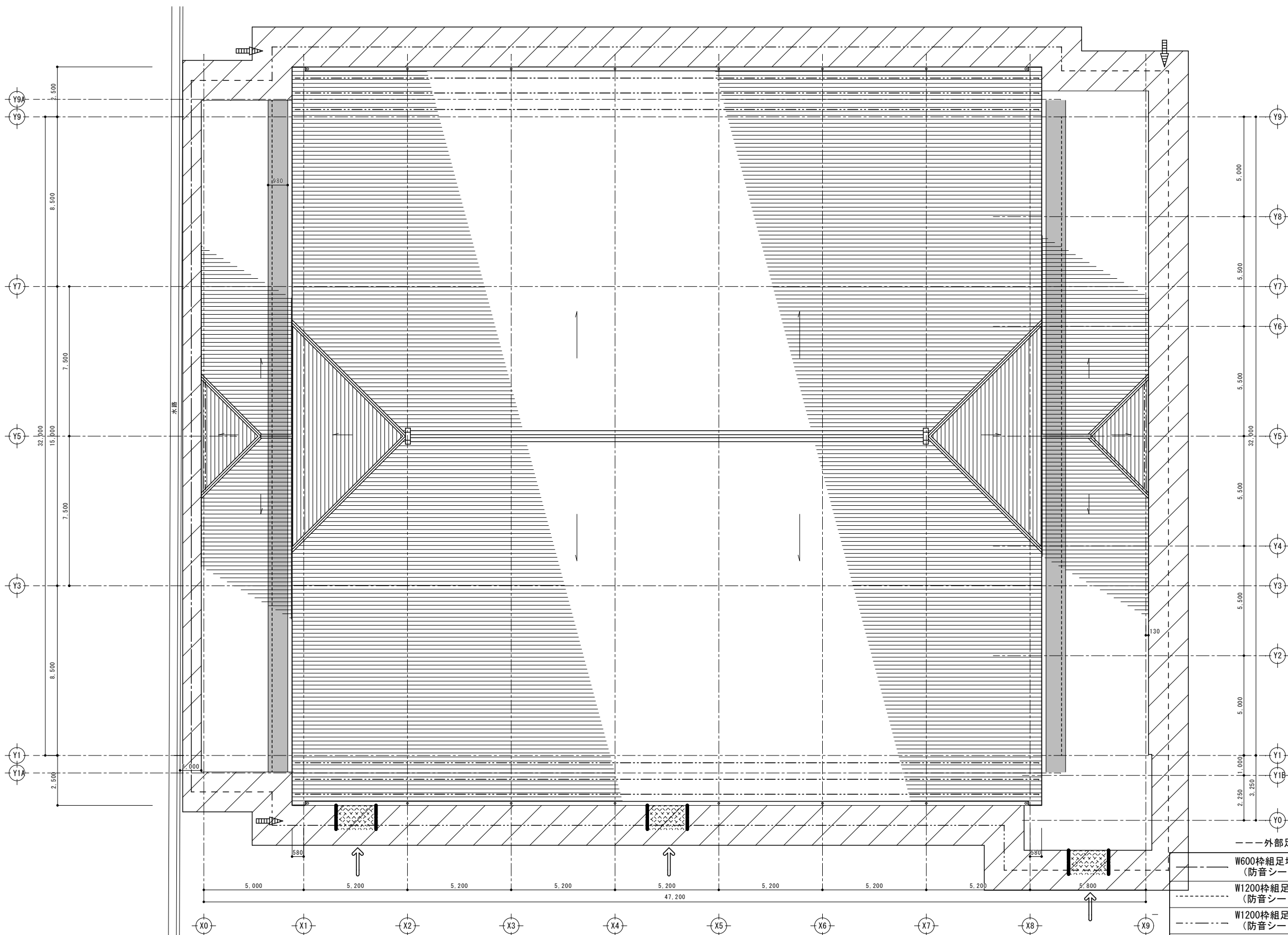
- (体育館職員 仮設事務所)
- ・仮設事務所×1 (9ヶ月)
  - ※エアコン (リース)
  - ・仮設トイレ ×1 (9ヶ月)
  - ・交通誘導員1人：週5日×34週

- 作業養生 ビニールシート期間：0.5ヶ月171㎡
- ローリングタワー(移動)：1台
- 作業養生 t-12コンパネ (ローリングタワー作業用)



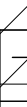








配 置 図 S=1/300



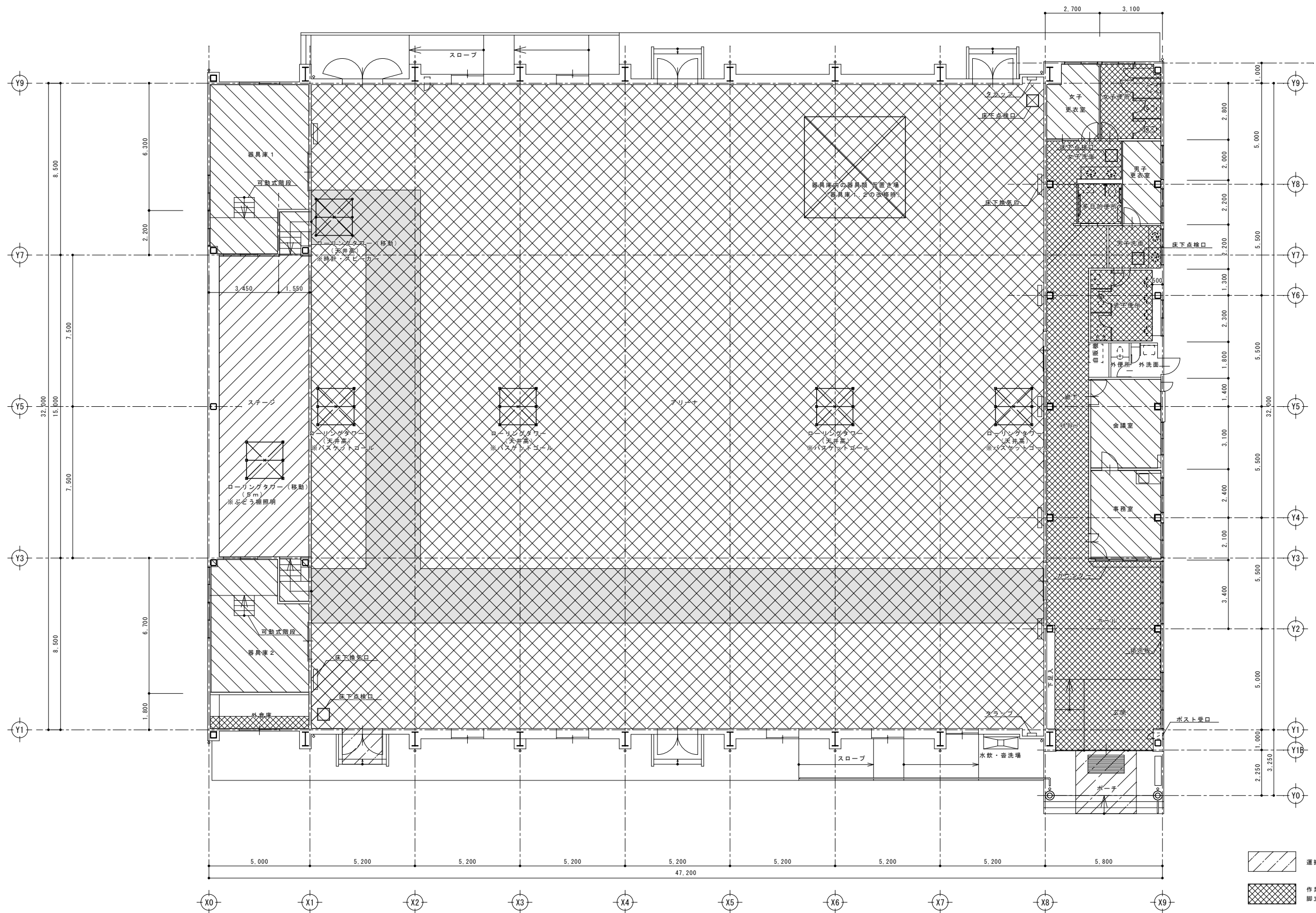


吹抜け部平面図 1/100



---外部足場 凡例---							
	W600枠組足場 H=9.0m (防音シート張り)	架け面積 5ヶ月間	324 m <sup>2</sup>				
	W1200枠組足場 H=4.5m (防音シート張り)	架け面積 5ヶ月間	288 m <sup>2</sup>				
	W1200枠組足場 H=9.6m (防音シート張り)	架け面積 5ヶ月間	797 m <sup>2</sup>				
	W1200枠組足場 H=9.0m (防音シート張り)	架け面積 5ヶ月間	558 m <sup>2</sup>				
	床養生	床面積	322 m <sup>2</sup>		下屋養生	床面積	66 m <sup>2</sup>
	ガードフェンスH=1.8m 及び落下防止養生 (コンパネ+防災シート) 9ヶ月間						
 ■外部昇降階段 (工事関係者) を示す							
 ■施設関係者の出入り口を示す。(上部落下防止養生のこと)							

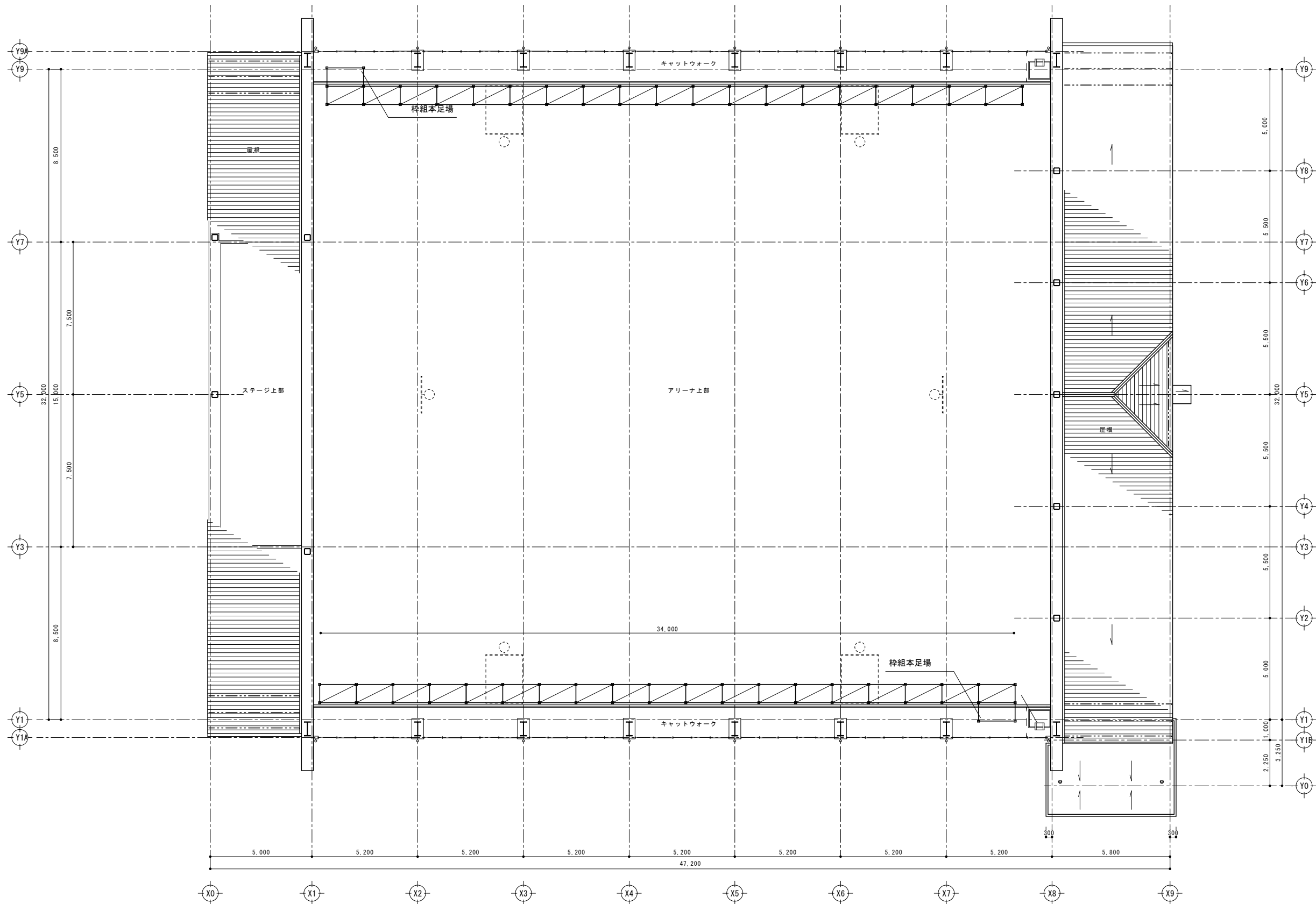
※ 本図面はあくまでも参考例である。また足場設置期間は 9か月間 と想定する。



1 階平面図 1/100


- ローリングタワー（移動）：1 台  
※時計・スピーカー・照明用
- ローリングタワー（5 m）：1 台  
※ブドウ棚用
- ローリングタワー（天井高）：4 台  
※バスケットゴール用

- 運搬養生 ビニールシート期間：2ヶ月 12.8m²
- 作業養生 ビニールシート期間：2ヶ月 脚立足場 147.1m²
- 作業養生 ビニールシート期間：1ヶ月 1164.8m²
- 作業養生 ビニールシート期間：0.5日 12.8m²
- 作業養生 ビニールシート期間：0.5日 脚立足場 129.3m²
- 作業養生 t-12コンパネ（ローリングタワー可動範囲） 155.760m²



吹抜け部平面図 1/100

---内部足場 凡例---

	W900枠組足場 H=7.0m	架け面積 476 m <sup>2</sup> 0.5ヶ月
---	-----------------	----------------------------------

		JOB No.		工事名称 令和5年度 豊科勤労者総合スポーツ施設大規模改修工事	図面名称 仮設図4 <参考>	縮尺 A3 : 1/200 A1 : 1/100	No. K-04
		校印	製図				

## 令和5年度 豊科勤労者総合スポーツ施設大規模改修工事

## 1 工事概要

1 工事場所：安曇野市南穂高2866

## 2 建物概要

建 物 名 称	構 造	階 数	延 面 積 (㎡)	消防法施行令 別表第一の区分	備 考
体育館	S造	1階	1543.12	15項	既 存
テニスコート					

(○印のついたものを適用する。)

工事種目	項目	建物別及び屋外		
		体育館	テニスコート	
●電灯設備		●一式	●一式	
○動力設備	幹線、分岐			
○電熱設備	幹線			
○常圧送風設備				
○受変電設備	改修			
○静止形電源設備	直流電源装置			
○発電設備				
○構内情報通信網設備	LAN 用配管			
○構内交換設備	電話用設備			
○情報表示設備	時計台設備			
○映像、音響設備				
●放送設備		●一式		
●誘導・支援設備	トイレ呼び出し設備			
○テレビ・共同受信設備				
○監視カメラ設備				
○駐車場管理用設備				
○防犯・入退室管理設備	予備配管			
●自動火災報知設備		●一式		
○自動火災警報設備				
○非常警報設備	非常放送装置			
○ガス漏れ警報設備				
○中央監視制御用設備				
○構内通信ネットワーク				
○構内通信線路				
○昇降機設備				
○床暖房設備				
○ロード・レーン設備				

#### 4 図面目録

番 号	図面名称	番 号	図面名称
01	図面リストによる	21	
02		22	
03		23	
04		24	
05		25	
06		26	
07		27	
08		28	
09		29	
10		30	
11		31	
12		32	
13		33	
14		34	
15		35	
16		36	
17		37	
18		38	
19		39	
20		40	

## II 工事仕様

1 共通仕様

- (1) 図面及び申請出仕書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁官庁情報部の「公共建築工事標準仕様書 電気設備工事編（最新版）」（以下、「標準仕様書」という。）、「公共建築改修工事標準仕様書 電気設備工事編（最新版）」（以下、「改修標準仕様書」という。）及び「公共建築設備工事標準仕様書 電気設備工事編（最新版）」（以下、「標準仕様」という。）による。
- (2) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。

## 2 特記仕様

特記仕様は別紙「特記仕様書(共通事項)」によるほか次の各項目による。

- (1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する  
(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。

項目	特記事項					
① 機材等	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等なものとする。 ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承認を受ける。					
② 機材の品質・性能証明	使用する機材が、社団法人・公共建設協会が発行する「建築材料・設備機材等品質性能評価事業設備機材等評価名簿」等によって所定の評価を受けている場合は、監督職員への機材の品質及び性能を有することの証明となる資料の提出を省略することができる。 本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の(1)から(5)を満たすものとする。 (1)合板、木質系フローリング、構造用ケシ、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上り塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 (2)保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 (3)接着剤はフタル酸エステル・フタル酸ジエステル・エチルベンゼンを含有しない難揮発性の可塑性を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 (4)塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 (5)上記(1)～(4)及び(6)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 なお、ホルムアルデヒドを放散しないものとは放散量が規制対象外のもの、ホルムアルデヒドの放散が極めて少ないものとは放散量が第三種のもの、原則として規制対象外のものを使用するものとする。 ただし、該当する材料等がない場合は、第三種のものを使用するものとする。 また、「ホルムアルデヒドの放散量」は、次のとおりとする。					
③ 化学物質を発散する建築材料等	<table><thead><tr><th>ホルムアルデヒドの放散量</th><th>該当する建築材料</th></tr></thead><tbody><tr><td rowspan="6">規制対象外</td><td>①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の4第4項による国土交通大臣認定品 ③下記表示のあるJAS規格品 a 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b 接着剤等不使用 c 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用 d ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用 e 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用 f 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用</td></tr><tr><td>①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の5第3項による国土交通大臣認定品 ③JISのSDE〇規格品 ④JISのF〇〇〇規格品</td></tr></tbody></table>	ホルムアルデヒドの放散量	該当する建築材料	規制対象外	①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の4第4項による国土交通大臣認定品 ③下記表示のあるJAS規格品 a 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b 接着剤等不使用 c 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用 d ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用 e 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用 f 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用	①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の5第3項による国土交通大臣認定品 ③JISのSDE〇規格品 ④JISのF〇〇〇規格品
ホルムアルデヒドの放散量	該当する建築材料					
規制対象外	①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の4第4項による国土交通大臣認定品 ③下記表示のあるJAS規格品 a 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b 接着剤等不使用 c 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用 d ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用 e 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用 f 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用					
	①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の5第3項による国土交通大臣認定品 ③JISのSDE〇規格品 ④JISのF〇〇〇規格品					
	④ 電気保安技術者	電気事業法に定める自家用電気工作物に係わる工事においては、電気保安技術者をおき、電気工作物の保安の業務を行うものとする。 契約電力が0.0kV以上の電気工作物においても、第一種電気工事士により施工を行う。				
	5 電気工事士	(1)実施工程表、総合施工計画書は、工事着手に先立ち速やかに提出する。 (2)工程別の施工計画書は、当該工事に先立ち速やかに提出し、品質計画に係る部分は監督職員の承認を受けること。				
	⑥ 実施工程表及び施工計画書	使用材料名、製造業者名、発注先等を記載した調査を作成し提出する。				
	⑦ 使用材料発注先調査	(1)引渡しを要するもの ○ 無 ・ 有 ( ) (2)引渡しを要するもの以外 ・ 横外搬出し、関係法令により適切に処理をする。 (3)特別管理産業廃棄物 ○ 無 ・ 有 ( ) (4)再利用又は再資源化を図るもの ○ 無 ・ 有 ・ コンクリート、木材、アスファルト、金属くず、ダンボール類 ( ) ○ 取扱い ・ 取扱い(規模: ) ・ 製品( )				
⑧ 発生材の処理	すべて請負者の負担とする。 構内作業が ○ できる ・ できない					
⑨ 監督員事務所	○ 別契約の関係請負者が設置したものは、無償で使用できる。 ・ 本工事で設置する。 ・ 内部仮設足場等(・ 架台足場 ・ 移動式足場 ・ 移動式室内足場 ・ ) ・ 外部仮設足場等(・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ) ・ 防護ネット( )					
⑩ 工事用仮足場	本工事に必要な工事用電力、水等の費用及び官公署その他の関係機関との連絡手続等に要する費用は請負者の負担とする					
⑪ 工事用電力・水・その他	工事の着手に先立ち、撮影計画の作成を行い、監督職員へ提出すること。					
⑫ 工事写真	標準仕様書及び別表による					
⑬ しゅん工時発生物	取扱い・再使用機器は、原則として消臭及び除菌抵抗試験を行った後取り付ける。 ただし、絶縁劣化等で使用に耐えない場合は、監督職員に報告する。					
⑭ 再使用機器	設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針2014版」(国土交通省国土技術政策総合研究所 独立行政法人建築研究所監修)による。なお、施工に際し、耐震強度計算書を監督員に提出し、承認を受けるものとする。					
⑮ 耐震施工	(1)設計用水平地震力 機器の重量[kgf]に、設計用標準水平地震加速度を乗じたとする。 なお、特記なき場合、設計用標準水平地震加速度は次のとおりとする。					

項目	特記事項																																																										
	設計用標準水平地震震度 <table><tr><th rowspan="2">設置場所</th><th rowspan="2">機器種別</th><th colspan="2">特定の施設</th><th colspan="2">○一般の施設</th></tr><tr><th>重要機器</th><th>一般機器</th><th>重要機器</th><th>一般機器</th></tr><tr><td rowspan="3">上層階</td><td>機 器</td><td>2.0</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.0</td></tr><tr><td>防振支持の機器</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>1.5</td></tr><tr><td>水槽類(※1)</td><td>2.0</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.0</td></tr><tr><td rowspan="3">中層階</td><td>機 器</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr><tr><td>防振支持の機器</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.0</td></tr><tr><td>水槽類(※1)</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr><tr><td rowspan="3">地下1階</td><td>機 器</td><td>1.0</td><td>0.6</td><td>0.6</td><td>0.4</td></tr><tr><td>防振支持の機器</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr><tr><td>水槽類(※1)</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr></table> <p>(※1) 水槽類はオイルタンク等を含む。</p> <p>◎重要機器の定義は次のとおり。</p> <p>・変電設備 ・発電設備 ・直流電源設備 ・交流無停電電源装置</p> <p>・交換機 ・自動火災報知受信機 ・中央監視装置 ・</p> <p>◎上層階の定義は次のとおり。</p> <p>2 ～6 階建の場合は最上階、7 ～9 階建の場合は上層2 階、</p> <p>10 ～12 階建の場合は上層3 階、13 階以上の場合は上層4 階とする。</p> <p>(2) 設計用鉛直地震力</p> <p>設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に加えるものとする。</p>	設置場所	機器種別	特定の施設		○一般の施設		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器	上層階	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5	水槽類(※1)	2.0	1.5	1.5	1.0	中層階	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0	水槽類(※1)	1.5	1.0	1.0	0.6	地下1階	機 器	1.0	0.6	0.6	0.4	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6	水槽類(※1)	1.5	1.0	1.0	0.6
設置場所	機器種別			特定の施設		○一般の施設																																																					
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器																																																						
上層階	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0																																																						
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5																																																						
	水槽類(※1)	2.0	1.5	1.5	1.0																																																						
中層階	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6																																																						
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0																																																						
	水槽類(※1)	1.5	1.0	1.0	0.6																																																						
地下1階	機 器	1.0	0.6	0.6	0.4																																																						
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6																																																						
	水槽類(※1)	1.5	1.0	1.0	0.6																																																						
17 あと施工アンカー	(1) 重要機器類は公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)8章の表28.2.4及び11章による。																																																										
	(2) 上記以外の機器類は建築工事改修仕様書6章による。																																																										
	(引続き試験 ・実施する ・実施しない)																																																										
18 防火区画等の 貫 通 処 理	電線等が、防火区画又は防火上主要な間仕切りを貫通する場合の施工状況について、貫通箇所両面から写真撮影し、工事写真として提出する。																																																										
19 電線・ケーブル	(1) BMEFF は紫が緑色による劣化を抑制する性能を持たせ、「タガイロ BMEFF」と表記されたものを使用する。																																																										
	(2) B4UP は「S X 5150F 構内配線システム」に準じ、絶縁材料及びシースに「S」が附記されるB4ケーブルの意図的ガリエチレンを用いたもの。																																																										
20 予備配管	埋込分岐箱からの上立り予備配管は、予備の電線用遮断器4個以下の場合(表25)を1本5個以上の場合(表25)を2本、天井まで立上げる。																																																										
21 呼び線	長さ1m以上の入線しない電線管には、1.2mm以上のビニル被覆絶縁を挿入する。																																																										
22 金属製電線管の塗装	下記の出露箇所には塗装を行う。																																																										
	屋 外 ・ 屋 内 ( )																																																										
23 埋め戻し土	種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種																																																										
	・ 管の下層は450mm以上砂を敷きならし、管の上部100mm以上砂を用いて締め固める																																																										
24 建設発生土の処理	・ 埋め戻し処理 ・ 構内の指定箇所に敷き均し																																																										
25 ケーブル埋設票	(1) 地中線管には、ケーブル埋設票をもうける。 ・ 鉄製 ・ コンクリート製																																																										
	(2) 低圧地中電線管にあっても地中線埋設票シートを敷設する。																																																										
26 ブルボックス	(3) 配管埋設票が750mmを超える場合は、地中線埋設票シートは2条以上敷設する。																																																										
	(1) 露出するブルボックスの本体及びひだの仕上げは、メラミン被付塗装とする。																																																										
	(2) 露出するブルボックスのふたの止めねじは化粧ビスとする。																																																										
27 フラッシュプレート	図面・特記あるものと及び特記無きものを除き ・ 金属製 ・ 樹脂製																																																										
28 プレート の用途表示	ブルボックス、ジョイントボックス及び機器を裏装しないプレートには、用途を明示した略称をつける。																																																										
29 配線器具	タンブラススイッチは運用形とする。																																																										
	壁付コンセント(2P15A)は原則として運用形とする。ただし、2口の場合は様式を使用しても良い。また2P15A以外のはずべてはキャップとする。																																																										
30 フロアコンセント	・ 直付(ビス止め)型上下式・銅合金製・アルミ製)とする																																																										
	・ 直付(ビス止め)型重畳上下式(銅合金製)とする																																																										
31 機器への接続	本工事の動力準備段階より別添電線図等の配線の接続は本工事とする。																																																										
32 照度測定	(1) 非常用照明の照度測定は設置後速やかに行人、監督職員に報告する。																																																										
	(2) 学校施設における室内照度測定(教室・講堂・個別、測定用板面・個別)																																																										
33 照度	・ 教室間の照度は、1教室当たり1面100lx程度、黒板背面直下の所で測定する。																																																										
34 照度	(1) 分電盤等の前面パネルに、単線線図・絶縁抵抗測定表・接地抵抗測定表を収容する。																																																										
	(2) 端子盤には、線番表・線表を備え付ける。																																																										
34 グリーン購入の推進	長野県グリーン購入推進方針に基づく調達項目																																																										
	<資材> ・ 照明制御システム ・ 変圧器 ・ ( )																																																										
	<電気機器> ・ 排気ガス対策型変圧機器 ・ 低騒音型変圧機器																																																										
35 他工事又は他工程との取り扱い	工事区分表(平成 年) 版) による。ただしこれより重い場合は監督職員と協議する。																																																										
36 その他及び電子納品	保険等の各種措置及び電子納品については、別添「特記仕様書(共通事項)」による。																																																										
	(長野県公式ホームページ(電子入札システム)に掲載される。当該入札公告の添付図書)																																																										
(別添) しゅん工提出物 (下記項目より監督員の指示に従って提出する。)																																																											
個別提出物																																																											
一括提出物																																																											
1 完成図	5 機器完成図																																																										
○ 原図(A1版 ケース入り)	6 工事写真																																																										
○ 縮図(A1 2つ折) 数本 1部	7 完成写真																																																										
・ マイクロフィルム	8 工事記録(打合せ簿、工事日誌、協議書)																																																										
(バーチャルカード 貼付 台紙は黄色)	9 機材の点検記録書																																																										
○ O/Dデータ	10 施工の点検記録書																																																										
	11 社内電線完成図書																																																										
2 設計図	12 発生材処理報告書																																																										
・ マイクロフィルム	( 廃棄物処理実施書、運搬及び処理の委託契約書																																																										
(バーチャルカード 貼付 台紙は青色)	の取し・マニフェストの取し、フロー図)																																																										
3 引渡書	13 納入品一覧表																																																										
4 納入品	14 官公署手続、検査書(管理者用正本、写し)																																																										
・ 予備品 ・ ハンドホルック、ジャッキ	15 保全に関する資料(取扱い説明書も含む)																																																										
・ 盤等の鍵 ・																																																											

### 3 ハンドホール

下表による。(梯子は各ハンドホールに設置する。蓋取付し、用ジャッキを1組納入する。)  
 ブロックハンドホール (寸法は内法を示す。底部とはハンドホール内側底部をいう。)  
 ・コンクリート相互間などは、エポキシ系樹脂接着剤により接着する。  
 ・ブロックの仕入れは国土交通省仕様と準ずるものとする。

・	ハンドホール No. -	1,500 x 1,500 x 1,500 差 WPM-60A (エマーク入)	底部 GL-1,740以上 (アルミ 梯子付)
・	ハンドホール No. -	1,200 x 1,200 x 1,500 差 WPM-60A (エマーク入)	底部 GL-1,700以上 (アルミ 梯子付)
・	ハンドホール No. -	1,000 x 1,000 x 1,400 差 WPM-60A (エマーク入)	底部 GL-1,600以上 (アルミ 梯子付)
・	ハンドホール No. -	1,000 x 1,000 x 1,100 差 WPM-60A (エマーク入)	底部 GL-1,300以上 (アルミ 梯子付)
・	ハンドホール No. -	1,000 x 1,000 x 900 差 WPM-60A (エマーク入)	底部 GL-1,060以上 (アルミ 梯子付)
・	ハンドホール No. -	900 x 900 x 1,000 差 WPM-60A (エマーク入)	底部 GL-1,260以上 (アルミ 梯子付)
・	ハンドホール No. -	900 x 900 x 900 差 WPM-60A (エマーク入)	底部 GL-1,060以上 (既設足場付)
・	ハンドホール No. -	600 x 600 x 680 差 WPM-60A (エマーク入)	(既設足場付)
・	ハンドホール No. -	450 x 450 x 680 差 WPM-45B (エマーク入)	※連続帯等車両の通行の妨げにならない箇所、 取付ケーブルが引っかからない箇所に限る

#### 4 接地極

下表による。ただし、これによりがたい場合は監督員との協議による。

・	A 種穀地	銅板1.5t×900×900 補助鉄板(連結式)10φ×1,500 リード 端子付 堤防内側中心深さ 2m 堤防設備(黄銅製又はステンレス製)
・	B 種穀地	銅板1.5t×600×600 補助鉄板(連結式)10φ×1,500 リード 端子付 堤防内側中心深さ 2m 堤防設備(黄銅製又はステンレス製)
・	C 種穀地	銅板1.5t×300×300 補助鉄板(連結式)10φ×1,500 リード 端子付 堤防内側中心深さ 1.5m 堤防設備(黄銅製又はステンレス製)
・	D 種穀地	接合棒(10φ×1,500) リード 端子付 打ち込み 堤防設備(黄銅製又はステンレス製)

## 5 機器取付高






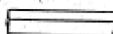



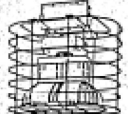
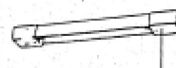




図面に特記なきものは下表を標準とする。但し下表によりがたい場合には監督員との協議による。

	名 称	測 点	取付高 (mm)		名 称	測 点	取付高 (mm)	
共 通	取引用計器 引込用機器	地上～上端	2,000	時 計 ・ 報 知	壁掛形須臾時計	床上～中心	1,500	
	警報盤	地上～上端	1,800				《上測》900以下	
		床上～中心	1,500			予時計	〃	(天井高)×0.9
電 灯				拡 声	壁掛形スピーカ アッテネーター	〃	(天井高)×0.9	
							〃	1,300
	分電盤	床上～中心	1,500					
			(上端：900以下)					
	タンブラスイッチ	〃	1,300	表 示	表示盤	床上～中心	(天井高)×0.9	
	〃 (身障者用)	〃	1,100			壁付発信器	〃	1,300
	コンセント(一般)	〃	300			ベル	〃	(天井高)×0.9
	〃 (和)	〃	150		プザー	〃	(天井高)×0.9	
	〃 (便所等)	〃	500		押ボタン	〃	1,300	
	〃 (台)	台上～中心	150		〃 (身障者用押ボタン)	〃	900	
ブラケット(一般)	床上～中心	2,100	示	身障者用表示灯	〃	2,000		
〃 (踊場)	床上～中心	2,500			夜間押ボタン	〃	1,800	
〃 (建上)	鏡面～中心	150						
動 力	遊技機・店務機	床下～上端	1,500以下	イ ン タ ー ホ ン	壁付インターホン	床上～中心	1,500	
	廊下遊技機等灯	床上～上端	1,000以下			〃 (身障者用)	〃	1,100
						壁付位置ボックス (壁付インターホンを除く)		
電 話				ホ ン	〃 (一般)	〃	300	
						〃 (和)	〃	150
	壁掛形須臾時計	床上～中心	1,500					
電 話			(上端：900以下)	テ レ ビ ・ 共 同 受 信	機器収納箱	床上～中心	(天井高)×0.9	
	手元電灯	〃	1,500			アウトレット	〃 (一般)	300
	操作スイッチ 押ボタン	〃	1,300			〃 (和)	〃	150
電 話				火 災 報 知				
	室内端子盤 (廊下、室内 中継端子盤)	床上～下端	300			受信機	床上～操作部	800～1,500
	集合受話器	〃				副受信機	〃	800～1,500
	壁付アウトレット ボックス(一般)	床上～中心	1,500			機器収納箱	床上～中心	800～1,500
	〃 (和)	〃	300			発信器	〃	800～1,500
	〃 (和)	〃	150			ベル	〃	(天井高)×0.9
					消火栓表示灯	〃	(天井高)×0.8	


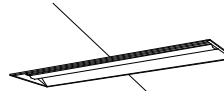
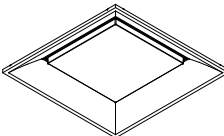
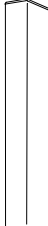
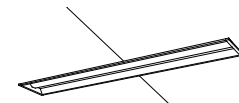
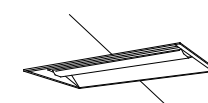
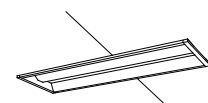
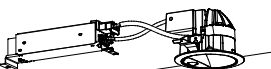
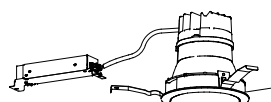

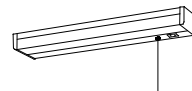


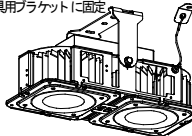
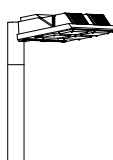
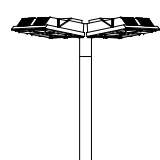



<施工事例包含案件>

			JOB No.		工事名称 令和5年度 豊科勤労者総合スポーツ施設大規模改修工事	図面名称 電気設備 特記仕様書	縮尺 A3 : - A1 : -	No. E-01
			検印	製図				

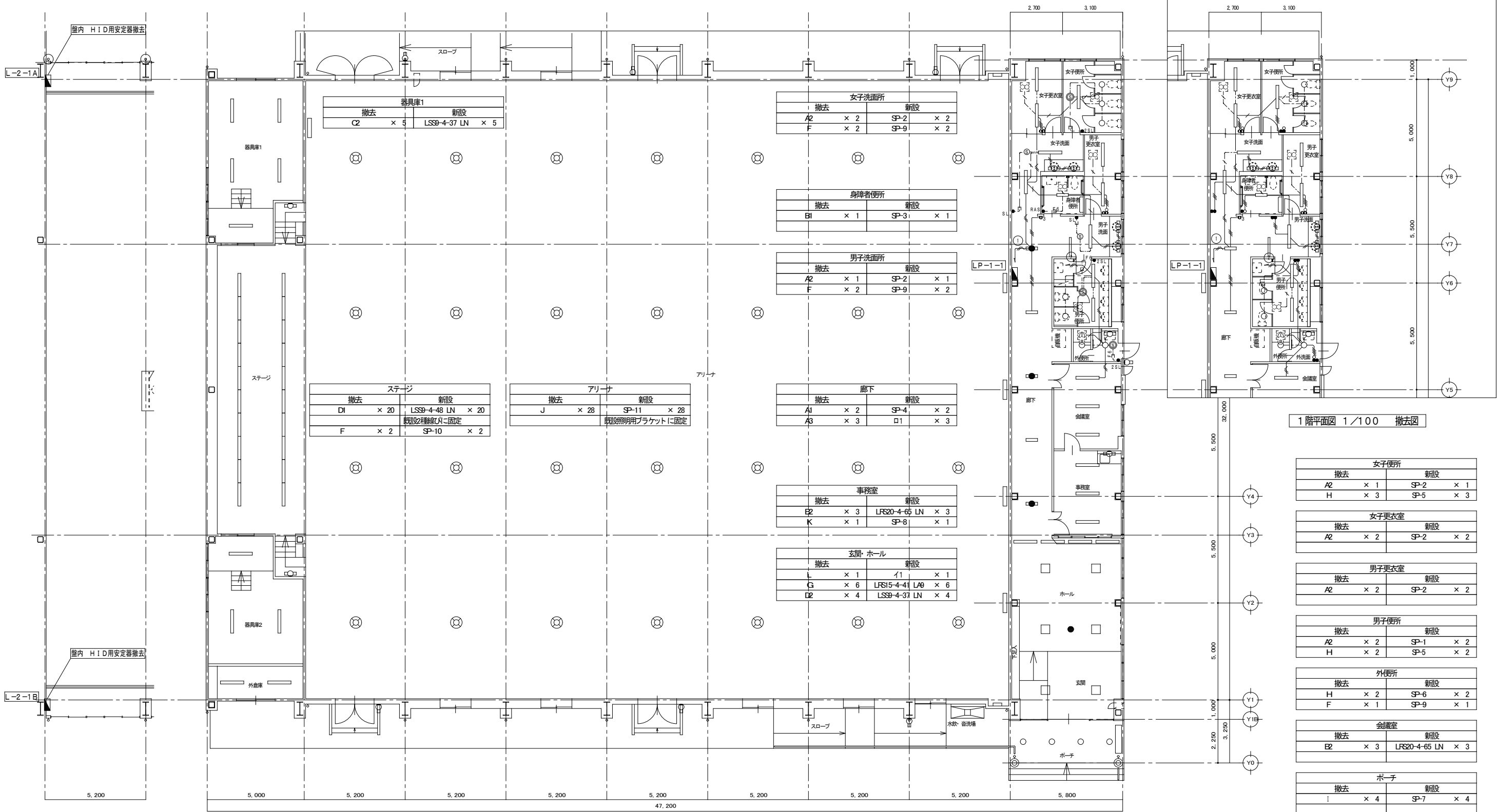


					
					
A1	FRS3-201	B1	FRS3-202	C1	FSS4-401
A2	FRS3-401	B2	FRS3-402	C2	FSS4-402
A3	K1-FRS3-201				
					
D1	FRS1-402	E	FBF2MP-201	F	FBF6-201
D2	FSS1-401				
					
G	FRL8-P363	H	IRS6-K60	I	IRF1-100
					
J	MF400W + NH270W	K	FBS2-201	L	K1-1RS4-J10
オートリフター、防眩ガード付					
200V 低始動電流型安定器					

既存撤去 照明器具参考姿図

LSS9-4-23 LN	LED 直付ベースライト	LRS20-4-65 LN	LED 埋込ベースライト	LRS15-4-41 LA	LED 埋込スクエアベースライト	LBF3MP/RP-2-06 LN	LED ウォールライト																				
LSS9-4-37 LN	LED 直付ベースライト																										
LSS9-4-48 LN	LED 直付ベースライト																										
																											
SP-1	LED 埋込ベースライト □1257x49	SP-3	LED 埋込ベースライト □639x300	SP-4	LED 埋込ベースライト □639x190	SP-5	LED 埋込ダウンライト φ125																				
SP-2	LED 埋込ベースライト □1257x49																										
																											
昼白色 (5000K)、Ra83 SP-1 器具光束1800lm以上 消費電力20W以下 SP-2 器具光束3800lm以上 消費電力30W以下 電圧100V-242V 既存開口部に取付		昼白色 (5000K)、Ra83 器具光束3000lm以上 消費電力25W以下 電圧100V-242V 既存開口部に取付		昼白色 (5000K)、Ra83 器具光束3000lm以上 消費電力25W以下 電圧100V-242V 既存開口部に取付		昼白色 (5000K)、Ra80 器具光束600lm以上 消費電力10W以下 電圧100V-242V 人感センサー付																					
SP-6	LED 埋込ダウンライト φ125	SP-7	LED 埋込ダウンライト φ100	SP-8	LED キッチンライト	SP-9	LED ブラケットライト 12W																				
																											
昼白色 (5000K)、Ra85 器具光束1000lm以上 消費電力15W以下 電圧100V-242V		昼白色 (5000K)、Ra85 器具光束700lm 消費電力10W以下 電圧100V-242V リニューアルプレート共 (既設開口 □200)		昼白色 (5000K)、Ra83 器具光束900lm以上 消費電力15W以下 電圧100V フルスイッチ付、両面化粧タイプ		昼白色 (5000K)、Ra93 器具光束1300lm以上 消費電力15W以下 電圧100V																					
SP-10	LED ブラケットライト	SP-11	LED 高天井用照明器具	SP-12-1	LED 投光器 HID1000形相当x1	SP-12-2	LED 投光器 HID1000形相当x2																				
																											
昼白色 (6200K)、Ra81 器具光束800lm以上 消費電力15W以下 電圧100V		拡散パネル付き下面ガード (落下防止ワイヤー付) 共 側面ガード 共 設定用リモコンx1 (信号到達距離14m以上) ※既設器具用ブラケットに固定  無線調光式 (設定用リモコンにて調光可能なこと) 調光範囲5 ~100% 昼白色 (5000K)、Ra75、消費電力23W、以下電圧100~242V 器具光束3590lm以上 (拡散パネル時) 斜天井30° まで対応		1 方向用取付金物、異形アダプタ共 ※既設ポールに取り付  光束57000lm以上、消費電力500W以下 電圧200~242V 昼白色、5000K 本体: アルミ 下面パネル: ポリカーボネート 相当 耐風速60m/s		2 方向用取付金物、異形アダプタ共 ※既設ポールに取り付  光束140000lm以上、消費電力1000W以下 電圧200~242V 昼白色、5000K 本体: アルミ 下面パネル: ポリカーボネート 相当 耐風速60m/s																					
SP-12-4	LED 投光器 HID1000形相当x4	I1	非常用照明 LED 1W 埋込型	D1	非常用照明 LED 埋込下面開放型 □639x190																						
4 方向用取付金物、異形アダプタ共 ※既設ポールに取り付  		K1-LRS11-2 電池内蔵型 停電時30分点灯  		停電時30分点灯  																							
光束285000lm以上、消費電力2000W以下 電圧200~242V 昼白色、5000K 本体: アルミ 下面パネル: ポリカーボネート 相当 耐風速60m/s		保守率: 0.92 専用リモコンx1 納入 <table><tr><td>器具取付高さ</td><td>2.4m</td><td>2.5m</td><td>2.9m</td><td>3.0m</td></tr><tr><td>単体配置 A1</td><td>4.6</td><td>4.7</td><td>4.9</td><td>4.9</td></tr><tr><td>直線配置 A2</td><td>10.2</td><td>10.6</td><td>11.6</td><td>11.9</td></tr><tr><td>四角配置 A4</td><td>8.2</td><td>8.4</td><td>9.4</td><td>9.6</td></tr></table>		器具取付高さ	2.4m	2.5m	2.9m	3.0m	単体配置 A1	4.6	4.7	4.9	4.9	直線配置 A2	10.2	10.6	11.6	11.9	四角配置 A4	8.2	8.4	9.4	9.6	昼白色 (5000K)、Ra80以上 器具光束1500lm以上 消費電力15W以下 電圧100V-242V 自己点検スイッチ付			
器具取付高さ	2.4m	2.5m	2.9m	3.0m																							
単体配置 A1	4.6	4.7	4.9	4.9																							
直線配置 A2	10.2	10.6	11.6	11.9																							
四角配置 A4	8.2	8.4	9.4	9.6																							

改修後 照明器具参考姿図



1階平面図 1/100 撤去図

女子便所			
撤去		新設	
A2	× 1	SP-2	× 1
H	× 3	SP-5	× 3

女子更衣室			
撤去		新設	
A2	× 2	SP-2	× 2

男子更衣室			
撤去		新設	
A2	× 2	SP-2	× 2

男子便所			
撤去		新設	
A2	× 2	SP-1	× 2
H	× 2	SP-5	× 2

外便所			
撤去		新設	
H	× 2	SP-6	× 2
F	× 1	SP-9	× 1

会議室			
撤去		新設	
B2	× 3	LRS20-4-65 LN	× 3

ポーチ			
撤去		新設	
I	× 4	SP-7	× 4

2階平面図 1/100

器具庫2			
撤去		新設	
C2	× 3	LSS9-4-48 LN	× 3

外倉庫			
撤去		新設	
C1	× 2	LSS9-4-23 LN	× 2

外壁			
撤去		新設	
E	× 7	LBF3MP/FP-2-06 LN	× 7

1階平面図 1/100

凡 例

記 号	名 称	摘 要	記 号	名 称	摘 要
—	ベースライト 20W型/40W型		—	天井ごかし配線	
□	ブラケットライト		—	天井ごかし配管配線	PF管で保護
□	スクエアベースライト		—	1種金属線ひも型で保護	
○	ダウンライト		—	1種金属線ひも型で引き下げ	
⊙	高天井照明		—	EM-EEF1.6-3C	
●	非常照明		—	EM-EEF1.6-3Cx2	
⊙	ベースライト 20W型 非常照明兼用		—	EM-EEF2.0-3C	
⊙	熱線センサー付自動スイッチ 2回路 換気扇連動		—	(保護管)	
⊙	熱線センサー付自動スイッチ 1回路		—	IV1.6x2	PF16
●	熱線センサー付自動スイッチ 操作スイッチ 2回路		—	IV1.6x3	PF16
●	熱線センサー付自動スイッチ 操作スイッチ 1回路		—	IV1.6x4	PF16
●	熱線センサー付自動スイッチ 2回路 換気扇連動 壁付		—	IV1.6x2 E1.6	PF16
●	埋込スイッチ 1P15Ax1		—	IV2.0x2 E1.6	PF16
○	表示灯				
特記なき細線の配線機器は工事の対象外とする					

JOB No.

工事名称

図面名称

縮尺

No.

検印

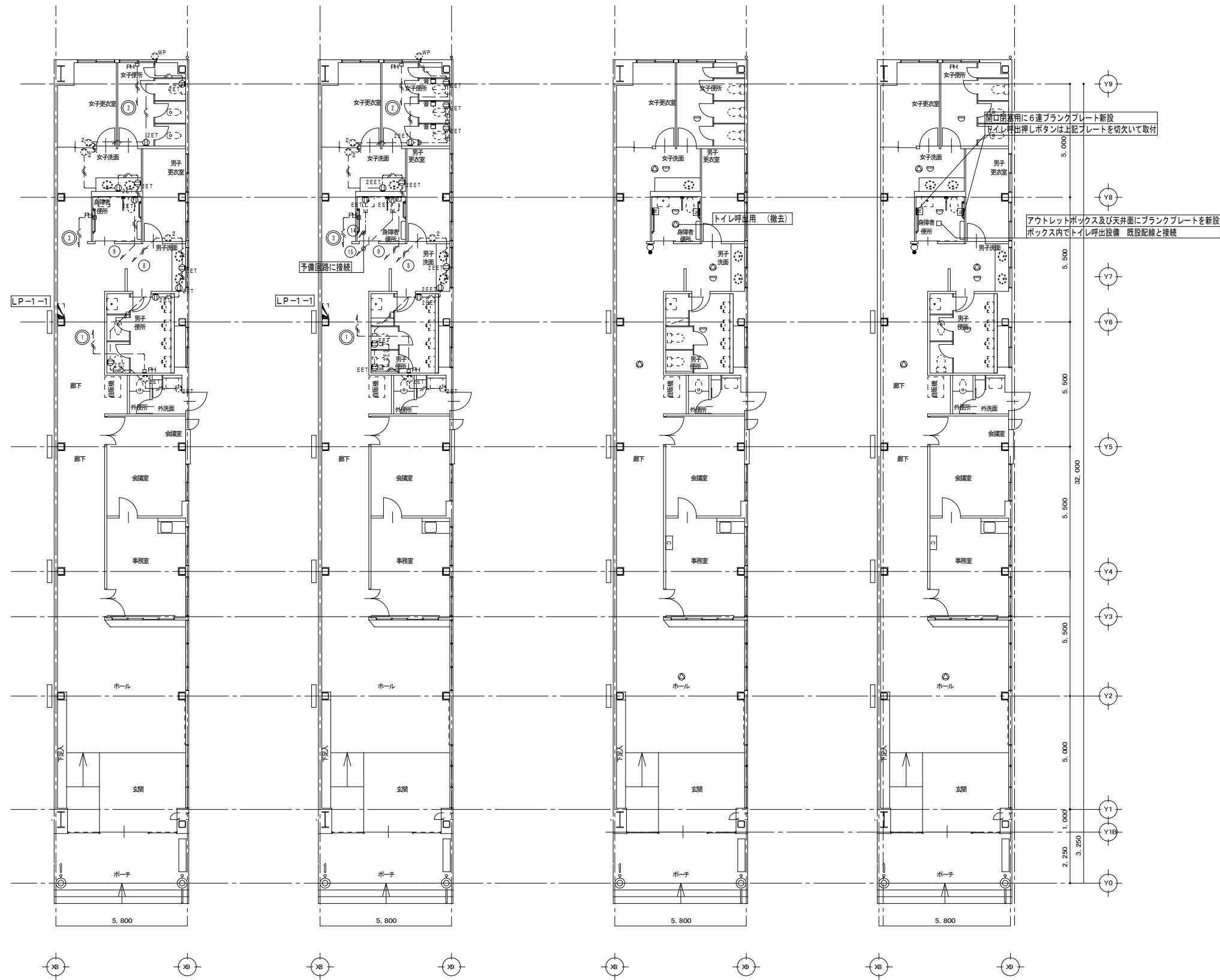
製図

令和5年度 豊科勤労者総合スポーツ施設大規模改修工事

電灯設備 1.2階配線図

A3 : 1/200  
A1 : 1/100

E-04



コンセント設備 1階配線図 1/100

コンセント設備 1階配線図 1/100

通信設備 1階配線図 1/100

通信設備 1階配線図 1/100

凡 例		
記 号	名 称	摘 要
□	ブラクプレート	
□音	振音装置 (電源接続)	
□H	ハネルヒーター (電源切り離し再接触)	
⓪ <sub>2</sub>	埋込コンセント 2P15Ax2	
⓪ <sub>2ET</sub>	埋込コンセント 2P15Ax1 E極・ET付	
⓪ <sub>2EET</sub>	埋込コンセント 2P15Ax2 E極・ET付	
⓪ <sub>2ET</sub>	埋込コンセント 2P15Ax2 ET付	
⓪ <sub>WP</sub>	防雨コンセント 2P15Ax2 E極・ET付	
⓪	トイレ呼出しボタン 引きひも付き	
⓪	廊下灯+復旧ボタン	
□C	トイレ呼出表示器 1回路 (壁付)	
⓪	天井埋込スピーカー	天井改修に伴い取外し・再取付
⓪	差動式スポット型感知器	天井改修に伴い取外し・再取付
⓪	光電式スポット型感知器	天井改修に伴い取外し・再取付
---	天井ころかし配線	
----	1種金属線/A型で保護	
- - - - -	立ち下りは1種金属線/A型で保護	
---	EM-EET2.0-3C	
---	(保護管)	
---	I V2.0x2+1.6x1 PF16	

特記なき細線の配線機器は工事の対象外とする



令和5年度 豊科勤労者総合スポーツ施設大規模改修工事

I. 工 事 概 要

1. 工 事 場 所 安曇野市 豊科南穂高2866

2. 建 物 概 要

建 物 名 称	工事種別	構 造	階 数	延床面積 (㎡)	消防法施行令 別表第一	耐震分類	備 考
体育館	改修	S造	1階	1,543.12	(一) 項 - ロ		

3. 工 事 種 目 (●印を付けたものを適用する)

工 事 種 目	建 物 別	工 事 内 容
○ 空 気 調 和 設 備	体 育 館	
○ 冷 暖 房 設 備		
● 暖 房 設 備	● 一 式	
● 換 気 設 備	● 一 式	
○ 排 煙 設 備		
○ 自 動 制 御 設 備		
● 衛 生 器 具 設 備	● 一 式	
● 給 水 設 備	● 一 式	
● 排 水 設 備	● 一 式	
○ 給 湯 設 備		
○ 消 火 設 備		
○ ガ ス 設 備		
○ 給 油 設 備		
○ 厨 房 機 器 設 備		
○ 実 験 実 習 器 具 設 備		
○ 浄 化 槽 設 備		
○		

4. 設 備 概 要 (○印を付けたものを適用する)

方 法 及 び 種 別	設 備 概 要
空 調 方 式	・ 室冷式ヒートポンプ空気調和機
冷 暖 房 方 式	・
暖 房 方 式	・ 温風暖房 ・ 温水暖房 ・ F F 暖房 ○ バネルヒーター
換 気 方 式	○ 局所換気 ・
給 水 方 式	○水道直結式 ・ 加圧式 ・ 高置タンク式 ( ・ 上水 ・ 井水 )
排 水 方 式	○建物内汚水、雑排水 ( ・ 分流 ・ 合流 ) ○建物外汚水、雑排水 ( ・ 分流 ○合流 ) ・ 浄化槽 ( ・ 合併 ・ 単独 ) 放流先 ○ 公共下水 ・
消 火 設 備 の 種 別	・ 屋内消火栓設備 ・ 消火器 ・
ガ ス の 種 別	・ 都市ガス ( 発熱量 KJ/ Nm <sup>3</sup> , 供給事業者名 : ) ・ 液化石油ガス ( 発熱量 100,000 KJ/ Nm <sup>3</sup> )

5. 指 定 部 分 ・ 無 ・ 有 (指定部分しゅん工期限 平成 年 月 日)  
対 象 部 分 :

II. 図 面 目 録

番 号	図面名称	番 号	図面名称
01	機械設備 特記仕様書	14	
02	配管図・案内図	15	
03	暖房・換気設備 機器表 (新設・撤去) ・ 凡例	16	
04	暖房・換気設備 便所廻り既存撤去図・改修図	17	
05	給排水衛生設備 1階平面図	18	
06	給排水衛生設備 便所廻り既存撤去図	19	
07	給排水衛生設備 便所廻り改修図	20	
08		21	
09		22	
10		23	
11		24	
12		25	
13		26	

III. 工 事 仕 様

1. 共 通 仕 様

- (1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁官庁常務課の「公共建築工事標準仕様書 (機械設備工事編) (最新版) 」 (以下、「標準仕様書」という。 ) 、 「公共建築改修工事標準仕様書 (機械設備工事編) (最新版) 」 (以下、「改修標準仕様書」という。 ) 及び「公共建築設備工事標準図 (機械設備工事編) (最新版) 」 (以下、「標準図」という。 ) による。
- (2) 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事は、それぞれの工事仕様を適用し、下記の工事仕様は適用しない。
- 参考図書
- 安曇野市建築工事の手引き (以下、「手引き」という。 ) 安曇野市企画財政部監修
2. 特 記 仕 様
- (1) 章は●印の付いたもの、項目は番号に○印の付いたものを適用する。
- (2) 特記事項のうち選択する事項は○印の付いたものを適用し、 ・ 印の付いたものは適用しない。

章	項 目	特 記 事 項
	① 機 材 等	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等のものとす。ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承認を受ける。
	② 機材の品質・性能証明	使用する機材が、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料 (以下、「品質性能証明資料」という。 ) を提出して監督職員の承認を受ける。 (標準仕様書第1編第1章第4節1.4.2) ただし、 (社) 公共建築協会が発行する「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿」によって所定の評価を受けているものは省略できる。製作図、試験成績書等は除く。使用材料名、製造者名、発注先、品質性能証明資料提出の省略について記載した調書を作成し、監督職員の承認を受ける。
	③ 使用材料発注先調書	・ 公共建築工事積算基準の解説 (設備工事編) の「執務進行改修」
	④ 施工条件明示項目	

⑤ 化学物質を発生する建築材料等

本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の1) から5) を満たすものとする。

1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板層板材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。

2) 保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びステレンを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。

3) 接着剤はフタル酸ジエーンプチル及びフタル酸ー2ーエチルヘキシルを含有しない難燃性の可塑性を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。

4) 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。

5) 上記1)、3)、4) の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他什器等は、ホルムアルデヒドを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。

なお、ホルムアルデヒドを発生しないものとは、発散量が規制対象外のものを、ホルムアルデヒドの発散量が極めて少ないものとは、発散量が第3種のものを用い、原則として規制対象外のものを使用するものとするが、該当する材料等が無い場合は第3種のものを使用するものとする。

ホルムアルデヒドの発散量	該 当 す る 建 築 材 料
① JIS及びJASの F☆☆☆☆規格品	
② 建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品	
③ 下記表示のあるJAS規格品	
a 非ホルムアルデヒド系接着剤使用	
b 接着剤等不使用	
c 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用	
d ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用	
e 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用	
f 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用	
第 三 種	① JIS及びJASの F☆☆☆☆規格品 ② 建築基準法施行令第20条の5第3項による国土交通大臣認定品 ③ JISの E級規格品 ④ JISの Fc級規格品

飲料水水系に使用されているベーストール剤は、室内汚染に係る揮発性化合物に指定されている下記の物質を材料及び製造工程に使用していないこと。

ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、ステレン、パラジクロロベンゼン、テトラゾカン、クロロピリオス、フェノフルアル、ダイアジニン、フタル酸ジエーンプチル、フタル酸ジエーニルヘキシル

電気保安技術者を設置する。

○ 配管 (1. 2) ・ 冷凍空気調和機器 (1. 2) ○ 熱絶縁 (1. 2) ・ 建築板金 (1. 2)

・ 設けない ○ 設ける

この工事に必要な工事用電力、用水、諸手続きなどの費用は請負者の負担とする。

○ 別契約の関係請負者が定置したものは無償で使用できる。 ・ 本工事で負担する。

・ 改修機械設備標準仕様書第1編2.2.1によるほか○記による。

・ 内部仮設足場等 ( ・ 種 ・ 種 ) ・ 外部仮設足場等 ( ・ 種 ・ 種 )

資材の保管は必ず屋根をかけた地上30cm以上の架台に乗せる。

・ 監督員が指示する構内の場所に数ならし ・ 構内指定場所にたい積 ・ 構外搬出適切処理

・ 樹切中の良質土 (ただし管の周囲は山砂、川砂又は再生砂) ・ 山砂の類

樹切中の山留め ・ 有 ( ・ ) ・ 無

工事に先立ち手引き第2編による廃棄物等処理計画書を監督職員に提出し、しゅん工時には廃棄物等処理報告書を作成し提出する。

(1) 引渡しを要するもの ○ 無 ・ 有 ( ・ )

(2) 引渡しを要するもの以外は構外搬出し関係法令により適切に処理すること。

(3) 特別管理産業廃棄物 ○ 無 ・ 有 ( ・ )

(4) 再利用又は再生資源化を図るもの (コンクリート塊、7/7材塊、木くず、金属くず、塩ビ管、) 標準仕様書第1編1. 7. 4によるほか、バルブ類等が必要に応じて合成樹脂製名札をステンレス線で取付ける。

機器等の取り扱い方法及び重要な定期点検項目等書いた取扱説明板 (アクリル樹脂製、文字形込み程度) を設ける。大きさは、約 ㎡とする。

・ 風量調整 ○ 水量調整 ・ 室内外空気の温度測定 ・ 騒音測定

・ 飲料水の水质の測定 ( ・ 水质基準検査10項目 (一般細菌、大腸菌、硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素、塩化物イオン、有機物等 (TOC) 、pH、味、臭気、色度、濁度) ・ トルエン )

飲料水の水质の測定は厚生労働大臣登録水质検査機関とす。

(1) 機器類の能力、容量等は、表示された数値以上とする。

(2) 電動機出力、燃料消費量、圧力損失は、原則として表示された数値以下とする。

機器、配管、風道等は耐震性を考慮し堅固にすえ付け、取付又は支持を行う。

耐震措置の計算及び施工方法は、次に掲げる事項のうち、すべて「建築設備耐震設計・施工指針2005年版」 (国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修) による。

(1) 設計用水平地震力は、機器の重量 (自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効重量) に、次に示す地域係数及び設計用標準水平震度を乗じたものとする。地域係数は1.0とする。

設 置 場 所	耐 震 安 全 性 の 分 類			
	特定の施設 ( ・ 甲種 ・ 乙種 )	○ 一般の施設 ( 乙種 )		
上層階、屋上及び塔屋	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
	2. 0 (2. 0)	1. 5 (2. 0)	1. 5 (2. 0)	1. 0 (1. 5)
中 間 階	1. 5 (1. 5)	1. 0 (1. 0)	1. 0 (1. 0)	0. 6 (0. 6)
	1. 0 (1. 0)	0. 6 (1. 0)	0. 6 (1. 0)	0. 4 (0. 6)
地下階、一階	1. 5 (1. 5)	1. 0 (1. 0)	1. 0 (1. 0)	0. 6 (0. 6)

(注) 1. ( ・ ) 内の数値は防振支持の機器の場合に適用する。

2. ( ・ ) 内の数値は水槽類に適用する。

3. 上層階の定義は次による。

2～6階建以下の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階

重要機器とは下記に示すものをいう。

・ 給水装置 ・ 排水装置 ・ 換気機器 ・ 空調機器 ・ 防災設備 ・ 監視制御設備 ・ 危険物貯蔵装置

・ 火を使用する設備 ・ 避難経路上に設置する機器 ・

(2) 設計用鉛直地震力は、設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。

機械改修工事標準仕様書第2編5章による。

・ 性能確認試験 ( ・ ) ○ 施工後確認試験 ( ・ ) 確認強度 ㎏f

吊金物は亜鉛メッキ又はステンレス鋼製とする。

給水、給湯、消火、冷温水、冷却水管は、図示による水抜きが確実にできるよう水抜き位置に向かって下り勾配とする。

コンクリート内の鋼管、鉛管及び塩ビ管については、プラスチックテープを1/2重ね1回巻くとする。また、コンクリート土間下配管は、鋼棒等により上下防止措置をする。

土中埋設管 (排水含む) は、管の上下をサンドクッション厚100mmで保護する。

給水管、消火管の埋設深さは、 ㎟とする。又、ガス管の埋設深さは、 ㎟とする。

②2 あと施工アンカー確認試験

②2 吊金物

②2 配管勾配

②25 管の保護

26 管の埋設

27 管の埋設表示

28 溶接部の非破壊検査

29 塗装

30 機器の基礎及び振動絶縁効率

31 電線類

②2 は っ

②23 保温及び消音内貼り

32 電線類

②23 は っ

②23 保温及び消音内貼り

33 電線類

②23 は っ

②23 保温及び消音内貼り

34 電線類

②23 は っ

②23 保温及び消音内貼り

35 電線類

②23 は っ

②23 保温及び消音内貼り

36 電線類

②23 は っ

②23 保温及び消音内貼り

37 電線類

②23 は っ

②23 保温及び消音内貼り

38 電線類

②23 は っ

②23 保温及び消音内貼り

39 電線類

②23 は っ

②23 保温及び消音内貼り

40 電線類

②23 は っ

②23 保温及び消音内貼り

41 電線類

②23 は っ

②23 保温及び消音内貼り

42 電線類

②23 は っ

②23 保温及び消音内貼り

43 電線類

②23 は っ

②23 保温及び消音内貼り

44 電線類

②23 は っ

②23 保温及び消音内貼り

45 電線類

②23 は っ

②23 保温及び消音内貼り

46 電線類

②23 は っ

②23 保温及び消音内貼り

47 電線類

②23 は っ

②23 保温及び消音内貼り

48 電線類

②23 は っ

②23 保温及び消音内貼り

49 電線類

②23 は っ

②23 保温及び消音内貼り

50 電線類

②23 は っ

②23 保温及び消音内貼り

51 電線類

②23 は っ

②23 保温及び消音内貼り

52 電線類

②23 は っ

②23 保温及び消音内貼り

53 電線類

②23 は っ

②23 保温及び消音内貼り

54 電線類

②23 は っ

②23 保温及び消音内貼り

55 電線類

②23 は っ

②23 保温及び消音内貼り

56 電線類

②23 は っ

②23 保温及び消音内貼り

57 電線類

②23 は っ

②23 保温及び消音内貼り

58 電線類

②23 は っ

②23 保温及び消音内貼り

59 電線類

②23 は っ

②23 保温及び消音内貼り

60 電線類

②23 は っ

②23 保温及び消音内貼り

61 電線類

②23 は っ

②23 保温及び消音内貼り

62 電線類

②23 は っ

②23 保温及び消音内貼り

63 電線類

②23 は っ

②23 保温及び消音内貼り

64 電線類

②23 は っ

②23 保温及び消音内貼り

65 電線類

②23 は っ

②23 保温及び消音内貼り

66 電線類

②23 は っ

②23 保温及び消音内貼り

67 電線類

②23 は っ

②23 保温及び消音内貼り

68 電線類

②23 は っ

②23 保温及び消音内貼り

69 電線類

②23 は っ

②23 保温及び消音内貼り

70 電線類

②23 は っ

②23 保温及び消音内貼り

71 電線類

②23 は っ

②23 保温及び消音内貼り

72 電線類

②23 は っ

②23 保温及び消音内貼り

73 電線類

②23 は っ

②23 保温及び消音内貼り

74 電線類

②23 は っ

②23 保温及び消音内貼り

75 電線類

②23 は っ

②23 保温及び消音内貼り

76 電線類

②23 は っ

②23 保温及び消音内貼り

77 電線類

②23 は っ

②23 保温及び消音内貼り

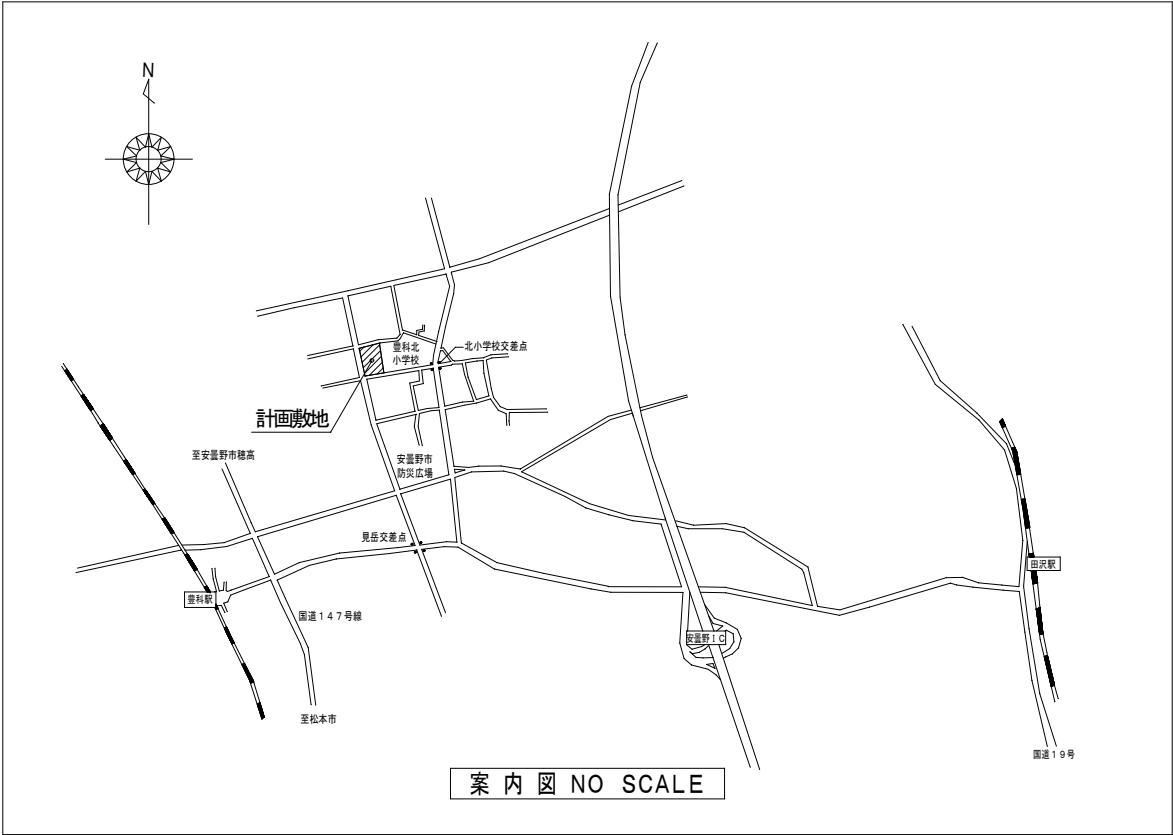
78 電線類

②23 は っ

②23 保温及び消音内貼り

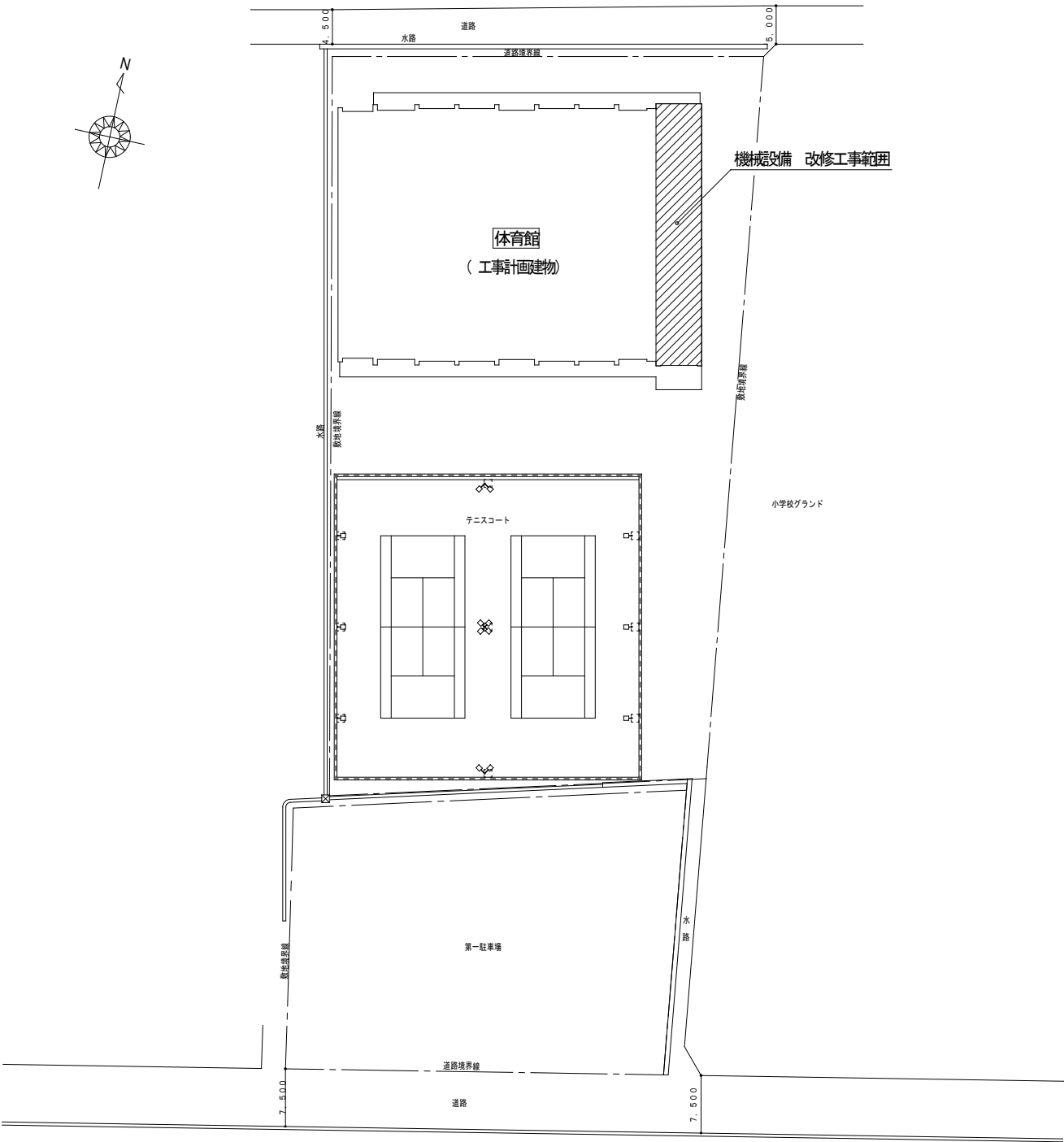
79 電線類

②23 は っ



機械設備設計概要

◎本工事は豊科勤労者総合スポーツ施設体育館の機械設備改修工事である。	
◎玄関・廊下・便所廻りの内装及び天井の改修が建築工事にて行われるため、合わせて対象の部屋の設備の改修を行うほか、便所廻りピット内の給排水配管の更新を行う。	
◎工事内容の概要は下記による。	
暖房設備	・男子便所、女子便所、身障者便所のパネルヒーターの更新。（機器の老朽化、及び建築工事による内装改修のため）
換気設備	・男子便所、女子便所、身障者便所の換気扇の更新。（機器の老朽化、及び建築工事による天井改修のため） ・上記室の機器廻りのダクトの更新。 ・図示の部屋の換気扇フェイス部の取外し、再取付。（建築工事による天井改修（塗装）のため） ※再取付の際は清掃を行う。
衛生器具設備	・男子便所、女子便所、身障者便所の衛生器具の更新。（器具の老朽化、及び建築工事による内装改修のため） ・身障者便所洗面器に小型電気温水器の設置。
給水設備	・上記室の器具廻りの配管、及びピット内の配管の更新。
排水設備	・同上のほか、男子便所、女子便所の床上排水口等の更新。（建築工事による内装改修（湿式から乾式へ変更）のため） ※ピット内の新設排水管は保温を行う。（既設排水管と仕様を統一する）



新 設

機器表

記 号	名 称	仕 様	台数	電 気 容 量			設 置 場 所	備 考
				φ	V	k W		
EH-1	パネルヒーター	型式 壁掛型 銅板製 サーモスタット内蔵	2	1	200	1.0	男子便所	
		発熱量 1.0kW					女子便所	
		付属品 いたずら防止カバー						
EH-2	パネルヒーター	型式 壁掛型 銅板製 サーモスタット内蔵	1	1	200	0.5	身障者便所	
		発熱量 0.5kW						
		付属品 いたずら防止カバー						
FV-1	換気扇	型式 天井埋込型 低騒音型 150φ接続	2	1	100	0.1	男子便所	
		風量 300m3/h×50Pa					女子便所	
		付属品 吊金具（防振ゴム付）						
FV-3	換気扇	型式 天井埋込型 低騒音型 100φ接続	1	1	100	0.1	身障者便所	
		風量 130m3/h×50Pa						
		付属品 吊金具（防振ゴム付）						

注1）送風機容量、送風量及び電気容量は参考とする。 注2）機械式換気設備はJISB8330に規定された定格条件による。

新 設

配管材料

	配 管 材 料	施 工 場 所	保 温 工 事
給水管（上水）	水道用硬質塩ビライニング鋼管 JWWAK116 VA	屋内一般 ビット内	屋内隠蔽：アルミガラスクロス化粧付ポリスチレンフォーム保温筒 ビット内：ポリスチレンフォーム保温筒＋粘着テープ＋ポリエチレンフィルム＋着色アルミガラスクロス
排水管	硬質ポリ塩化ビニル管 JISK6741 VP	屋内一般 ビット内	屋内隠蔽：アルミガラスクロス化粧付グラスウール保温筒 ビット内：グラスウール保温筒＋鉄線＋ポリエチレンフィルム＋着色アルミガラスクロス
通気管	硬質ポリ塩化ビニル管 JISK6741 VP	ビット内	
ダクト	亜鉛鉄板製	屋内一般	

新 設 ・ 撤 去 共 通

凡 例

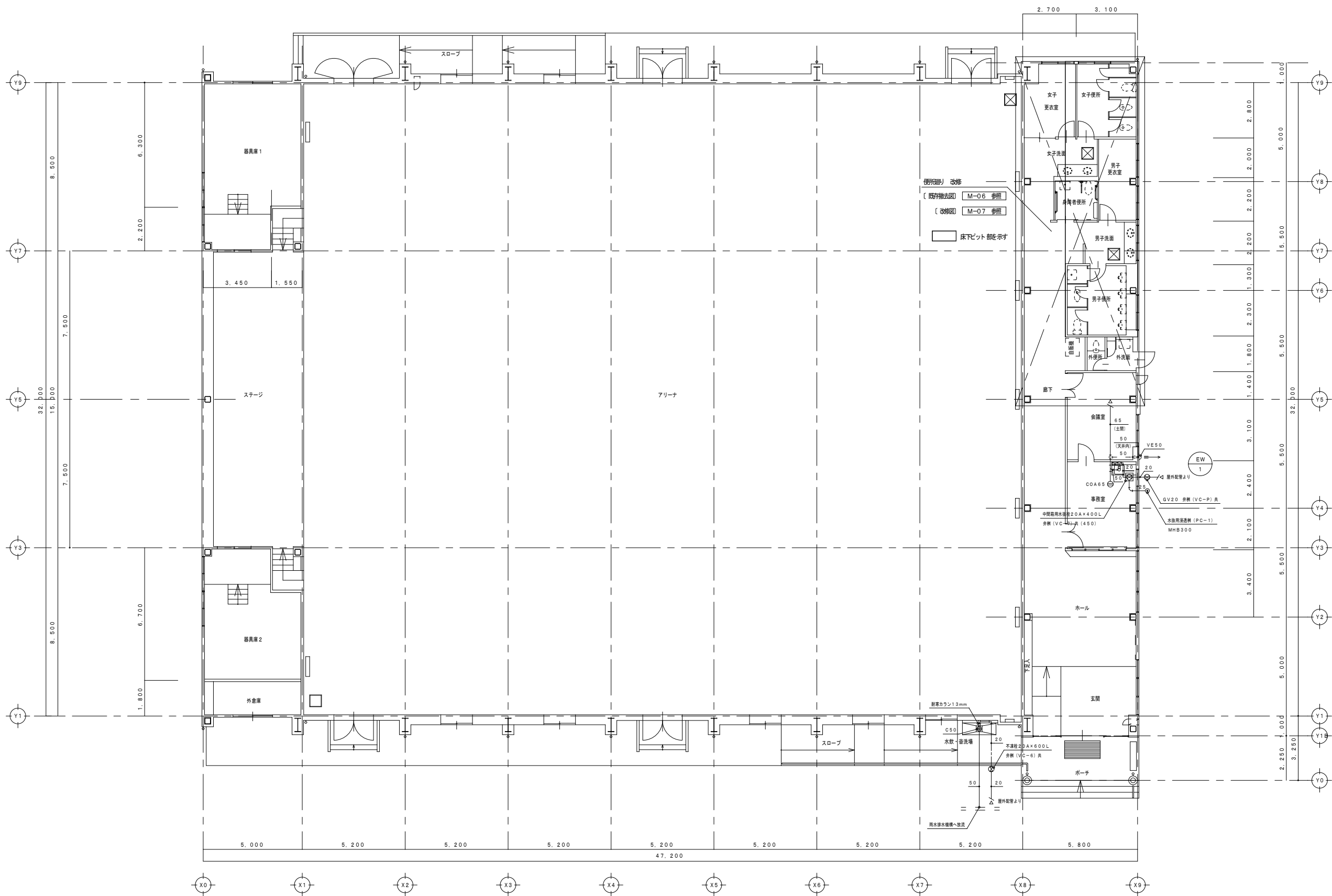
記 号	名 称	記 号	名 称
	給水管（上水）		給水栓
	排水管（汚水）		混合栓
	排水管（雑排水）		フラッシュバルブ
	排水管（通気）		吸気弁
	埋設弁、屋内水抜弁		床排水トラップ、目皿
	冷媒管（液、ガス）（既設）		床上掃除口
	ドレン管（既設）		掃除口（汚水、雑排水）（既設）
			浸透樹（既設）
			丸型ダクト（銅板製）

撤 去

機器表

記 号	名 称	仕 様	台数	電 気 容 量			設 置 場 所	備 考
				φ	V	k W		
EH-1	パネルヒーター	型式 壁掛型 サーモスタット内蔵	2	1	200	2.0	男子便所	EP90T-2000（トヨトミ）
		発熱量 2.0kW					女子便所	参考寸法：900×67×500H 8.2kg
EH-2	パネルヒーター	型式 壁掛型 サーモスタット内蔵	1	1	200	1.0	身障者便所	EP90T-1000（トヨトミ）
		発熱量 1.0kW						参考寸法：900×67×350H 6.3kg
FV-1	換気扇	型式 天井埋込型 150φ接続	2	1	100	0.1	男子便所	
		風量 300m3/h×60Pa					女子便所	
FV-3	換気扇	型式 天井埋込型 100φ接続	1	1	100	0.1	身障者便所	
		風量 130m3/h×40Pa						





			JOB No.		工事名称  令和5年度 豊科勤労者総合スポーツ施設大規模改修工事	図面名称  給排水衛生設備 1階平面図	縮尺  A1 : 1/100 A3 : 1/200	No.  M-05
			機印	製図				

撤 去

衛生器具表

器 具 名	仕 様	品 番	事務室	外便所	外洗面	男子便所	男子洗面所	身障者便所	女子便所	女子洗面所	屋外			撤去対象計	工事範囲外計	総計
和風大便器	防寒タンク 流動金具 樹脂紙巻器	C137VF				①			②					③		3
両用和風大便器	防寒タンク 流動金具 樹脂紙巻器	C137AV		1											1	1
洋風便器	防寒タンク 暖房便座 流動金具 樹脂紙巻器	C720				①			①					②		2
身障者用便器	リモコンFV レバー式操作弁 樹脂紙巻器	C48AS						①						①		1
ストール用便器	流動式FV	U307C				④								④		4
掃除用	水栓1ヶ、ストラップ	共栓 SK322				①								①		1
はめ込洗面器	水栓1ヶ、ストラップ	L521CF					②			②				④		4
洗面器	水栓1ヶ、ストラップ	L220S		1											1	1
身障者用洗面器	レバー水栓、Pトラップ	L103A						①						①		1
ペーパーシート	縦型							①						①		1
化粧鏡	耐食鏡 600×800×5t							①						①		1
化粧鏡	耐食鏡 360×450×5t			1		②				②				④	1	5
模型自在水栓	泡沫式 13-F10A		1												1	1
散水栓	BOX共 13mm										1				1	1
耐寒カラン	万能ホーム型 13mm										1				1	1

○ 印は本工事時撤去対象器具を示す。

撤 去

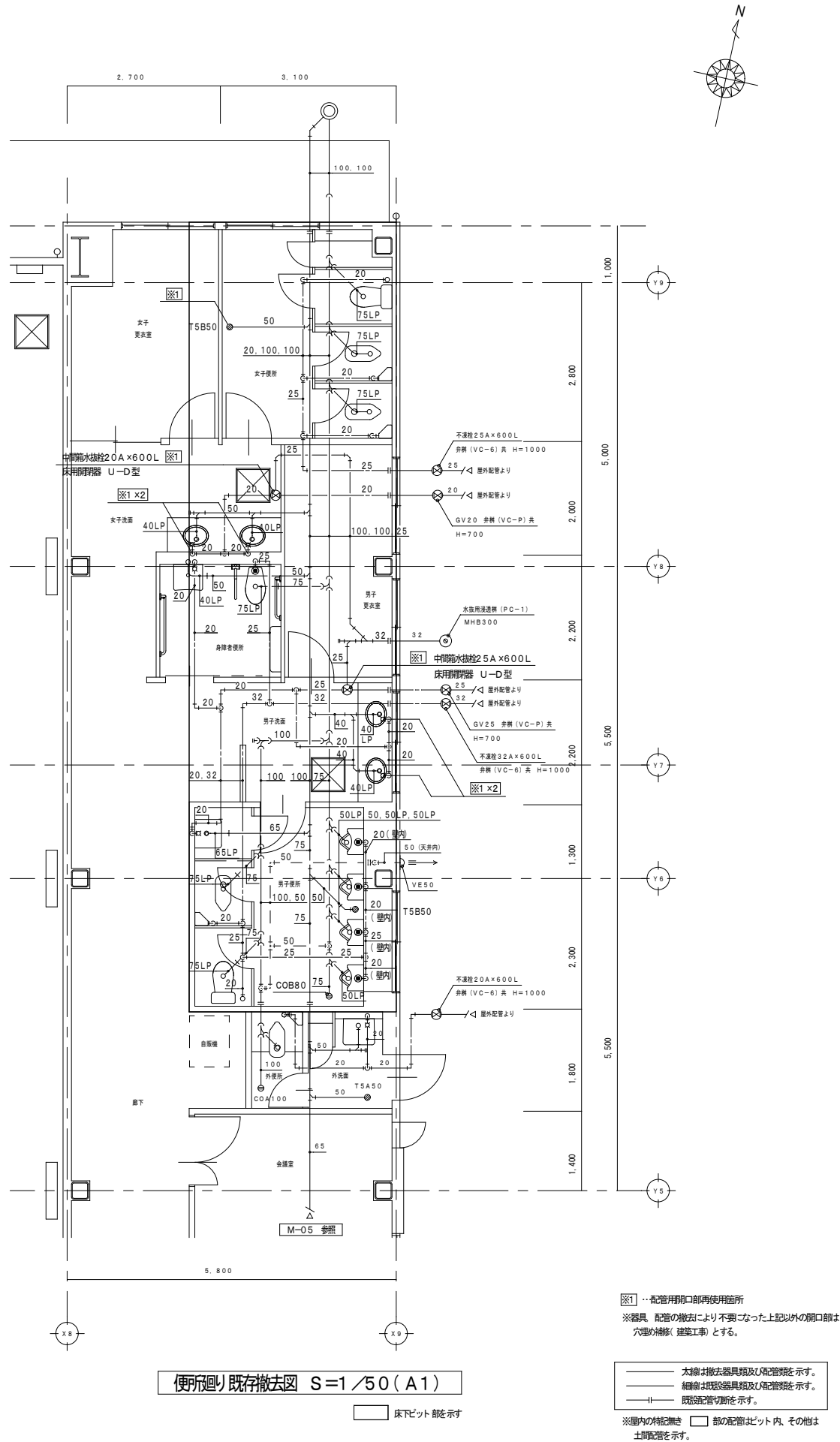
配 管 材 料

配 管 種 類	施 工 場 所	配 管 材 料	保 温
給水管	屋内一般 ビット内	水道用硬質塩ビラインング鋼管（VA）	屋内隠蔽：アルミガラスクロス化粧付ポリスチレンフォーム保温筒 ビット内：ポリスチレンフォーム保温筒＋粘着テープ＋ポリエチレンフィルム＋着色アルミガラスクロス
雑排水管	屋内一般 ビット内	排水用鉛管（※LP表記部）	屋内隠蔽：アルミガラスクロス化粧付グラスウール保温筒 ビット内：グラスウール保温筒＋鉄線＋ポリエチレンフィルム＋着色アルミガラスクロス
	ビット内	配管用炭素鋼鋼管（白）	ビット内：グラスウール保温筒＋鉄線＋ポリエチレンフィルム＋着色アルミガラスクロス
汚水管	屋内一般 ビット内	排水用鉛管（※LP表記部）	屋内隠蔽：アルミガラスクロス化粧付グラスウール保温筒 ビット内：グラスウール保温筒＋鉄線＋ポリエチレンフィルム＋着色アルミガラスクロス
	ビット内	メカニカル形排水鉄鉄管	ビット内：グラスウール保温筒＋鉄線＋ポリエチレンフィルム＋着色アルミガラスクロス
通気管	ビット内	配管用炭素鋼鋼管（白）	

撤 去

凡 例 （ 排 水 管 材 料 範 囲 ）

鉄鉄管 ㄣ、ㄣ 鉛管	排水管（汚水）
—C—   —C—LP	
鋼管 ㄣ、ㄣ 鉛管	排水管（雑排水）
—   —LP	



新 設

衛生器具表

器 具 名	仕 様	参 考 品 番 (T)	参 考 品 番 (L)	男子 便所	男子 洗面	女子 便所	女子 洗面	身 障者便所	合 計
洋風大便器	床置床排水大便器、防露ロータンク（床給水）	CS232B、SH232BF	YBC-Z30S、DT-Z350W	2		3			5
	洗浄暖房便座（320W）、2連紙巻器	TCF6543AK、YH650	CW-KA31QC、CF-AA64						
洋風大便器	床置床排水大便器、防露ロータンク（床給水）	CS597BMS、SH596BAYR	YBC-P20H、DT-PA250HCHTK					1	1
	横ずれ防止仕様洗浄暖房便座（1300W）、背もたれ、2連紙巻器	TCF5840AUPN、EWC285CS、YH650	CW-PC12QC-NECK、KFC-271T1U2、CF-AA64						
小便器	センサー一体形壁掛ストール小便器（自己発電型）	UFS900WR	YU-A51MP	4					4
	低リップ型								
洗面器	はめ込楕円形洗面器、自動単水栓（自己発電型）	L530、TLE28SA1W、TLD52201J	YL-2260、AM-300、LF-WN7SCFL	2		2			4
	給排水金具（床給排水）（カウンター：建築工事）								
洗面器	車いす対応洗面器、自動混合水栓（自己発電型）	L103A、TLE28SS1W	YL-365APR、AM-300C					1	1
	電気温水器3L（600W）、給排水金具（壁給排水）、止水栓	REWF03B1SM、TLDP2206J、TL347CU	EHPN-CA3ECS2、LF-97PA、LF-3VK						
掃除流し	ハイバック付、床排水金具	SK22A、T37SGEP	YS-202A、SF-20SAF-P	1					1
	横水栓、アングル形止水栓	T23AEQF20C、TN114	LF-7KEZ-19-U、SF-202						
観音装置	埋込型、100V仕様	YES412R	KS-621			3			3
化粧鏡	450×600	YM4560A	KF-4560	2		2			4
化粧鏡	600×900	YM6090A	KF-6090					1	1
手すり	L型、樹脂被覆型（L=700、D=90）	T112CL9	KFS-920AEW70D10					1	1
手すり	L型、樹脂被覆型（L=700、D=120）	T112CL10	KF-920AE70D12J	1					1
手すり	I型、樹脂被覆型（L=1000）	T112C10	KF-910AE100J					1	1
手すり	跳ね上げ型、樹脂被覆型	T112HK7R	KF-471EH70J			1		1	2
手すり	小便器用、樹脂被覆型	T112CU22	KF-701AEJ	1					1
ペビーシート	織型	YKA24S	AC-OK-F11					1	1

